SIGMA
FP2

使用説明書

Digital Camera
Model: C5X1 / C5X3
FW Ver.1.00

C48JP26Y1
J 日本語

このたびはシグマ製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、ご使用前に**「安全上のご注意」**（P.9 ）、**「取り扱い上のご注意」**（P.14 ）を必ずお読みください。
- 使用説明書は、必要なときにいつでも御覧いただけるようにして、不明な点が生じた際にご活用ください。
- この製品の保証の内容、およびアフターサービスについては、弊社 WEB サイトにてご確認ください。

カメラと付属品の確認

ご使用になる前に、以下のものがすべて揃っているかご確認ください。万一、不足しているものがある場合、お買い上げの販売店にご連絡ください。

1. FP2 カメラ本体
2. ボディキャップ（カメラ本体に付属）
3. ストラップ
4. ストラップホルダー（2 個）
5. ポーチ
6. Li-ion バッテリーパック BP-91
7. スタートガイド
8. ブックレット
9. 保証書
10. 保証書シール

– このカメラは、約 70GB の内蔵メモリーを備えており、本体のみで画像を記録できます。また、市販のメモリーカードや USB ストレージへの記録にも対応しています。メモリーカードや USB ストレージをご使用になる場合は、別途ご購入ください。

目次

カメラと付属品の確認 3
目次 4
安全上のご注意 9
取り扱い上のご注意 14
　メモリーカードについて（別売） 17
　レンズについて 18
　電子シャッターについて 19
お手入れについて 20
　各部の名称 22
　撮影時のモニター表示 26

カメラを使う準備をする 29
　ストラップの取り付け方 29
　バッテリーを充電する 31
　外部電源について 36
　レンズを取り付ける 37
　初期設定をする 39
　バッテリーのチェック 41
　タッチ操作について 42
　CINE/STILL スイッチについて 42
セットアップメニュー 43
　メニューリスト 48
　QS メニュー 55
　表示モードを切り替える 58
　記録ストレージを選ぶ 60
　カードの入れ方 61
　シャッターボタンの押し方 63
　液晶モニターの角度を変える 63
　撮影した画像を確認する 64

撮影する 65
写真を撮る 65
動画を撮る 66
露出を決める 68
露出モードの選び方 69
P プログラムオート 70
A 絞り優先オート 71
S シャッタースピード（シャッターアングル）
優先オート 74
M マニュアル露出 75
フリッカーの低減について 77
バルブ撮影 80
露出補正 81
測光モード 82
AEL ボタン 83
輝度レベルモニター 85
露出確認ツール 86
ISO 感度の設定 88
低 ISO 感度拡張 89
Log/RAW 動画 ISO 感度拡張 90
ISO オート範囲 91
ピントを合わせる 92
オートフォーカスによるピント合わせ 92
フォーカスモードの設定 93
シングル AF 94
コンティニュアス AF 96
追尾 AF 97
フォーカスフレームの設定 100
多点オート 100
1 点（1 点選択） 101
被写体検出 103
AF シフト 105
マニュアルフォーカスによるピント合わせ 106
AF-S アシスト / MF アシスト 107
ドライブモード 122
1 コマ撮影 122

連続撮影 123
セルフタイマー撮影 124
インターバルタイマー撮影 125
手ブレ補正 128
レンズ内光学式手ブレ補正 128
電子式手ブレ補正 129
ジャイロ情報出力 130
画像の設定 131
画質の設定 131
アスペクト比の設定 132
映像記録の設定 134
フォーマット 134
解像度 136
フレームレート 137
DC クロップ（Super35）モード 143
ディレクターズビューファインダー 145
オーディオ記録の設定 151
ホワイトバランスの設定（WB） 158
ホワイトバランスの微調整 159
カラーモード 163
レンズ光学補正 167
マニュアルレンズ設定 168
ブラケット撮影 171
露出 BKT 172
フォーカス BKT 173
ホワイトバランス BKT 174
カスタムモード 176
設定の保存 / 読込 179
ボタンロック機能 183
フラッシュ撮影について 184
フラッシュ撮影時のご注意 185
フラッシュを取り付ける 186
TTL オート撮影 186
調光補正 187
フラッシュモードの設定 188
ワイヤレスフラッシュ撮影 190
その他の設定変更 193

カラースペース 193
レンズ機能設定 194
電子シャッター表示 194
デスクイーズ 195
フレームガイド 196
ダイヤル設定 200
カスタムボタンの機能 202
シャッターボタンの設定 203

画像の再生、消去 205
静止画を再生する 206
1 画像再生 206
拡大表示する 209
9 画像表示（コンタクトシート表示） 210
日付別表示 211
画像情報を見る 212
動画を再生する 216
動画から写真を切り出す 218
ファイルの消去 219
再生時のその他の機能 222
再生表示フィルター 222
ロック 223
マーク 225
回転 227
DNG 現像 228
露出警告 231
横位置揃え 231
AEL ボタンの機能 232

システムメニュー 233
記録ストレージの初期化 233
記録ストレージ 234
ストレージフル時の動作 235

ファイル名 / 番号 235
著作権情報 240
タイムコード 242
|□| （ディスプレイ）モード設定 245
タッチ操作 249
REC 中の設定 250
音声設定 251
タリーランプ設定 253
水準器調整 254
センサーリフレッシュ 254
LCD 設定 255
電源設定 256
HDMI 出力 258
HDMI 出力 258
ケーブルレリーズ設定 260
EVF 設定 261
日付 / 時刻 / エリア 262
Language / 単位 264
情報 265
ファームウェアの更新 265
セキュリティ設定 266
設定の管理 268
USB 接続について 270
パソコンと接続する 271
USB 接続の設定 271
パソコンに画像を転送する 272
ウェブカメラとして使用する 274

参考資料 275
スクリーンショット機能 275
別売アクセサリー 277
困ったときは 279
主な仕様 282
著作権、商標、ライセンスについて 289

安全上のご注意

人的損害や物的損害を未然に防止するため、ご使用の前にこの項目の内容を十分ご理解いただくようお願いします。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

各文章の ⚠ 記号は注意、もしくは警告を促す内容を告げています。

各文章の ⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げています。

⚠警告（カメラについて）

⃠ カメラは自分で分解、改造しないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。

⚠ 可燃性ガスを含んだ空気中では、火災、爆発のおそれがありますので、絶対に使用しないでください。

⚠ カメラはお子様の手の届かない場所に保管してください。誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

⚠ 落下等で破損した場合、内部に手を触れないでください。感電、ヤケドのおそれがあります。バッテリーを抜いて、ご購入店、もしくは当社サービス機関にご連絡ください。

⃠ レンズ単体で太陽を見ないでください。失明の原因となります。

⚠ 水没したり、内部に水が入った場合、バッテリーを抜いてご購入店、もしくは当社サービス機関にご連絡ください。そのまま放置しますと火災や感電の原因となります。

カメラ本体のコネクター部に、金属片等を差し込まないでください。感電、発熱、発火の原因となります。

注意（カメラについて）

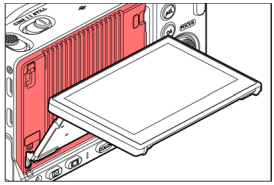
レンズキャップをはずしたまま放置しないでください。レンズに長時間日光があたった場合、カメラの故障や火災の原因となることがあります。

カメラをぬれた手でさわらないでください。感電のおそれがあります。

カメラを車内等、高温になる場所に放置しないでください。カメラが高温になり、故障やヤケドのおそれがあります。

液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片にご注意ください。ケガの原因となります。また、液晶モニター内部の液体に触れたり、目や口に入らないよう、充分ご注意ください。

動画撮影中は液晶ディスプレイ背面のヒートシンクに触らないでください。45° C を超える温度になる可能性があり、低温やけどのおそれがあります。



⚠ 警告（付属バッテリーについて）

以下の警告、注意、禁止事項を無視してお使いになると、破裂、液漏れ、発火の原因になります。


分解や改造は絶対に行わないでください。


金属等で接点部を短絡しないでください。


バッテリーを火中投下しないでください。


バッテリーに強い衝撃や振動を与えないでください。


バッテリーから異音、異臭、液もれ、発熱、発煙、製品の変形や破損などの異常に気づいたらすぐに使用を中止してください。

⚠ 注意（付属バッテリーについて）


使用説明書で指定された機器（Sigma FP2）以外には使用しないでください。


充電する際は、Sigma FP2 の本体充電機能をご使用になるか、専用バッテリーチャージャー BC-91（別売）をご使用ください。


涼しく乾燥した場所に保管し、雨や湿気にさらさないでください。


直射日光があたる場所や高温になる場所、極端に温度や気圧が低い場所での充電、使用、放置はしないでください。


バッテリーはお子様の手の届かない場所に保管してください。


バッテリーの交換は、お子様だけでは行わず、常に大人の管理下で行ってください。

⚠ 万一、カメラやバッテリーから異音、異臭、液もれ、発熱、発煙、焦げ臭いなどの現象が起きた場合、ヤケドに注意し、速やかにバッテリーを抜いて、ご購入店、もしくは当社サービス機関にご連絡ください。

⚠ バッテリーを処分される場合は、完全に使い切った状態（放電された状態）にして、テープなどで接点部を絶縁し、お住まいの自治体の規則に従って処分してください。

⚠ 長期間使用しない場合、カメラからバッテリーを取り出し、涼しく乾燥した場所に保管してください。長期間カメラ内に放置すると、液漏れによる破損の原因となります。

⚠ バッテリーから漏れた液が目や口、皮膚、衣服に付着したら、すぐにきれいな水でよく洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告（内蔵電池について）

- **飲み込む危険性**：このカメラは、交換できない、ボタン / コイン電池を内蔵しています。
- 電池を飲み込むと、死亡または重傷を負う可能性があります。
- 電池を飲み込むと、わずか 2 時間で体内に化学熱傷を起こす可能性があります。
- 新品、使用済みに関わらず、電池は子供の手の届かないところに保管してください。
- 電池が体内に入った疑いがある場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

- 使用電池：Seiko Instruments Inc. MS621T
  電圧：3.0V 標準容量：9.0mWh

取り扱い上のご注意

ご使用の前に
大切な撮影をする前には、事前のチェックや試し撮りをして、カメラが正常に作動するか必ず確認してください。撮影に要した諸経費、および撮影により得べかりし利益の損失等については保証致しかねます。
長期間の旅行、野外撮影、寒冷地での撮影、動画撮影、またはたくさんの写真を撮られるようなときなどには、満充電のバッテリーを多めに用意することをおすすめします。

ご使用の環境や注意点について

- カメラは精密機械です。ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 本機は防塵・防滴構造となっており、小雨などでの使用は可能ですが、防水構造ではありません。水辺などでの使用では、大量の水が掛らないように注意してください。水がカメラ内部に入り込むと、大きな故障の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ほこりの多い場所や高温多湿の場所（特に日中の車内等）へ長時間放置しないでください。
- 寒い場所から温かい室内に持ち込む場合、カメラに水滴が生じます。カメラをバックやビニール袋に入れて周囲の温度になじませてからご使用ください。

– 本機の使用可能温度は約 0℃～＋ 40℃、使用可能湿度は約 85% 以下（結露しないこと）です。0℃以下の低温環境で使用する場合、バッテリーの性能低下が発生します。低温場所では予備のバッテリーを用意し、ポケット等に入れ、保温しながら交互に使用することをおすすめします。
– 静電気や磁気の影響により、まれにカメラが作動しなくなることがあります。このようなときは、一旦バッテリーを取り出して再度装填し直してください。また、強い電波や磁気の発生する場所では、カメラが正常に作動しない場合があります。

長時間撮影の注意点について

– カメラの表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
– 長時間、動画撮影や連続撮影をすると、センサーの温度が上昇し、画質が低下する場合があります。ヘッダーに警告マーク（ ）が表示されたら、警告マークが消えるようにシャッタースピード、ISO 感度の設定を変更する、もしくはカメラの電源を切り、温度が下がるのを待って撮影されることをおすすめします。
– カメラの温度が上昇すると、警告マーク（ ）が表示されます。さらに温度が上昇すると、メッセージが表示され、カメラの電源が OFF になります。カメラの温度を充分下げるために、10 分以上放置してください。
– SSD 等の USB ストレージを使用して長時間動画撮影する場合、USB ストレージが高温になり動画記録が停止する場合があります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターはその特性上、一部の画素に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。また、記録されるデータには影響ありません。予めご了承ください。
- 液晶の特性により、低温下で表示の反応が遅くなることがあります。また、高温下で表示が黒くなることがありますが、常温になれば正常に戻ります。

メモリーカードについて（別売）

本機は、SD 規格に準拠した以下のカードが使用できます。

SDXC メモリーカード



- 本書では、メモリーカードを**「カード」**または**「SD カード」**と記載しています。
- 本機は UHS-I、UHS-II 規格の SDXC メモリーカードに対応しています。
- SD カードは、カードへの書込みやフォーマットを禁止できる書込み禁止スイッチを備えています。**「LOCK」**側にしておくと、ファイルの誤消去を防ぐことができます。
- カードを直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばに放置しないでください。
- カードを温度の高い場所、湿度の高い場所、静電気の起こりやすい場所や電磁波が発生している場所に保管しないでください。
- カードの詳細な取扱い方法については、それぞれの使用説明書の内容に従ってください。
- カメラの**「カードの初期化」**やパソコンの**「削除」**の機能では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄／譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

レンズについて

本機は L マウントを採用しています。ご使用になれるレンズは、L マウント用交換レンズです。

– 本機は 35mm フルサイズの撮像素子を搭載しています。撮像素子の性能をフルに活かすには、L マウントのフルサイズフォーマット用レンズをご使用ください。APS-C フォーマット用レンズもご使用になれますが、撮像素子の記録範囲を限定した DC クロップモードでの撮影となります。
– シグママウントコンバーター MC-21（別売）との組み合わせにより、シグマ SA マウント用レンズ、シグマ製キヤノン EF マウント用レンズがご使用になれます。
– レンズの発売時期などにより、レンズのファームウェアの更新が必要な場合があります。またはカメラのファームウェアの更新が必要な場合もあります。対応レンズの最新情報につきましては、弊社 WEB サイトにてご確認ください。
sigma-global.com/jp/
– L マウント規格に準拠していないサードパーティー製品をご使用になると、故障の原因となる場合があります。これらに起因する事故や不具合につきましては、保証の対象外となりますので何卒ご了承ください。

電子シャッターについて

本機は、機械式のシャッター機構を搭載しておりません。撮像素子を電気的に制御して露光時間を調整する、電子シャッターを採用しています。
電子シャッターは、無音で振動が無い、より高速な連続撮影が可能などのメリットがあります。反面、電子シャッターによるデメリットもありますので、以下の点にご注意ください。

- 蛍光灯や LED 照明などのフリッカーの影響による露出ムラが起きやすいので、比較的遅めのシャッタースピードを使用するか、フリッカー低減機能を使用してください。
- フラッシュの同調速度は 1/50 秒以下（DC クロップモード時は 1/60 秒以下）になります。
- 動きの速い被写体では歪みが発生する場合があります。

お手入れについて

– ボディやレンズのお手入れにシンナーやベンジンなどの有機溶剤は表面の仕上げをいためますので絶対に使用しないでください。ボディやレンズの鏡筒部は柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。レンズ面についたほこり等は市販のブロワーで軽く吹き飛ばす程度にし、指紋などがついてしまった場合は市販のレンズクリーナーを使用して慎重に拭きとってください。
– 液晶モニターにほこりやゴミ等が付着した場合は、市販のブロワーで吹き飛ばしてください。汚れがひどいときは柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。

ダストプロテクターの清掃について

ダストプロテクター（撮像素子保護ガラス）に付着したホコリは、ブロアーで吹き飛ばしてください。万一、指紋などが着いてしまった場合は、ブロアーでホコリを吹き飛ばしたあとに、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。それでも汚れが取れない、ホコリが写りこむ場合などは、当社サービス機関にクリーニングをお申し付けください。

警告 !!

– スプレー式のエアクリーナーは使用しないでください。噴射する角度によっては液体が噴き出し、ダストプロテクターを傷める可能性があります。
– ブロワーは、必ずブラシのついていないものを使用してください。ブラシ付のものはダストプロテクターにキズをつける恐れがあります。

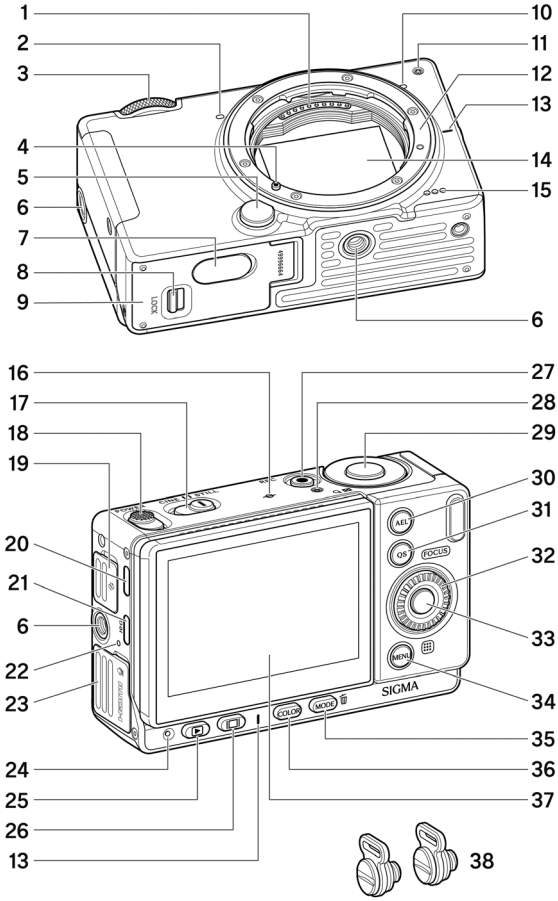
保管について

- 長期間ご使用にならないときは、液漏れによるカメラの破損を防ぐため、バッテリーを取り出して保管してください。
- カビや錆の発生を防ぐため、風通しのよい乾燥した場所に保管してください。カメラを乾燥剤といっしょにビニール袋にいれて保管するのも有効な手段です。ただし乾燥剤は有効期限がありますので、適切なタイミングで交換してください。ナフタリン等の防虫剤はカメラに悪影響を与えますのでいっしょに保管しないでください。

バッテリーの保管について

- 保管する場合は、極端な低温、高温、高湿度を避け、20° C ± 5° C 程度の乾燥した環境での保管をお勧めします。
- 長期間保管する場合は、1年に一回は充電してください。フル充電は避け、50%程度まで充電してください。
- 長期間保管していたバッテリーは、最大限の性能を得るために、数回の充電と放電を繰り返すと効果的です。

各部の名称


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
6
16
17
18
19
20
21
6
22
23
24
25
26
13
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
AEL
AF
FOCUS
MENU
SIGMA
COLOR
MODE
LOCK

1	レンズ信号接点
2	マイク（R）
3	前ダイヤル
4	レンズ取り付け指標 / レンズロックピン
5	レンズ着脱ボタン
6	三脚 / ストラップホルダー取り付け穴
7	DC コネクターカバー
8	バッテリー /SD カバーロック
9	バッテリー /SD カバー
10	マイク（L）
11	タリーランプ
12	マウント
13	三脚穴位置指標
14	撮像素子 / ダストプロテクター
15	スピーカー
16	撮像素子位置マーク
17	CINE/STILL スイッチ
18	電源スイッチ
19	HU-21 接点
20	USB 端子 ポート 1（上）
21	USB 端子 ポート 2（下）
22	充電ランプ
23	HDMI 端子（Type A（Ver.2.1）） マイク / ケーブルレリーズ端子
24	アクセスランプ
25	▶ （再生）ボタン
26	▭ （ディスプレイ）ボタン
27	REC ボタン
28	REC ランプ
29	シャッターボタン
30	AEL ボタン
31	QS （クイックセット）ボタン
32	後ダイヤル
33	⦿ （中央）ボタン
34	MENU （メニュー）ボタン

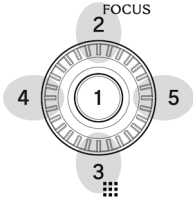
35	**MODE** （撮影モード）/ 🗑 （消去）ボタン
36	**COLOR** （カラーモード）ボタン
37	液晶モニター / タッチパネル
38	ストラップホルダー

ご注意 !!

– ダストプロテクター（撮像素子保護ガラス）（**14**）には触れぬよう、十分ご注意ください。

後ダイヤル（32）について

後ダイヤルは、方向ボタンの機能を兼ねています。本書では各ポジションを ∧ / ∨ / 〈 / 〉 で表しています。



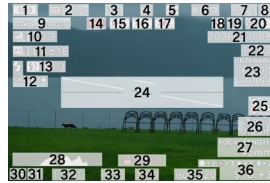
1. ⦿ （中央）ボタン
2. ∧ （上）ボタン（FOCUS ボタン）
3. ∨ （下）ボタン（⁝⁝ ボタン）
4. 〈（左）ボタン
5. 〉（右）ボタン

– 上下で操作する場合は ⇕、左右で操作する場合は 〈〉、上下左右で操作する場合は ⇔ で表しています。

撮影時のモニター表示

STILL モード時





CINE モード時





– 各機能の説明で表記しているライブビュー上のアイコンは、主に**「|□|（ディスプレイ）モード設定」**（P.245）の**「情報表示」**が**「標準」**のときに表示されます。（初期設定ではディスプレーモードの**「カスタム 2」「カスタム 3」**が**「標準」**に設定されています。）

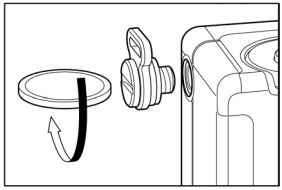
1	バッテリー残量表示
2	DC クロップモード ※
3	アスペクト比 / デスクイーズ（静止画）
4	ドライブモード
5	測光モード
6	画質
7	撮影可能枚数
8	記録ストレージ
9	ホワイトバランス
10	露出 BKT / フォーカス BKT ※
11	ホワイトバランス BKT ※
12	フラッシュモード ※
13	調光補正値 ※
14	手ぶれ警告
15	ホワイトバランスロック ※
16	AF ロック ※
17	AE ロック ※
18	フォーカスリミッター ※
19	被写体検出 ※
20	フォーカスモード
21	日付 ※
22	時刻 ※
23	インターバルタイマー ※
24	水準器 ※
25	温度警告
26	撮影距離 ※
27	焦点距離 ※
28	輝度レベルモニター（ヒストグラム / 波形）※
29	ボタンロック中表示 ※
30	露出モード
31	カスタムモード ※
32	シャッタースピード / シャッターアングル
33	絞り値 / T 値
34	露出補正値 / 露出メーター
35	ISO 感度

36	カラーモード
37	解像度
38	アスペクト比（動画）
39	フォーマット
40	スタンバイ表示 / 記録時間
41	記録可能時間
42	デスクイーズ倍率表示 ※
43	電子式手ブレ補正 ※
44	タイムコード / ディレクターズビューファインダー ※
45	ファイル番号（動画）
46	オーディオメーター ※
47	フレームレート

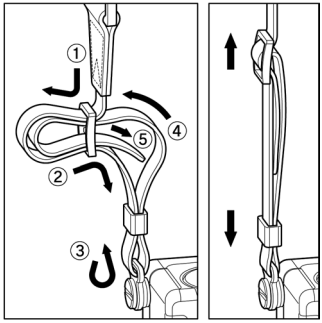
※設定時のみ表示されます。

ストラップの取り付け方

左右の三脚 / ストラップホルダー取り付け穴にコイン等でしっかりとストラップホルダー（付属）を取り付けます。



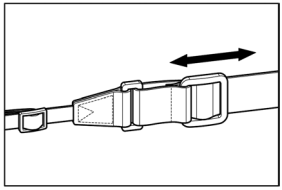
ストラップ（付属）の両端を一旦ほどいて、図のように左右のストラップホルダーに取り付けます。



警告 !!

– 撮影の前に、ストラップホルダーに緩みが無いか、確認してから使用してください。ストラップホルダーが緩むと使用中にカメラが脱落する恐れがあります。緩みが生じた場合は、コイン等で増し締めしてください。

左右のアジャスターを移動させることで、ストラップの長さを調整することができます。



バッテリーを充電する

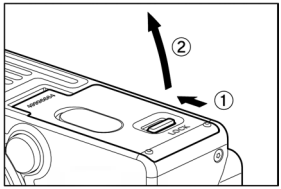
付属の専用リチウムイオン充電池**「Li-ion バッテリーパック BP-91」**（以降、バッテリーと表記）をカメラにセットし、市販の USB AC アダプターやパソコンなどを利用して充電します。ご購入時にはバッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。

警告 !!

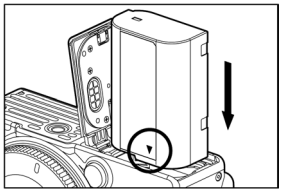
– バッテリーは、必ず Li-ion バッテリーパック BP-91 をご使用ください。それ以外のバッテリーをご使用になると、カメラやレンズの故障の原因となる場合があります。これらに起因する事故や不具合につきましては、保証の対象外となりますので何卒ご了承ください。

– このカメラは USB PD（USB Power Delivery）に対応しています。USB AC アダプターは、出力が PD 27W またはそれ以上に対応したものをご使用ください。
– パソコンで充電する場合、USB Type-C ポートが USB PD 27W またはそれ以上に対応していることを確認してください。
– 接続するケーブルは、USB3.2 以上、Type-C to Type-C、USB PD 27W 以上に対応したものをご使用ください。
– 上記仕様を満たさない電源やケーブルを使用した場合、充電できないことがあります。
– 延長ケーブルは使用しないでください。延長ケーブルを使用すると、充電速度が低下したり、充電できない場合があります。

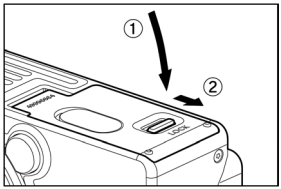
1
電源スイッチが **OFF** になっているのを確認し、バッテリー /SD カバーロックをスライドして、バッテリー /SD カバーを開きます。



2
バッテリーがロックされるまで押し込んでください。

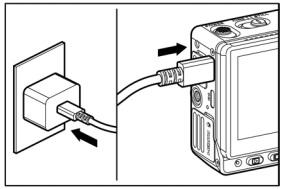


3
バッテリー /SD カバーを押さえながら、バッテリー /SD カバーロックをスライドしてロックします。

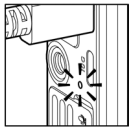


4

USB Type-C ケーブルで、カメラと USB AC アダプターやパソコンをつないで充電します。



– 充電中はカメラの充電ランプ（緑）が点灯します。



– 充電時間は USB AC アダプター（PD 27W またはそれ以上に対応したもの）を使用した場合で、約 175 分です。
– 充電時間はアダプターやパソコンの仕様、カメラの動作状態によって大きく異なります。

5

充電ランプが消えたら充電完了です。

ご注意 !!

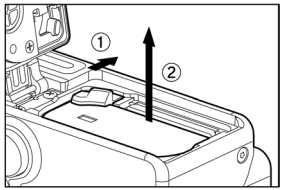
- 充電しても、撮影可能枚数が極端に少なくなった場合は、バッテリーの寿命が考えられます。新しいバッテリーと交換してください。
- 充電は 10°C～ 40°C の場所で行ってください。
- パソコンにつなぐ場合は、必ずパソコン本体の USB ポートに接続してください。モニターやキーボードなどの USB ポートや USB ハブには接続しないでください。
- パソコンが休止状態になると、充電が中断されることがあります。

カメラに給電する

USB AC アダプターやパソコン接続時は、充電と同時にカメラに電源が供給され、カメラの操作が可能です。（バッテリーはカメラにセットしたままにしてください。）

バッテリーの取り外し方

バッテリーロックレバーをスライドさせて、バッテリーを取り出します。



警告 !!

– アクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にバッテリーやカードを取り出さないでください。書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

Li-ion20

– この製品は、充電式リチウムイオン電池（バッテリー）を使用しています。ご使用済のバッテリーは貴重な資源となります。端子にテープを貼りつけて絶縁してからリサイクル協力店にお持ちください。詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

  ホームページアドレス : http://www.jbrc.com/

– カメラを廃棄する際には、**「バッテリーの取り外し方」**の手順に従い、カメラからバッテリーを外し、バッテリーのリサイクルにご協力ください。

外部電源について

他の機器との接続で USB ポートに空きがないときは、別売の DC コネクター CN-91（P.278 ）を介して、外部から電源を供給することができます。

– DC コネクター CN-91 を介した給電時は、液晶モニター左上に以下のようなアイコンが表示されます。



– 接続方法等の詳細は、DC コネクター CN-91 の使用説明書をご確認ください。

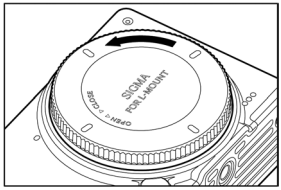
警告 !!

– DC コネクターは、必ず DC コネクター CN-91 をご使用ください。それ以外の DC コネクターをご使用になると、カメラやレンズの故障の原因となる場合があります。これらに起因する事故や不具合につきましては、保証の対象外となりますので何卒ご了承ください。

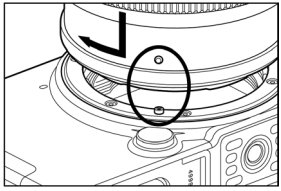
レンズを取り付ける

1
電源スイッチを OFF にします。

2
レンズのリヤキャップと、ボディのマウントキャップを外します。



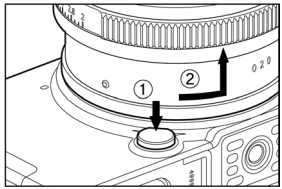
3
カメラのマウントにあるレンズ取り付け指標とレンズ側の指標を合わせてレンズをはめ込み、レンズを右回りにカチッと音がしてロックされるまで回します。



ご注意 !!

– 取り付けのときにレンズ着脱ボタンを押していると、ロックが不完全になる場合があります。必ずロックがされていることを確認してください。

レンズを取り外すときは、レンズ着脱ボタンを押しながら、左回りに止まるまで回し、静かに引き抜いてください。

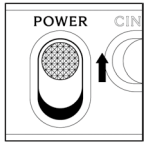


ご注意 !!

– マウント面には電気接点があります。キズや汚れがつくと誤作動や故障の原因となりますのでご注意ください。

初期設定をする

ご購入後、初めてカメラの電源を入れた時に、カメラの初期設定をしてください。



言語を設定する

◇ ボタンで希望の言語を選び、● ボタンを押します。

距離情報の単位を設定する

◇ ボタンで M（メートル）か FEET（フィート）を選び、● ボタンを押します。

セキュリティロックを設定する

– ▭ ボタンを押すと、セキュリティロック無しで初期設定を進行できます。後からセキュリティロックの設定を行ってください。

◇ ボタンで **「パスコードでロック」「操作パターンでロック」** のいずれかを選び、● ボタンを押します。

「パスコードでロック」 の場合

1. 任意の 6 ケタの数字を入力
2. 確認画面で同じ順序で数字を入力
3. ● ボタンを押す

「操作パターンでロック」の場合

1. ‹◇› ⦿ ボタンを任意のパターンで 6 回押す
2. 確認画面で同じパターンで 6 回押す
3. ⦿ ボタンを押す

タイムゾーンを設定する

◇ ボタンでご使用になるエリアを選び、⦿ ボタンを押します。

日付 / 時刻を設定する

⦿ ボタンを押して、‹◇› ボタンで年月日、時刻を設定し、⦿ ボタンを押します。

– 必要に応じて、**「サマータイム」「日付フォーマット」「24 時間表示」**を設定します。

「完了」を選び、⦿ ボタンを押すと初期設定が終了します。

– 初期設定画面で設定する項目は、あとから**「システムメニュー」**の各項目で変更できます。

バッテリーのチェック

液晶モニターの左上に電池の残量を示すアイコンが表示されます。カメラの使用前及び使用中は、常に電池アイコンをチェックするよう心がけてください。

	満充電です。
	バッテリー残量が少なく、まもなくカメラが作動しなくなります。バッテリーを充電、もしくは交換してください。
	バッテリー残量が殆どなく、カメラが作動しなくなります。バッテリーを充電、もしくは交換してください。
	充電、給電中

ご注意 !!

- SSD 等の USB ストレージを装着すると、電池の消費が増えるため、電池残量の表示が変化します。

タッチ操作について

一部の機能でタッチパネルでの操作が可能です。

タッチ操作の言葉の意味は以下のようになります。

タップ	触れて離す
ダブルタップ	短時間で2回触れて離す
ドラッグ	触れたまま動かす
フリック	動かしながら離す
ピンチアウト	2本指で広げる
ピンチイン	2本指で縮める

– タッチパネルの設定については、**「タッチ操作」**（P.249 ）をご参照ください。

CINE/STILL スイッチについて

このカメラは、静止画と動画の撮影ができます。CINE/STILL スイッチのポジションによって、それぞれの撮影に特化したカメラとして使えます。

静止画を撮影したい場合は**「STILL」**（STILL モード）、動画を撮影したい場合は**「CINE」**（CINE モード）にします。

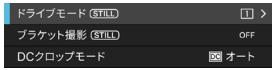


セットアップメニュー

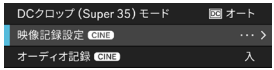
カメラ操作の基本となるセットアップメニューについて説明します。セットアップメニュー画面から、カメラのこまかい機能や、カメラの基本状態を設定することができます。

– CINE/STILL スイッチのポジションによって、セットアップメニューの内容も切り替わります。

静止画専用の項目、静止画専用のオプション、静止画専用のオプションが含まれる項目には、**「STILL」**アイコンが表示されます。



動画専用の項目、動画専用のオプション、動画専用のオプションが含まれる項目には、**「CINE」**アイコンが表示されます。



– 本書では、静止画専用の項目・オプションに **(STILL)**、動画専用の項目・オプションに **(CINE)** と記しています。
– 同じ項目でも**「STILL」**と**「CINE」**で独立して設定できるものもあります（本書では、独立して設定できる項目に **(CINE/STILL)** と表示しています）。CINE/STILL スイッチで希望のモードを選んでから設定します。

セットアップメニューを開く
本体背面の MENU ボタンを押します。
再度 MENU ボタンを押すと、セットアップメニューが閉じます。

他のページに移動する
前ダイヤルを回すごとに、隣のページに移動できます。
（タブエリアが選択されているときは、◁▷ ボタンを押しても移動できます。）

タブエリア



セットアップメニューでは：
△▽ ボタンか後ダイヤルで、希望の項目を選択します。
▷ ボタンか ⊛ ボタンでサブメニューが開きます。
項目によっては、専用画面が開くもの、確認メッセージが表示されるもの、2 階層目の項目が表示されるものがあります。

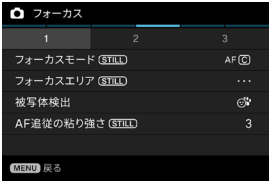


サブメニューでは：

△▽ ボタンか後ダイヤルで希望のオプションを選択します。
▷ ボタンか ⊙ ボタンで確定します。
（◁ ボタンか　MENU ボタンを押すと、変更なしでサブメニューが閉じます。）



2 階層目の項目を、さらにページ分けしている場合があります。◁▷ ボタンか前ダイヤルでページを移動できます。ページから抜けたい場合は MENU ボタンを押します。



セットアップメニューは以下の 3 つのグループに分類されています。

/ SHOOT（撮影設定）（青タブ）
撮影機能を設定します。撮影モード時に MENU ボタンを押すと、CINE/STILL スイッチが**「STILL」**のときは**「 SHOOT」**、**「CINE」**のときは**「 SHOOT」**メニューが開きます。



PLAY（再生設定）（赤タブ）
再生機能を設定します。再生モード中に MENU ボタンを押すと、**「 PLAY」**メニューが開きます。



SYSTEM（カメラ設定）（黄色タブ）

カメラの基本状態を設定します。MENU ボタンを押してセットアップメニューを開き、前後ダイヤルを回して「SYSTEM」メニューに移動します。



メモ

- カメラの状態によって、設定することができない項目やオプションは、グレーで表示されます。
- 「 / SHOOT」のグレー表示されている項目やオプション上で ボタンか ボタンを押すと、設定できない原因が一覧表示されます。表示内容を参考にしてカメラの設定を見直してください。

メニューリスト

各項目の詳細は、各該当ページをご覧ください。

* **C** = CINE モード、**S** = STILL モード

/ SHOOT(1)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
撮影モード	-	○	○	69
シャッター設定	シャッタースピード	○	○	74 ,75
	シャッターアングル	○	-	74 ,75
	シャッターモード	○	-	68
	シャッタースピード下限	-	○	72
	最大シャッターアングル	○	-	73
	高分解シャッター	○		77
	フリッカー検出	○		78
絞り	-	-	○	71 75
絞り設定	絞り	○	-	71 ,75
	絞り表示	○	-	71 ,75
露出補正	-	○	○	81
ISO 感度設定	ISO 感度	○	○	88
	ISO 感度ステップ	○		88
	低 ISO 感度拡張	-	○	89
	Log/RAW 動画 ISO 感度拡張	○	-	90
	ISO オート範囲	○	○	91
測光モード	-	○		82

/ SHOOT(2)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
ドライブモード	-	-	○	122
ブラケット撮影	露出 BKT	-	○	172
	フォーカス BKT	-	○	173
	ホワイトバランス BKT	-	○	174
DC クロップモード（Super35）	-	○		143
画質	-	-	○	131
アスペクト比	-	-	○	132
映像記録設定	フォーマット	○	-	134
	解像度	○	-	136
	フレームレート	○	-	137
オーディオ記録	-	○	-	151

/ SHOOT(3)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
カラーモード	-	○	○	163
カラースペース	-	-	○	193
Log ガンマアシスト ※ 1	-	○	-	135
ホワイトバランス ※ 2	-	○		158
フィルター効果 ※ 3	-	○		166
レンズ光学補正	回折	○		167
	周辺光量	○		167
	ブリージング	○	-	167
	カラーシェーディング	○		169

※ 1 フォーマットが H264、H265 時は非表示。
※ 2 カラーモードが MONO. 時は非表示。
※ 3 カラーモードが MONO. 時以外は非表示。

/ SHOOT(4)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
フォーカス 1	フォーカスモード	○	○	93
	フォーカスエリア	○	○	100
	被写体検出	○		103
	AF 追従の粘り強さ	○	○	120
	動画 AF 速度	○	-	121
フォーカス 2	AF+MF	○		113
	AF-S アシスト	○		107
	MF アシスト	○		107
	スケールバーの向き	○	○	110
	フォーカスピーキング	○		116
フォーカス 3	拡大中 AF	○		111
	フォーカス優先 / レリーズ優先	-	○	115
	フォーカスリミッター	○		114
	フォーカスリング制御	○		117
	フォーカス機能割り当て	○		119
手ブレ補正	レンズ内光学式手ブレ補正	○		128
	電子式手ブレ補正	○	-	129
	ジャイロ情報出力	○	-	130
レンズ機能設定	フォーカスモード	○		93
	フォーカスリミッター	○		114
	フォーカスリング制御	○		117
	光学式手ブレ補正	○		128
	AFL ボタンの機能	○		119
マニュアルレンズ設定	-	○		168

/ SHOOT(4)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
フラッシュ	調光補正	-	○	187
	赤目発光	-	○	188
	後幕シンクロ	-	○	189
	スローシンクロ	-	○	189
	AF 補助光	-	○	189
	光通信ワイヤレス	-	○	190

/ SHOOT(5)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
電子シャッター表示		-	○	194
撮影画像確認		-	○	64
ライブビュー設定	フレームの表示	-	○	133
	モニター露出反映	-	○	76
フレームガイド	-	○	-	196
ディレクターズビューファインダー	-	○	-	145
デスクイーズ	-	○		195
輝度レベルモニター	-	○	○	85
ゼブラパターン	ゼブラ 1	○		86
	ゼブラ 2	○		86

/ SHOOT(6)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
ダイヤル設定	ダイヤル機能	○		200
	操作方向の反転	○		201
	ダイヤル操作の禁止	○	-	201
カスタムボタンの機能	-	○		202
シャッターボタンの設定	シャッターボタンの機能	○	-	203
	半押し AEL	-	○	203
	半押し AF-ON	○		204
REC ボタンの機能	-	-	○	204

PLAY(1)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
再生表示フィルター	-	○		222
動画再生音設定	再生音量	○		222
	マルチチャンネル出力設定	○		252
ロック	-	○		223
マーク	-	○		225
回転	-	○		227
消去	-	○		219

PLAY(2)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
DNG 現像	-	○		228
露出警告	-	○		231
横位置揃え	-	○		231
AEL ボタンの機能	-	○		232

SYSTEM(1)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
記録ストレージの初期化	-	○		233
記録ストレージ	-	○		234
ストレージフル時の動作	-	-	○	235
ファイル名 / 番号	-	○	○	235
著作権情報	-	○		240
タイムコード	-	○	-	242

SYSTEM(2)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
カスタムモードの登録	-	○		176
QS カスタム	-	○	○	57
I□I モード設定	-	○	○	245
タッチ操作	-	○		249
REC 中の設定	-	○	-	250
ボタンロック中の動作	-	○		183

SYSTEM(3)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
音声設定	-	○	○	251
タリーランプ設定	-	○	○	253
水準器調整	-	○		254
センサーリフレッシュ	-	○		254
LCD 設定	-	○		255
電源設定	スリープタイマー	○		256
	パワーオフタイマー	○		256
	高温時の動作	○		257

SYSTEM(4)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
HDMI 出力		-	○	258
HDMI 出力	モニタリング出力	○	-	258
	記録映像出力	○	-	259
USB モード		○		260
ケーブルレリーズ設定		-	○	260
EVF 設定		○		261

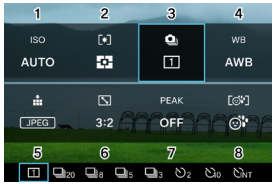
SYSTEM(5)

項目	項目（2 階層目）	C	S	ページ
日付 / 時刻 / エリア	-	○		262
Language / 単位	-	○		264
情報	-	○		265
ファームウェアの更新	-	○		265
セキュリティ設定	-	○		266
設定の管理	設定の保存	○		179
	設定の読込	○		181
	設定のリセット	○		268

QS メニュー

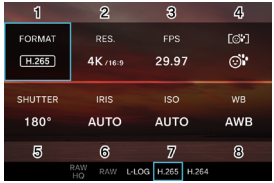
撮影時に頻繁に使う以下の項目は、QS ボタンを押すことにより、簡単に設定することができます。

STILL モード時



1. ISO 感度（P.88 ）
2. 測光モード（P.82 ）
3. ドライブモード（P.122 ）
4. ホワイトバランス（P.158 ）
5. 画質（P.131 ）
6. アスペクト比（P.132 ）
7. フォーカスピーキング（P.116 ）
8. 被写体検出（P.103 ）

CINE モード時



1. フォーマット（P.134 ）
2. 解像度（P.136 ）
3. フレームレート（P.137 ）
4. 被写体検出（P.103 ）

5. シャッターアングル（P.74 ,75 ）
6. 絞り（P.71 ,75 ）
7. ISO 感度（P.88 ）
8. ホワイトバランス（P.158 ）

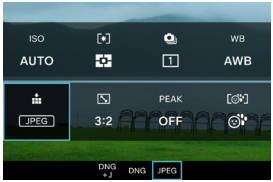
例えば、画質を DNG に変更したい場合

1

QS ボタンを押して、QS メニューを表示させます。

2

<‌> ボタンを押して、画質の項目（ ）を選択します。（画面下部に画質のオプションが表示されます。）



3

前後ダイヤルを回して**「DNG」**を表示させます。

4

⦿ ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして、撮影状態に戻ります。

メモ

– 項目、オプションによっては、より細かな設定ができる場合があります。その場合は**「AEL XXX」**と表示されますので、必要に応じて、AEL ボタンを押して設定してください。

ご注意 !!

– 設定できない項目はグレーで表示され、ダイヤルを回してもオプションを変更できません。

QS メニューに割り当てる項目を変更することができます。

– CINE/STILL スイッチのポジションによって、それぞれのモードで変更が可能です。

「 SYSTEM」→「QS カスタム」



1

「QS カスタム」画面で ボタンを押して、割り当てを変更したいポジションを選び、● ボタンを押して確定します。

2

画面下部のリストから、割り当てたい項目を ボタンを押して選び、● ボタンを押して確定します。

MODE ボタンを押すと初期の設定に戻せます。

3

一通り割当てたい項目の設定が完了したら、MENU ボタンを押して、**「QS カスタム」**画面を閉じます。

表示モードを切り替える

|▭| ボタンを押すと、液晶モニターの表示を切り替えることができます。

STILL モード時



カスタム 1
（初期設定：入）



カスタム 2
（初期設定：入）



カスタム 3
（初期設定：入）



カスタム 4
（初期設定：切）

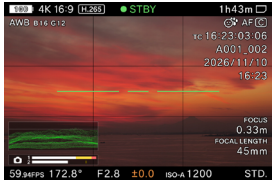
CINE モード時



カスタム 1
（初期設定：入）



カスタム 2
（初期設定：入）



カスタム 3
（初期設定：入）



カスタム 4
（初期設定：切）

- 各アイコンの意味は、（P.26）**「撮影時のモニター表示」**を参照してください。
- **「SYSTEM」→「モード設定」**（P.245）で、アイコンが表示されているモードが、現在ライブビューに適用されています。
- 表示内容のカスタマイズ、ページ数の変更、LCD オフモードの設定が可能です（P.245）。

記録ストレージを選ぶ

このカメラは、撮影された画像の保存先を SD カード、USB ストレージ（市販品）、内蔵ストレージから選択できます。

「SYSTEM」→「記録ストレージ」

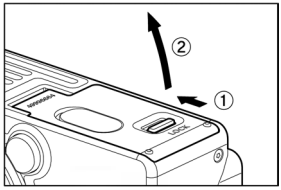
	内蔵ストレージ
	SD カード（初期設定）
	USB ストレージ

メモ

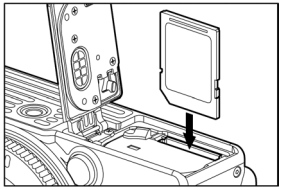
- 記録先に指定したストレージ（SD カードまたは USB ストレージ）がないときは、AEL ボタンを押すことで、内蔵ストレージに記録先を変更できます。
- **「SYSTEM」→「ストレージフル時の動作」→「内蔵ストレージへの一時切替」→「入」**にすると、SD カードまたは USB ストレージの容量がいっぱいになった際、自動的に記録先が内蔵ストレージに切り替わります。（記録ストレージのアイコンが に変わります。）

カードの入れ方

1
電源スイッチが OFF になっているのを確認し、バッテリー /SD カバーロックをスライドして、バッテリー /SD カバーを開きます。

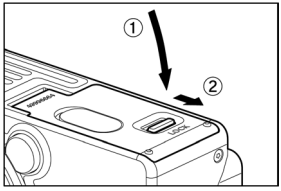


2
向きに注意してカードを入れます。



– カチッと音がするまでカードを押し込んでください。

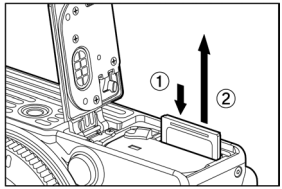
3
バッテリー /SD カバーを押さえながら、バッテリー /SD カバーロックをスライドしてロックします。



– カードを初めて使うときは、本機で初期化をしてください。（P.233 ）

カードの取り出し方

カードをカチッと音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜いてください。



警告 !!

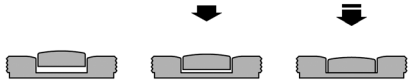
– アクセスランプが点灯・点滅しているときは、絶対にバッテリーやカードを取り出さないでください。書き込み中のデータが失われます。また、カードが損傷する場合があります。

メモ

– 電源を OFF にしても、カードへのアクセスが終了するまでは、アクセスランプが点灯・点滅し、電源が切れません。

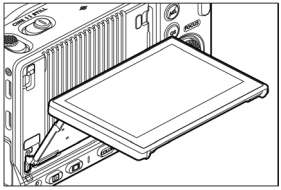
シャッターボタンの押し方

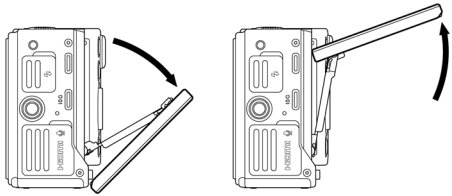
軽く押して止まるところ（半押し）で、露出とフォーカス機能が作動します。さらに押し込むと（全押し）撮影されます。



液晶モニターの角度を変える

このカメラの液晶モニターは、上下方向に角度を変えることができます。





ご注意 !!

– 可動部に強い力を加えないでください。

– 持ち歩く際は、液晶モニターを閉じてください。

撮影した画像を確認する

撮影後に表示される画像の表示時間を変更できます。

「📷 SHOOT」→「撮影画像確認」

切（初期設定） （撮影画像を表示しません。）		
2 秒	**5 秒**	**10 秒**

ご注意 !!

– 撮影画像確認画面では、拡大表示、他の画像への切りかえはできません。

写真を撮る

写真を撮るための大まかな順序は以下の通りです。

CINE/STILL スイッチを「STILL」にする。
画質の設定をする（P.131 ）
ISO 感度を設定する（P.88 ）
露出を決める（P.68 ）
ピントを合わせる（P.92 ）
シャッターボタンを押しこんで撮影

– その他の設定は、各該当ページをご残照ください。

動画を撮る

動画を撮るための大まかな順序は以下の通りです。

CINE/STILL スイッチを「CINE」にする。
記録フォーマット、解像度、フレームレートなどの映像記録の設定をする（P.134 ）
ISO 感度を設定する（P.88 ）
露出を決める（P.68 ）
ピントを合わせる（P.92 ）
シャッターボタン、もしくは REC ボタンを押して撮影スタート
– スタンバイ表示（緑色）が記録時間（赤色）に変わります。
再度シャッターボタン、もしくは REC ボタンを押して撮影ストップ

– その他の設定は、各該当ページをご残照ください。

ご注意 !!

– REC ボタンでは AF は作動しません。常時 AF（P.99）が ON になっている場合を除き、シャッターボタンの半押し等で AF を作動させてください。
– ストレージに十分な空き容量があっても、1 回の動画撮影時間は、最長 2 時間に制限されます。

メモ

STILL モード中でも REC ボタンで動画を撮影することができます。

– REC ボタンの機能を**「REC」**に設定してください。

「📷 SHOOT」→「REC ボタンの機能」→「REC」

– 動画は、セットアップメニューの**「映像記録設定」**（P.134）で設定された状態で記録されます。

露出を決める

ご注意 !!

– 本章では**「📷 / 🎥 SHOOT」**メニューの**「ダイヤル設定」**が、初期設定の状態を前提に説明しています。説明文と実際の操作方法が異なる場合は、**「ダイヤル設定」**（P.200 ）の項目をご覧ください。

絞りリング付の L マウントレンズをご使用の場合

絞り優先オート、およびマニュアル露出モードでは、レンズの絞りリングで絞り値を設定できます。カメラのメニューやダイヤルで絞り値を設定したい場合は、絞りリングを A ポジションにセットしてください。

シャッターアングルについて（CINE モード）

シネマカメラでは、シャッターにおける露光時間の単位として、シャッターアングル（角度）が一般的に用いられています。例えば、360 °は 1 フレームあたり 100% の露光時間、180°は 50% の露光時間を与えることを意味します。このカメラでは、シャッターの表示を、スピードとアングルの使い慣れたほうを選べます。

露出モードの選び方

(CINE/STILL)
露出を決める 4 つのモードの特徴と操作方法を説明します。

M	**マニュアル露出**
S	**シャッタースピード優先オート**※
A	**絞り優先オート**
P	**プログラムオート**（初期設定）

※ CINE モードでは**「シャッターアングル優先オート」**と表示されます。

1
MODE ボタンを押します。
2
前後ダイヤル、または ❮❯ ボタンを押して、希望の露出モードを選択します。
3
⦿ ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しして確定します。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「撮影モード」からも設定できます。

P プログラムオート

気軽な撮影にはこのモードを選択します。被写体の明るさに応じて、カメラがシャッタースピード（シャッターアングル）と絞りを決定します。

ご注意 !!

– 《📷》マークが点灯したときは、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれをおこす可能性があります。ISO 感度（P.88）を上げるか、三脚等に固定して撮影してください。
– 明るすぎたり暗すぎる場合、シャッタースピードと絞り値表示が点滅します。ISO 感度（P.88）を下げてください。

プログラムシフト *P
(STILL)
カメラが選んだシャッタースピードと絞りの組み合わせを同じ露出を保ったままを変更できます。前ダイヤルで調整してください。

A 絞り優先オート

希望の絞りをセットします。被写体の明るさに応じてカメラがシャッタースピード（シャッターアングル）を決定します。

絞り値は、前ダイヤルでセットします。

– **「📷 SHOOT」→「絞り」**からもセットできます。

ご注意 !!

– (📷) マークが点灯したときは、シャッタースピードが遅くなり、手ぶれをおこす可能性があります。ISO 感度（P.88）を上げるか、三脚等に固定して撮影してください。

– 明るすぎたり、暗すぎる場合、シャッタースピード表示が点滅します。点滅が消えるように絞りを調整してください。

CINE モードでは…

– QS メニューでは、絞りの選択中に |□| ボタンを押す、**「🎥 SHOOT」**からは絞り値を**「オート」**にセットすると、**P** モードに切り替ります。

– **P**、**A** モード時に制御されるシャッタースピードの下限値（最大シャッターアングル）や、シャッタースピードの制御傾向（速め、遅め）を設定できます。

「 / SHOOT」→「シャッター設定」→「シャッタースピード下限 (最大シャッターアングル)」

(CINE/STILL)
シャッタースピード下限

AUTO (SLOWER)	標準より 2 段遅いシャッタースピードに設定される。
AUTO (SLOW)	標準より 1 段遅いシャッタースピードに設定される。
AUTO（標準）（初期設定）	おおよそレンズの焦点距離分の 1 秒（CINE モードでは 180°相当）に設定される。
AUTO (FAST)	標準より 1 段速いシャッタースピードに設定される。
AUTO (FASTER)	標準より 2 段速いシャッタースピードに設定される。
1s ～ 1/25600 ※ 1	各シャッタースピードに設定される。

※ 1 CINE モードでは、フレームレートの設定により、選択できるシャッタースピードが変わります。

(CINE)

最大シャッターアングル

AUTO (SLOWER)	標準より 2 段広いシャッターアングルに設定される。
AUTO (SLOW)	標準より 1 段広いシャッターアングルに設定される。
AUTO（標準）（初期設定）	基本的に、シャッターアングルが 180° に設定される。
AUTO (FAST)	標準より 1 段狭いシャッターアングルに設定される。
AUTO (FASTER)	標準より 2 段狭いシャッターアングルに設定される。
1.1°～ 360° ※ 2	各シャッターアングルに設定される。

※ 2 フレームレートの設定により、選択できるシャッターアングルが変わります。

S シャッタースピード（シャッターアングル）優先オート

希望のシャッタースピード（シャッターアングル）をセットします。被写体の明るさに応じてカメラが絞りを決定します。

シャッタースピード（シャッターアングル）は、前ダイヤルでセットします。

– **「📷 / 🎥 SHOOT」→「シャッター設定」→「シャッタースピード（シャッターアングル）」**からもセットできます。

ご注意 !!

– 明るすぎたり、暗すぎる場合、絞り値表示が点滅します。点滅が消えるようにシャッタースピードを調整してください。

CINE モードでは…

– QS メニューでは、シャッターの選択中に |□| ボタンを押す、**「🎥 SHOOT」**からはシャッターアングル（シャッタースピード）を**「オート」**にセットすると、**P** モードに切り替ります。

M マニュアル露出

自分でシャッタースピード（シャッターアングル）と絞りをセットします。

前ダイヤルで絞りをセットし、露出メーターの数値が 0.0 になるように、後ダイヤルでシャッタースピード（シャッターアングル）をセットします。

– 露出メーターの表示は 1/3 段ステップで± 5 段まで表示されます。表示範囲を超えた場合、露出メーターの数字が点滅表示されます。

ご注意 !!

– 明るすぎたり、暗すぎる場合、ISO 表示が点滅します。点滅が消えるようにシャッタースピード（アングル）か絞りを調整してください。

ISO 感度（P.88 ）を「ISO オート」にセットした場合

被写体の明るさに応じてカメラが ISO 感度を変化させる自動露出撮影が行われます。

CINE モードでは…

– QS メニューでは、絞りの選択中に |□| ボタンを押すと **S** モード、シャッターの選択中に |□| ボタンを押すと **A** モードに切り替ります。

– **「 SHOOT」**からは絞り値を**「オート」**にセットすると **S** モード、シャッターアングル（スピード）を**「オート」**にセットすると **A** モードに切り替ります。

ライブビュー画像の露出反映について

(STILL)

M モードでの夜間撮影やフラッシュ撮影時など、暗いシーンでピントや構図が確認しにくい場合は、画面を見やすい明るさに調整する設定に切り替えることができます。

「 SHOOT」→「ライブビュー設定」→「モニター露出反映」

切	見やすい明るさに自動調整されます。
入（初期設定）	実際の露出が反映されます。

– モニター露出反映の入／切は、カスタムボタン（P.202）に割り当てることができます。

フリッカーの低減について

蛍光灯や LED 照明下で、画像に露出ムラや縞模様がでるなどの、フリッカーによる影響を低減させる機能があります。

– シャッタースピード（シャッターアングル）を任意で設定できるモード（**S, M**）で有効です。

高分解シャッター

フリッカーの周波数に合わせて、シャッタースピード（シャッターアングル）を細かく設定することができます。

1

おおよその希望のシャッタースピード（シャッターアングル）を設定します。

2

「 / SHOOT」→「シャッター設定」→「高分解シャッター」→「入」にして、ライブビュー画像を見ながら、フリッカーの影響が低減されるシャッタースピード（シャッターアングル）を選んでください。

– 高分解シャッターにすると、シャッタースピードの分母が小数点表示になります。シャッターアングルの場合はすべての角度表示が小数点第 1 位表示になります。
例：1/250 → 1/256.0、 180°→ 180.0°
– 設定可能なシャッタースピードは 1/50.0s ～ 1/8192.0s、シャッターアングルは 360.0°～ 10.0°の範囲です。
– ライブビュー表示と撮影画像に差が生じる場合があります。撮影後はフリッカーの影響が軽減されているか、撮影画像を確認してください。

フリッカー検出

フリッカーの周波数を検知し、フリッカーの影響が低減されるシャッタースピード（シャッターアングル）に自動的に設定されます。

1

「 / SHOOT」→「シャッター設定」→「フリッカー検出」→「検出開始」

– CINE モードでは、QS メニューの**「SHUTTER」**で、AEL ボタンを押してもフリッカー検出開始画面に移れます。（STILL モードの場合は、QS カスタムで**「シャッタースピード」**を QS メニューに割り当ててください。）

2

画面いっぱいに均一な面を収め、⦿ ボタンを押します。

– 検出中はカメラを動かさないでください。

検出が成功すると、検出された周波数と、設定されるシャッタースピード（シャッターアングル）が表示されます。

ご注意 !!

– 映像記録設定のフレームレートの設定によっては、フリッカーを回避できない場合があります。フリッカーの影響を低減することを優先する場合は、フレームレートを変更して再検出してください。

– 高分解シャッター**「切」**でフリッカー検出を行うと、通常のシャッタースピード（シャッターアングル）に、その周波数における他の選択肢が追加されます。

例：検出値が 1009.3Hz だった場合
（シャッターアングルは 59.94fps 時）

シャッタースピード	シャッターアングル
・	11.2°
・	►21.3°
1/1250	22.5°
►1/1009.3	►42.7°
1/1000	45°
1/800	60°
1/640	►64.0°
►1/504.7	72°
1/500	75°
1/400	►85.5°
►1/336.8	86.4°
1/320	90°
►1/251.9	►107.0°
1/250	108°
・	・
・	・

（分母が小数点表示のものが追加されたシャッタースピード。）

検出された周波数、追加されたシャッタースピード（シャッターアングル）を消去するには、**「📷 / 🎥 SHOOT」→「シャッター設定」→「フリッカー検出」→「周波数の消去」**で、**「消去」**を選び、⦿ ボタンを押して確定します。

バルブ撮影

(STILL)
シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。

1
露出モードを **M** にセットします。

2
後ダイヤルを回しシャッタースピード表示部に BULB を表示させます。

3
前ダイヤルを回して絞りを選びます。

4
希望の時間に達するまでシャッターボタンを押し続けます。

ご注意 !!
- バルブ撮影での露光可能な時間は 5 分までです。シャッターボタンを押したままでも、5 分経つと自動的にシャッターが閉じます。
- 長時間の露光では、ノイズが増える場合があります。
- ISO オート時は、バルブ撮影できません。

露出補正

(CINE/STILL)

カメラが判断した適正露出に対し、意図的に明るめにしたり、暗めにしたい場合、この機能を使います。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「露出補正」、または後ダイヤルで補正量をセットします。

– 補正量は 1/3 段ステップで、± 5EV までできます。

ご注意 !!

– 露出補正は自動的に解除されません。撮影が完了したら、後ダイヤルで補正量を± 0.0 に戻してください。

– 露出補正は M モードとの併用はできません。(ISO オート設定時は併用できます。)

測光モード

通常は、画面全体を分割し露出を算出する評価測光が行われます。特定の部分だけに露出を合わせたい場合は、スポット測光が便利です。



QS メニュー **(STILL)**、または **「 / SHOOT」→「測光モード」**より設定します。

評価測光（初期設定）	**[•]スポット測光**

スポット測光設定時は、画面中央に測光範囲を示すサークルが表示されます。



AEL ボタン

オートのまま、一定の露出で撮影したいときなどに便利な AEL ボタンを備えています。



AEL ボタンは、AE ロック機能のほかに、AF 関連、その他の機能を割り当てることができます。
「📷 / 🎥 SHOOT」→「カスタムボタンの機能」→「AEL」より設定します。

割り当て可能な AE ロック、AF 関連の機能

AF-ON	AEL ボタンを押すと、オートフォーカスが作動します。
中央 AF	AEL ボタンを押すと、中央のフォーカスフレームでオートフォーカスが作動します（P.112）。
フォーカスアシスト表示	AEL ボタンを押すと、**「フォーカスアシスト表示」**（P.109）されます。もう 1 度 AEL ボタンを押すと通常表示に戻ります。
AEL（初期設定）	AEL ボタンを押すと、そのときの露出が固定されます。もう 1 度 AEL ボタンを押すまで同じ露出で撮影できます。
AFL	AEL ボタンを押すと、フォーカスがロックされます。もう 1 度 AEL ボタンを押すまで同じピント位置で撮影できます。

AEL+AFL	AEL ボタンを押すと、AE ロックとフォーカスロックが同時に行われます。もう 1 度 AEL ボタンを押すまで同じ露出とピント位置で撮影できます。
AEL (押す間)	AEL ボタンを押している間だけ、露出が固定されます。
AFL (押す間)	AEL ボタンを押している間だけフォーカスがロックされます。
AEL+AFL (押す間)	AEL ボタンを押している間だけ、AE ロックとフォーカスロックが同時に行われます。

– 割り当て可能なその他の機能の内容は、各関連ページをご参照ください。

– AEL ボタンに割り当て可能な機能は、⦿ ボタンにも割り当てることができます。

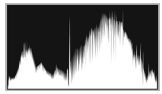
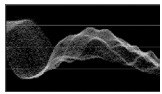
輝度レベルモニター

(CINE/STILL)

撮影時に露出を判断する手段として、2 種類の輝度レベル表示から選択できます。

– 輝度レベルモニターの表示の有無は、|□|（ディスプレイ）モード設定（P.245）の**「輝度レベルモニター」**から設定します。また、カスタムボタンに割り当てることもできます（P.202）。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「輝度レベルモニター」

ヒストグラム 	ヒストグラムの詳細は（P.215）をご参照ください。
波形 	横軸は画面の横方向の位置を示し、縦軸は輝度レベル（下端 : 0、上端 : 255）を示します。ヒストグラムとは違い、その位置における輝度値の状態の把握が容易になります。

– CINE モードでは、ヒストグラム、波形とも、2 通りのサイズ（標準 / 大）から選べます。

露出確認ツール

露出の決定に役立つ、ふたつのツールを備えています。

「ゼブラパターン」「フォルスカラー」

– 露出確認ツールの表示の有無は、|□|（ディスプレイ）モード設定（P.245）の**「露出確認ツール」**から設定します。また、カスタムボタンに割り当てることもできます（P.202）。

ゼブラパターン

任意の輝度範囲をゼブラパターンで表示します。



「📷 / 🎥 SHOOT」→「ゼブラパターン」

|□|（ディスプレイ）モード設定（P.245）の**「露出確認ツール」**からも設定できます。

ゼブラ 1	ゼブラ 2

それぞれ**「入」「切」**が設定できます。

1

「入」を選び、さらに ❯ ボタンを押して設定画面を開きます。（**「入」**で ⦿ ボタンを押すと、前回の設定値のゼブラパターンが表示されます）

2

◇ ボタンで項目を選び、◇ ボタンか後ダイヤルで設定します。

– 設定範囲：0%（輝度値 0）～ 100%（輝度値 255）

– パターンの色は 8 種類から選べます。

– **「ゼブラ 1」「ゼブラ 2」**の設定値が被ってしまった部分の表示は、**「ゼブラ 1」**のゼブラパターンが優先されます。

フォルスカラー

映像をグレースケールに変換し、重要な輝度範囲をシグナルカラーで表示します。

– 表示色の意味は次のようになります。紫色側は露出アンダー、赤側は露出オーバーを示します。

	STILL: JPEG **CINE: H.264, H.265**	**STILL: JPEG+DNG, DNG** **CINE: ProRes RAW, ProRes Raw HQ, L-Log**
紫	ほぼ黒つぶれする部分	ほぼ黒つぶれする部分
青	黒つぶれしそうな部分	黒つぶれしそうな部分
緑	適正露出 (18% グレー) の部分	適正露出 (18% グレー) の部分
ピンク	適正露出に対して +1EV の部分	適正露出に対して +1EV の部分
黄色	白飛びしそうな部分	信号飽和に対して -2/3EV 以上
赤	ほぼ白飛びする部分	信号飽和に対して -1/3EV 以上

– （ディスプレイ）モード設定で**「フォルスカラー」**を選択後、さらに ▷ ボタンを押すと、シグナルカラーのチャートが表示されます。

ISO 感度の設定

(CINE/STILL)
撮影時の感度（ISO 感度）を設定できます。



QS メニュー、または**「📷 / 🎥 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「ISO 感度」**

ISO AUTO (ISO オート)（初期設定）	明るさに応じて自動設定されます。**(ISO 100 ～ 102400)**
ISO 100 ～ 102400	それぞれの感度に固定されます。

ご注意 !!

– ProRes RAW HQ、ProRes RAW、L-Log 設定時は、ISO オートの制御範囲、および設定できる ISO 感度の範囲が 1250 ～ 102400 に制限されます。

ISO 感度の設定ステップを変更できます。
「📷 / 🎥 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「ISO 感度ステップ」

1 段	**1/3 段**（初期設定）

低 ISO 感度拡張

(STILL)

一回で複数枚の画像を撮影し自動合成、低感度撮影と同等の状態を作り出し、ノイズが低減された階調豊かな写真を撮ることができます。

– 低 ISO 拡張は、静物や風景に適した機能です。しっかりとした三脚等にカメラを固定して撮影してください。

「📷 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「低 ISO 感度拡張」

追加される ISO 感度

1/3 段	ISO 6, 8, 10, 12, 16, 20, 25, 32, 40, 50, 64, 80
1 段	ISO 6, 12, 25, 50

– 追加された ISO 感度は、数値の下にアンダーラインが付き、ISOアイコンが表示されます。

ご注意 !!

– **「ISO Auto」**の下限には設定できません。

– ISO6 から ISO80 の間では、設定する ISO 感度によって、シャッタースピードの選択できる範囲、動作範囲が変わります。

– 低 ISO 感度拡張で追加された ISO 感度と、以下の機能は併用できません。

連続撮影 (20FPS)、高分解シャッター、フラッシュ撮影

LOG/RAW 動画 ISO 感度拡張

(CINE)

ProRes RAW HQ、ProRes RAW、L-Log 設定時における低 ISO 側の選択肢を拡張できます。

「 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「Log/RAW 動画 ISO 感度拡張」

追加される ISO 感度

1/3 段	ISO 320, 400, 500, 640, 800, 1000
1 段	ISO 320, 640

– 追加された感度は、数値の下にアンダーラインが表示されます。

ご注意 !!

– **「ISO Auto」**の下限には設定できません。
– 場面によっては白飛びが発生しやすくなります。露出は慎重に調整してください。

ISO オート範囲

(CINE/STILL)
ISO オートにおける ISO 感度の下限、上限を設定できます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「ISO 感度設定」→「ISO オート範囲」

	1/3 段	1 段
ISO オート下限	100 ～ 80000	100 ～ 51200
ISO オート上限	125 ～ 102400	200 ～ 102400

ご注意 !!

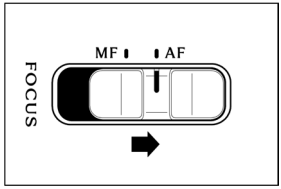
– ProRes RAW HQ、ProRes RAW、L-Log 設定時は、ISO 下限が 1250 に制限されます。

ピントを合わせる

撮影シーンや被写体によって、フォーカスモードやオプションの設定をします。

オートフォーカスによるピント合わせ

1
レンズにフォーカスモード切換えスイッチがある場合はスイッチを AF にします。



2
カメラのフォーカスモード（P.93 ）を設定します。

3
シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスが作動します。

ご注意 !!

- 撮影する環境や被写体によっては、合焦精度が落ちる場合があります。
  - コントラストのない被写体
  - 点滅している被写体
  - 高速で移動する被写体
  - 非常に暗い環境
  - 逆光になっている被写体

フォーカスモードの設定

(CINE/STILL)

被写体にあわせて、フォーカスモードを選択できます。

FOCUS ボタンを押して、前後ダイヤル、または ◁▷ ボタンで選択します。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスモード」からも設定できます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「レンズ機能設定」→「フォーカスモード」からも設定できます。



AF S	**シングル AF（STILL 初期設定）**
AF C	**コンティニュアス AF（CINE 初期設定）**
AF	**追尾 AF**
MF	**マニュアルフォーカス**

シングル AF

静止している被写体向きです。ピントが合ったあと、シャッターボタンを半押ししている間、ピントが固定されます。

– ピントが合ったフォーカスフレームが緑色で表示され、合焦音で知らせます。（CINE モードでは合焦音は鳴りません。）



多点オート時（P.100 ）



1 点時（P.101 ）

– ピントが合わないときは、エリアフレーム、フォーカスフレームが赤色で点滅します。



多点オート時（P.100 ）



1 点時（P.101 ）

– 露出はシャッターボタンを半押ししたときの値が固定されます。CINE モードでは露出は固定されません。
– 連続撮影の場合、1コマ目の固定されたピント位置、露出でで撮影されます。

フォーカスロック撮影

ピントが合ったあと、シャッターボタンを半押ししたまま、構図を変えて撮影することができます。

– フォーカスロックの機能を割り当てた AEL ボタンで、フォーカスロック撮影することもできます（P.83）。

コンティニュアス AF

動いている被写体向きです。シャッターボタンを半押している間、オートフォーカスが作動し続けます。

- ピントが合ったフォーカスフレームが緑色で表示され、シャッターボタンを半押ししている間、エリアフレーム内（1 点時はフォーカスフレーム）で被写体にピントを合わせ続けます。
- 被写体がエリアフレーム（1 点時はフォーカスフレーム）から外れると、再測距され、別の被写体にピントを合わせます。
- 連続撮影の場合は、AF 作動と撮影が繰り返されます。
- フォーカスはロックされません。
- 合焦音は鳴りません。

追尾 AF

移動する被写体を自動的に追い続けます。

1

被写体をエリアフレーム（1 点時はフォーカスフレーム）に合わせ、シャッターボタンを半押しします。

2

被写体に合焦するとフォーカスフレームが緑色に変わり、シャッターボタンを半押している間、フォーカスフレームが被写体を追尾し、ピントを合わせ続けます。

- 被写体が画面から外れるなど追尾が中断すると、別の被写体にフォーカスフレーム移ります。
- 動画の記録中も、合焦した被写体の追尾を続けたい場合は、シャッターボタンの半押しを維持してください。

自動追尾 AF

画面内のピントを合わせたい被写体をタップすると、その被写体にピントを合わせ続けます。

– **「自動追尾 AF」**を有効にするには、**「SYSTEM」→「タッチ操作」**で**「タップ」**に**「自動追尾 AF」**を割り当ててください。（**「フォーカス機能割り当て」**からもアクセスできます。）

画面をタップし、追尾が始まるとオレンジ色のフォーカスフレームが表示されます。シャッターボタンを半押しして、合焦するとフォーカスフレームが緑色に変わります。

– 動画の記録中、シャッターボタンから指を離しても、追尾が継続します。
– 追尾している被写体が、一定時間画面から外れると、追尾が停止します。
– 追尾中に違う被写体に乗り移る場合があります。
– 自動追尾モードを解除するには、追尾中の被写体を一定時間画面から外すか、自動追尾解除タップボタンをタップしてください。（⦿ ボタンを押しても解除できます。）



常時 AF

(CINE)

シャッターボタンを半押していない状態において、AF が作動し続けるかどうかを設定します（初期設定 : ON）。

AF の各フォーカスモード画面で、◇ ボタンで選択します。



メモ

– 移動しながら撮影する場合や、被写体が移動するシーンでは、大きめのエリアフレームに設定すると、フォーカス動作がより安定します。
– フォーカスが移動する速度を調整することができます（P.121）。

ご注意 !!

– 常にレンズのフォーカス機構が作動しているため、バッテリーの消耗が早くなります。バッテリー残量にご注意ください。

フォーカスフレームの設定

動く被写体、静止した被写体など、被写体の状況に合わせて、最適なフォーカスフレームの設定ができます。

⁝⁝ ボタンを押し、フォーカスフレーム設定画面を表示させます。
– 前後ダイヤルで、フレームの切替えやサイズ変更ができます。
– ‹› ボタンで、フレームの位置を移動できます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスエリア」からも設定できます。

多点オート

カメラがエリアフレーム内の最適なフォーカスフレームを選んでピントを合わせます。動いている被写体や、被写体が中央にない場合に有効です。

前後ダイヤルでエリアフレームを表示させます。



– エリアフレームは最小～画面全域の間で、4 段階の広さが選択できます。

1 点（1 点選択）

任意の位置のフォーカスフレームでピントを合わせます。被写体の位置が定まっている場合に有効です。



前後ダイヤルでフォーカスフレーム（大・小）を表示させます。

フレームの位置変更

– ◇ ボタン、またはタッチ操作（タップ、ドラッグ）で、エリアフレーム（画面全域設定時を除く）、フォーカスフレームの位置を移動できます。



多点オート時（P.100 ）



1 点時（P.101 ）

– MODE ボタンを押すと、エリアフレームを中央に戻せます。

フレームの移動の仕方を選択できます。

– AEL ボタンを押すたびに**「自由移動モード」**と**「ステップモード」**が切り替わります。

自由移動モード



ステップ移動モード



– **「自由移動モード」**は、画面内を無段階で移動できます。

– **「ステップ移動モード」**は、画面内の 49 個のポイントを基準として、ステップ的に移動できます。

– ボタンを押さなくても、タッチ操作（タップ、ドラッグ）でフレームの位置を移動させることができます。

「SYSTEM」→「タッチ操作」→「入」→「」→「タップ」→「フォーカスエリア移動（初期設定）」

被写体検出

人物、動物を検出し、優先的にピント合わせます。
「 / SHOOT」→「フォーカス」→「被写体検出」
FOCUS ボタン→ AEL ボタンで表示される、セットアップメニューのフォーカス関連タブからも設定できます。



切	検出は行わず、通常の AF モードにします。
人物 + 動物検出	（初期設定） 人物と動物を優先的に検出します。
人物検出	人物を優先的に検出します。
動物検出	動物を優先的に検出します。

– 検出は、被写体の目を優先します。
– MF 時は、被写体検出の設定はできません。

フォーカスフレームの設定が「多点オート」（初期設定）の場合

– 被写体が検出されると、白いフォーカスフレームが表示されます。シャッターボタンを半押しして、合焦するとフォーカスフレームが緑色に変わります。**AF** Ⓒ モードではエリアフレーム内でその被写体にピントを合わせ続けます。**AF** [ ] モードではその被写体を追い続けます。

ダイレクト被写体選択

– ダイレクト被写体選択有効時（カスタムボタンの機能、**<>** ボタンの初期設定）、複数の被写体（被写体の両目を検出した場合は複数と数えます）が検出されると、被写体検出アイコンに**<>** アイコンが追加表示され、最大 3 つのフォーカスフレーム（白とグレー）が表示されます。白いフォーカスフレームが意図した被写体ではなかった場合、**<>** ボタンで異なるフォーカスフレームに移動できます。



ご注意 !!

– **「カスタムボタンの機能」**（P.202）で、**「ダイレクト被写体選択」**（**<>** ボタンの初期設定）を他の設定に変更すると、フォーカスフレームの移動ができなくなります。（シャッターボタン半押し時は移動が可能です。）フォーカスフレームの移動を可能にするには **<>** ボタンか **^v** ボタンかに **「ダイレクト被写体選択」** を割り当ててください。

– 以下の状況では、検出ができない場合があります。
  – サングラス、帽子、前髪などで顔の一部がさえぎられているとき。
  – 暗い、または逆光のシーン。
  – ピントが大きくずれているとき。
  – 被写体の動きが早いとき。

フォーカスフレームの設定が「1 点」の場合
被写体検出は行われますが、フォーカスフレームのある位置でピントを合わせます。ダイレクト被写体選択有効時は、<> ボタンで被写体検出されたフォーカスフレームに移動できます。

AF シフト

合焦したピント位置が意図しなかった位置だった場合、シャッターボタンを半押ししたまま、◇ ボタンを押すと、再測距を行います。



- ∧ ボタンを押すと、現状のピント位置より遠い側で再測距します。
- ∨ ボタンを押すと、現状のピント位置より近い側で再測距します。
- フォーカスフレームの設定が**「1 点」**の場合、表示中のフォーカスフレームで再測距します。**「多点オート」**の場合、エリアフレーム内の最適なフォーカスフレームが選ばれ再測距します。
- 遠い側で合焦できなかった場合、無限遠で停止します。近い側で合焦できなかった場合、最短位置で停止します。

マニュアルフォーカスによるピント合わせ

1

レンズにフォーカスモード切換えスイッチがある場合は、スイッチを **MF** にします。（レンズにフォーカスモード切換えスイッチが無い場合はカメラのフォーカスモードを MF **「マニュアルフォーカス」**にします（P.93））。

2

被写体がはっきり見えるようにレンズのフォーカスリングを回してピントを合わせます。

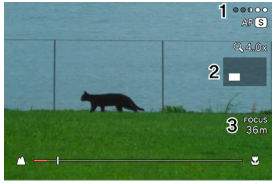
メモ

– 初期設定では、ピント合わせが容易にできるように、**「MF アシスト」**（P.107）が ON になっています。詳細は **「AF-S アシスト / MF アシスト」**（P.107）をご覧ください。

AF-S アシスト / MF アシスト

自動拡大表示とフォーカスピーキング表示で、ピントの状態を確認することができます（フォーカスアシスト表示）。

アシスト表示画面



1. 表示残時間
2. 拡大位置表示
3. 撮影距離
4. スケールバー
5. 無限遠位置
6. 最短距離位置

AF-S アシスト

シングル AF 時、合焦後、シャッターボタンの半押し中にフォーカスアシスト表示されます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「AF Ⓢ アシスト」

MF アシスト

MF 時、フォーカスリングを操作するとフォーカスアシスト表示されます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「MF アシスト」

自動アシスト表示

AF S アシスト：合焦後に自動拡大表示される時間を設定します。
MF アシスト：フォーカスリング操作後に自動拡大表示される時間を設定します。

切	拡大表示しません。 （AF S アシストの初期設定）
1 秒	約 1 秒間拡大表示されます。
2 秒	約 2 秒間拡大表示されます。 （MF アシストの初期設定）
5 秒	約 3 秒間拡大表示されます。
HOLD	拡大表示がキープされます。

– シングル AF + 多点オート時は、合焦したフォーカスフレームを中心に拡大表示されます。
– 拡大表示中は前後ダイヤルで拡大率（1.0x、2.0x、4.0x、8.0x）を変えられます。

拡大表示

自動拡大設定時の拡大表示の仕方を設定します。

全画面 （初期設定）	画面いっぱいに拡大表示されます。
PIP	画面中央 25%の範囲に拡大表示されます。

ピーキング

自動拡大表示中に、フォーカスピーキング（P.116 ）を表示させることができます。

– フォーカスピーキングの色と感度の設定は、フォーカスピーキング（P.116 ）と共通の設定になります。

ご注意 !!

– **「自動追尾 AF」**（P.98 ）の動作中、および **「ダイレクト被写体選択」**（P.104 ）の操作中は、AF-S アシストによるフォーカスアシスト表示に移行しません。
– 対応レンズでのみ、撮影距離 / スケールバーの表示、MF 操作後自動拡大が利用できます。
– マウントコンバーター MC-21 を介したレンズでは、撮影距離 / スケールバーが表示されません。

フォーカスアシスト表示

シングル AF と MF 時は、⊛ ボタンを押すとフォーカスアシスト表示されます。シングル AF 時は **「AF S アシスト」**、MF 時は **「MF アシスト」**で設定した状態（自動アシスト表示の設定を除く）で表示されます。

– 自動拡大に対応していないレンズでもフォーカスアシスト表示ができます。
– 再度 ⊛ ボタンを押すと通常表示に戻ります。
– シャッターボタンを半押しすると、拡大表示が一時的に解除されます。
– シングル AF + 多点オート時、シャッターボタンの半押し前に ⊛ ボタンを押すと、エリアフレームの中心が拡大表示されます。
– AEL ボタンにフォーカスアシスト表示を割り当てできます（P.83 ）。
– タッチ操作（ダブルタップ）にフォーカスアシスト表示を割当てできます（P.249 ）。

スケールバーの向き
(CINE/STILL)
フォーカスアシスト表示中に表示されるスケールバーの向きを変更できます。
「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「スケールバーの向き」

▲-🌷 (初期設定)	遠距離側が左、近距離側が右
🌷-▲	近距離側が左、遠距離側が右

ご注意 !!
– スケールバーは対応レンズでのみ表示されます。

拡大中 AF

フォーカスアシスト表示中に AF 撮影ができます。



「 / SHOOT」→「フォーカス」→「拡大中 AF」→「入」

「入」にすると、フォーカスアシスト表示の中央に + マークが表示されます。

⦿ ボタンを押してフォーカスアシスト表示させ、+ マークに被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しします。合焦すると + マークが緑色に変わりますので、そのまま撮影します。

メモ

– 拡大表示のまま撮影するので、先に構図、フォーカスフレームの位置を決めてください。
– 拡大表示中も ‹◇› ボタンでフォーカスフレームを移動できます。

中央 AF

エリアフレーム、フォーカスフレームがどの位置にあっても、⦿ ボタン、もしくは AEL ボタンを押すと、画面中央のフォーカスフレーム（小）でオートフォーカスが作動します。

– **「中央 AF」**を有効にするには、**「カスタムボタンの機能」**（P.202）で ⦿ ボタンに機能を割り当ててください。（**「フォーカス機能割り当て」**からもアクセスできます。）
– フォーカスフレーム（大）に設定していた場合は、（大）のまま中央でオートフォーカスが作動します。
– オートフォーカス作動後は、多点オートに設定していた場合はエリアフレーム、1 点に設定していた場合はフォーカスフレームが中央に移ります。

AF+MF

オートフォーカスでピントを合わせた後、フォーカスリングを回してピントの微調整ができます。

「 / SHOOT」→「フォーカス」→「AF+MF」

切	AF 設定時、フォーカスリングは機能しません。
入 （初期設定）	シャッターボタンを半押ししている間、フォーカスリングの操作が可能です。ピントの微調整後、そのままシャッターボタンを押し込んで撮影してください。
常時	常にフォーカスリングの操作が可能。

ご注意 !!

- マウントコンバーター MC-21 を介したレンズでは**「常時」**に設定しても**「入」**と同じ動作になります。
- AF モード時にフォーカスリングの操作が可能なレンズを装着した場合、**「切」**でもフォーカスリングは機能します。

フォーカスリミッター

フォーカスの作動範囲を制限して AF の速度を速めます。
「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスリミッター」
「📷 / 🎥 SHOOT」→「レンズ機能設定」→「フォーカスリミッター」からも設定できます。

切 OFF （初期設定）	作動範囲を制限しません。
○○ **-** ○○ **m** 🌷	近距離側のみ作動します。
○○ **m - ∞** ⛰	遠距離側のみ作動します。

– 数値は装着するレンズによって異なります。

近距離側に設定すると🌷アイコン、遠距離側に設定すると⛰アイコンが表示されます。



ご注意 !!

– 対応レンズのみ設定可能です。詳しくはレンズの説明書を参照してください。

フォーカス優先 / レリーズ優先

(STILL)

各 AF モードにおける、シャッターボタンを全押ししたときの動作を変更できます。

「📷 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカス優先 / レリーズ優先」→「AF Ⓢ 時の動作」または**「AF Ⓒ / AF C 時の動作」**より設定します。

レリーズ優先	ピントが合っていない状態でも撮影できます。
フォーカス優先（初期設定）	ピントが合うまで撮影できません。

– **AF Ⓢ** 時、ドライブモードが連続撮影の場合は、いずれの設定でも 1 コマ目のピント位置で連続撮影されます。

フォーカスピーキング

被写体のピントが合った部分の輪郭を強調して表示します。ピントを合わせるときの目安としてご使用ください。ピーキングは被写体によって見やすい色を選べます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスピーキング」

OFF（切）（初期設定）	**BK**（黒）	**C**（シアン）
	R（赤）	**B**（青）
WH（白）	**YE**（黄）	**M**（マゼンタ）

◇ ボタンでフォーカスピーキングの感度を設定します。
設定範囲は± 3 段です。標準が± 0、+ 側にすると表示範囲が広くなり、- 側にすると表示範囲が狭くなります。

– **「切」**（OFF）はフォーカスピーキングを表示しない設定です。
– フォーカスピーキングの色と感度の設定は、AF-S アシスト /MF アシストのピーキング（P.107 ）と共通の設定になります。

ご注意 !!

– **「フォーカスピーキング」**と**「露出確認ツール」**（P.86 ）は併用できません。どちらも設定されている場合、**「露出確認ツール」**が優先されます。

フォーカスリング制御

MF 時の、フォーカスリングの回転角度に対するピントの移動量を変更できます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカスリング制御」
「📷 / 🎥 SHOOT」→「レンズ機能設定」→「フォーカスリング制御」からも設定できます。

– 設定画面に、装着レンズ名、設定できる角度範囲が表示されます。

<> ボタンか前後ダイヤルで回転角を選びます。

AUTO（初期設定）	フォーカスリングの回転速度に応じて、ピントの移動量が変化します。
90° ～ 720°	おおよその無限遠から最短撮影距離の角度
MAX	そのレンズで設定できる最大角度

– ⚠ の付いている角度は、対応していません。

ご注意 !!

– 対応レンズのみ設定可能です。

ダイレクトフォーカスエリア移動

 ボタンで直接エリアフレーム（1 点時はフォーカスフレーム）を移動できます。

– **「ダイレクトフォーカスエリア移動」**を有効にするには、**「カスタムボタンの機能」**（P.202）で ボタンに機能を割り当ててください。（**「フォーカス機能割り当て」**からもアクセスできます。）

ご注意 !!

–  ボタンにダイレクトフォーカスエリア移動を割り当てると、 ボタンに個別に割り当てられていた機能は使用できなくなります。

タッチ AF

タップしたポイントで、オートフォーカスが作動します。

「SYSTEM」→「タッチ操作」→「入」→「 」→「タップ」→「タッチ AF」

– タッチ後は、フォーカスフレームの設定が **「1 点」**のときはタップしたポイントにフォーカスフレームが移動します。**「多点オート」**のときはタップしたポイントを中心にエリアフレームが移動します。

– **「被写体検出」**設定時は、フォーカス動作後、検出が再開されます。

フォーカス機能割り当て

フォーカス機能の割り当てに関する項目を**「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「フォーカス機能割り当て」**にまとめています。

AEL **ボタン /** ⦿ **ボタン**（P.202）
∧ / ∨ / 〈 / 〉（P.202）
タッチ操作（P.249）
レンズ AFL ボタン※

※対応レンズ装着時のみ設定できます。

レンズ AFL ボタン

AFL ボタンを搭載したレンズの、AFL ボタンの機能をカスタマイズできます。

AFL（押す間）（初期設定）	AF 作動中に AFL ボタンを押すと、AF がストップします。
AF-ON	AFL ボタンを押すと、AF が作動します。

AF 追従の粘り強さ

(CINE/STILL)

被写体がフォーカスフレームから外れたときや、障害物に遮られたときの追従の感度を設定できます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「AF 追従の粘り強さ」

- STILL / CINE モードのコンティニュアス AF か、CINE モードの常時 AF 動作中に、調整した値が有効になります。
- 弱い〜強いの間で、5 段階で調整できます。初期設定は 3（中央）です。
- テンポよく被写体を乗り換えながら撮影したいときなどは**「弱い」**側に設定します。
- 障害物に影響されず、狙った被写体にピントを合わせ続けたいときなどは**「強い」**側に設定します。

動画 AF 速度

(CINE)
動画撮影時におけるオートフォーカスの駆動速度を調整できます。
「📷 / 🎥 SHOOT」→「フォーカス」→「動画 AF 速度」

– 常時 AF : ON のときに調整が有効になります。
– 遅い〜速いの間で、7 段階で調整できます。初期設定は 5 です。
– 距離の異なる被写体間を ゆっくりピントを移動させたいときは **「遅い」**側に、素早くピントを移動させたいときは **「速い」**側に設定します。

ご注意 !!
– マウントコンバーター MC-21 を介したレンズでは、速度調整は適用されません。

ドライブモード

(STILL)
セルフタイマーや連写など、シャッターボタンを押した時の動作を選択します。



QS メニュー、または**「SHOOT」→「ドライブモード」**より設定します。

1	**1 コマ撮影** （初期設定）	3	**連続撮影** **(3FPS)**
20	**連続撮影** **(20FPS)**	2	**セルフタイマー** **2 秒**
8	**連続撮影** **(8FPS)**	10	**セルフタイマー** **10 秒**
5	**連続撮影** **(5FPS)**	INT	**インターバル** **タイマー**

1 コマ撮影

シャッターボタンを押すと、1枚だけ撮影します。

連続撮影

シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。

ご注意 !!

– 連続して撮影できる枚数が 99 枚を下回るとバッファー残量が赤で表示されます。数字が 0 になると撮影できません。



– 以下の機能、および設定は併用できません。

連続撮影 (20FPS) + 低 ISO 感度拡張で追加された ISO 感度

– マウントコンバーター MC-21 を介したレンズでは、連続撮影 (20FPS) に対応していません。

セルフタイマー撮影

セルフタイマー 2 秒
シャッターボタンを押してから約 2 秒後に撮影されます。

セルフタイマー 10 秒
シャッターボタンを押してから約 10 秒後に撮影されます。

構図を決め、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。さらにシャッターボタンを押し込むとセルフタイマーが作動します。作動中はタリーランプが点滅し、電子音が鳴ります。2秒前になると点滅と電子音が速くなり知らせます。

- セルフタイマーを作動中に解除をしたい場合は、再度シャッターボタンを押してください。
- **「セルフタイマー 2 秒 /10 秒」**でさらに 〉ボタンを押すと、タリーランプの入 / 切が設定できます（P.253）。
- **「🔧 SYSTEM」→「音声設定」→「タイマー音調整」**が**「0%」**に設定されていると、タイマー音が鳴りません。（**「スピーカー音」**が**「0」**に設定されていると、すべての電子音が鳴りません。）

インターバルタイマー撮影

一定の時間間隔で、自動撮影を行うことができます。

1

「インターバルタイマー」を選び、> ボタンを押して設定画面を表示させます。（**「インターバルタイマー」**を選んだ後に、⊙ ボタンを押すと、前回の設定値で撮影されます。）

QS メニューからセットする場合は、**「INT」**を選び、AEL ボタンを押して設定画面を表示させます。（**「INT」**を選んだ後に、⊙ ボタンを押すかシャッターボタンを半押しすると、前回の設定値で撮影されます。）

2

◇ ボタンで、撮影間隔と撮影回数を設定します。

撮影間隔	撮影回数
1 秒～ 60 分	2 ～ 9999 回

– 設定画面に、最後のコマが撮影されるまでの、トータルの時間が表示されます。

3

⊙ ボタンで設定を確定し、MENU ボタンを押して撮影状態に戻ります。

4

シャッターボタンを押して、インターバルタイマー撮影を開始します。

– 撮影が開始されると、次のコマが撮影されるまでの時間と、残り枚数が表示されます。
– インターバルタイマーの作動中は、タリーランプが点滅し、露光の2秒前に速い点滅で知らせます。**「インターバルタイマー」→「タリーランプ点灯」**で通知の入 / 切が設定できます（P.253）。
– 露出モードが **P**、**A** では、露光時間よりも撮影間隔の時間が優先されるため、露出不足になる場合があります。
– 露出モードが **S**、**M** では、シャッタースピードよりも短い撮影間隔には設定できません。またシャッタースピードの変更によって撮影間隔の時間もシフトする場合があります。
– オートフォーカスで撮影の場合、2 枚目以降も最初の撮影で AF ロックされたピント位置で撮影されます。
– 撮影間隔を短めに設定した場合、撮影画面に戻らないうちに次の撮影が始まる場合があります。
– 露出は撮影のたびに再測光されます。2 枚目以降も 1 枚目と同じ露出で撮影したい場合は、**M** モード、または AE ロックボタンにより露出を固定して撮影してください。
– 撮影途中でインターバルタイマーを中止する場合は、シャッターボタンを押します。

ご注意 !!

– バッテリー残量により、途中で撮影が中断することがあります。外部電源のご使用をおすすめします。

動画出力

静止画の撮影と同時に、静止画をつなぎ合わせた動画を生成することができます。

「インターバルタイマー」→**「動画出力」**→**「入」**で、動画の**「解像度」**と**「フレームレート」**を設定します

解像度

4K | 16:9	3,840 × 2,160
2K | 16:9	1,920 × 1,080

フレームレート

24 fps	**29.97 fps**	**50 fps**
25 fps	**48 fps**	**59.94 fps**

– 動画のフォーマットは H.265 固定です。
– 作成される動画の長さ（秒）は、撮影回数÷フレームレートになります。

例：撮影回数 120 回 ÷ 24fps = 5 秒の動画

– 同時記録される動画は、通常の動画ファイルに準じたファイル番号が付き、**「CINEMA」**フォルダに保管されます。
– 音声は記録されません。
– 記録される静止画は、**「画質」**、**「DC クロップモード」**の設定に準じますが、アスペクト比は 16:9 に固定されます。

手ブレ補正

手ブレ補正機能の設定をします。

ご注意 !!

– 電子式手ブレ補正、レンズ内光学式手ブレ補正、ジャイロ情報出力は併用できません。
– 三脚等でカメラを固定して撮影する際は、手ブレ補正機能は OFF にしてください。

レンズ内光学式手ブレ補正

手ブレ補正機能を搭載したレンズの ON/OFF ができます。レンズ側に手ブレ補正のスイッチ（OS スイッチ等）がある場合はレンズ側のスイッチを操作してください。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「手ブレ補正」→「レンズ内光学式手ブレ補正」から、入 / 切 を選びます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「レンズ機能設定」→「光学式手ブレ補正」からも設定できます。

– レンズ内光学式手ブレ補正機能の詳細については、レンズの使用説明書をご覧ください。

電子式手ブレ補正

(CINE)
動画モード専用の機能です。センサーが検知した揺れに合わせて画像の切り出し範囲を瞬時にずらし、映像のブレを相殺して滑らかに記録します。

「 SHOOT」→「手ブレ補正」→「電子式手ブレ補正」から、入 / 切 を選びます。

電子式手ブレ補正の設定中は、電子式手ブレ補正のアイコンが表示されます。



– 電子式手ブレ補正使用時は、X1.25（DC レンズ装着時は X1.96）にクロップされた範囲で記録されます。

ジャイロ情報出力

(CINE)
パソコンの手ブレ補正ソフトなどで使用するジャイロデータを保存できます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「手ブレ補正」→「ジャイロ情報出力」を「入」にすると、動画ファイルが保存されるフォルダに、動画と同一名のふたつのファイルが保存されます。

.CSV モーションデータ
.JSON レンズプロファイル

– 通信情報を持たないレンズ使用時は、手動で焦点距離を入力すると、レンズプロファイルに焦点距離情報が記録されます（P.168）（手動入力をしない場合は、.JSON ファイルは保存されません。）。

ご注意 !!
– ジャイロ情報出力は、HDMI 記録映像出力には対応していません。
– 通信情報を持たないズームレンズでは、使用する焦点距離と入力する焦点距離を一致させてください。撮影中にズーミングすると正しいデータとして使用できません。

画像の設定

(STILL)
静止画像の画質、アスペクト比を設定します。

画質の設定

記録画像の形式や、JPEG 画像の画質を設定します。



QS メニュー、または「📷 SHOOT」→「画質」

DNG+J	**DNG+JPEG**	DNG（RAW 形式）と JPEG 形式の同時記録
DNG	**DNG**	DNG（RAW 形式）
JPEG	**JPEG**（初期設定）	JPEG 形式

メモ

– DNG（RAW 形式）は、素材性を重視した記録方式です。**SIGMA Photo Pro** 等による現像作業が必要です。**SIGMA Photo Pro** は、弊社ウェブサイトより無料ダウンロードいただけます。**SIGMA Photo Pro** は、常に最新のバージョンにすることをお勧めします。
sigma-global.com/jp/software/
– カメラで DNG 画像から JPEG 形式を作成することもできます。**「DNG 現像」**（P.228 ）をご覧ください。
– DNG は、アドビシステムズ株式会社（Adobe Systems Incorporated）が開発した RAW 形式の画像データです。

アスペクト比の設定

画像のアスペクト比（横縦比）を設定します。

3:2

QS メニュー、または「SHOOT」→「アスペクト比」

21:9	映画用ワイドスクリーンとほぼ同等の横縦比です。
16:9	ハイビジョンテレビと同じ横縦比です。
3:2 （初期設定）	35mm フィルムカメラと同じ横縦比です。
A SIZE	一般的な用紙サイズ A 判と同じ横縦比です。
4:3	従来のパソコン画面（VGA）と同等の横縦比です。
6x7	6 × 7 版カメラとほぼ同じ横縦比です。
1:1	6 × 6 版カメラで撮影したような正方形の横縦比です。

– 各横縦比の画像は、本機の基本横縦比 3:2 の画像からカットして作られます。

メモ

– DNG 画像は、**SIGMA Photo Pro** やカメラの DNG 現像で他のアスペクト比に変更できます。

3:2 以外のアスペクト比での撮影では、通常、フレームが黒く表示されますが、半透明表示にすることで、周囲の状況も確認できるスポーツファインダー的な使い方が可能になります。

「SHOOT」→「ライブビュー設定」→「フレームの表示」

黒（初期設定）	**半透明**

画像のファイルサイズ

各画質、アスペクト比の組み合わせによる 1 画像あたりのおおよそのファイルサイズ（MB）は以下のようになります。

– ファイルサイズは被写体によって変化します。

DC クロップモード 切

アスペクト比	記録画素数	DNG	JPEG
21:9	6,016 × 2,540	35	11
16:9	6,016 × 3,384	46	14
3:2	6,016 × 4,012	54	16
ASIZE	5,672 × 4,012	51	16
4:3	5,348 × 4,012	49	15
6x7	4,980 × 4,012	45	14
1:1	4,012 × 4,012	37	11

DC クロップモード 入

アスペクト比	記録画素数	DNG	JPEG
21:9	3,840 × 1,620	15	5
16:9	3,840 × 2,160	19	6
3:2	3,840 × 2,560	22	7
ASIZE	3,616 × 2,560	21	7
4:3	3,408 × 2,560	20	6
6x7	3,184 × 2,560	19	6
1:1	2,560 × 2,560	15	5

映像記録の設定

(CINE)
動画の記録フォーマット、解像度、フレームレートなどを設定します。

フォーマット

動画の記録形式を設定します。



QS メニュー、または「 SHOOT」→「映像記録設定」→「フォーマット」

ProRes RAW HQ	編集用フォーマット 最高品位の映像制作に適した RAW 形式。
ProRes RAW	編集用フォーマット HQ に匹敵する画質を維持しながらデータサイズを抑えた RAW 形式。
L-Log	編集用フォーマット 広いダイナミックレンジをもつログ形式。
H.265 （初期設定）	高圧縮率と高画質を実現したフォーマットです。
H.264	汎用性が高く、様々な環境で見ることができます。

– いずれも MOV 形式です。

ご注意 !!

- ProRes RAW HQ、ProRes RAW、L-Log は、対応したソフトウエアでの編集作業が必要です。
- ProRes RAW HQ と ProRes RAW は、記録ストレージが USB ストレージのときのみ選択できます。
- ProRes RAW HQ、ProRes RAW、L-Log は、設定できる ISO 感度の範囲が 1250 ～ 102400 に制限されます。
- ProRes RAW HQ、ProRes RAW、L-Log は、カラーモードを適用できません。

LOG ガンマアシスト

ProRes RAW HQ、ProRes RAW、L-Log は、撮影後の編集を前提としたフォーマットなため、コントラストが低いライブビュー画面になります。編集後のイメージをつかみやすいように、709 ルックを再現したライブビュー画面で撮影することができます。

「SHOOT」→「Log ガンマアシスト」

LOG	**L-Log ビュー**（初期設定）	L-Log ガンマをそのまま表示するライブビュー画面になります。
709	**709 ルックビュー**	709 ルックを再現したライブビュー画面になります。

- Log ガンマアシスト表示は、記録される画像には影響しません。

解像度

動画の解像度（サイズ）を設定します



QS メニュー、または**「SHOOT」→「映像記録設定」→「解像度」**

6K	6,016 × 3,384 (16:9)
4K（初期設定）	3,840 × 2,160 (16:9)
2K	1,920 × 1,080 (16:9)

– DC クロップ（Super35）モード設定時は、6K を選択できません。

アスペクト比の変更

動画のアスペクト比は、基本的に 16:9 ですが、アスペクト比を変えた動画を撮ることができます。

解像度の設定画面で、◇ボタンを押して選びます。

4:3	**3:2**	**16:9**	**17:9**

– フォーマット、解像度、フレームレートの設定によって、選択できるアスペクト比に制限があります。

– 各解像度、アスペクト比における記録画素数（ピクセル）は以下のようになります。

解像度	アスペクト比	DC クロップモード	
		切	入
6K	4:3	5,348 × 4,012	
	3:2	6,016 × 4,012	
	16:9	6,016 × 3,384	
	17:9	6,016 × 3,172	
4K	4:3	3,408 × 2,560	3,408 × 2,560
	3:2	3,840 × 2,560	3,840 × 2,560
	16:9	3,840 × 2,160	3,840 × 2,160
	17:9	4,096 × 2,160	4,096 × 2,160
2K	16:9	1,920 × 1,080	1,920 × 1,080

フレームレート

フレームレート（1 秒あたりのコマ数）を設定します。

QS メニュー、または**「SHOOT」→「映像記録設定」→「フレームレート」**

23.98 fps	**48 fps**
24 fps	**50 fps**
25 fps	**59.94 fps**（初期設定）
29.97 fps	**100 fps**
47.95 fps	**119.88 fps**

– フォーマット、解像度、アスペクト比の設定によって、選択できるフレームレートに制限があります。

ビットレートと対応ストレージ

各映像記録の設定の組み合わせによる動画のビットレート、および対応ストレージについては以下のようになります。

○ : 対応 × : 非対応

PRORES RAW HQ (16:9)(DC クロップモード 切)

解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応ストレージ		
					
6K	23.98	3905	○	×	×
	24	3908			
	25	4071			
	29.97	4886			
4K	23.98	1591			
	24	1592			
	25	1659			
	29.97	1990			
	47.95	3182			
	48	3185			
	50	3317			
	59.94	3981			
2K	23.98	398			
	24	398			
	25	415			
	29.97	498			
	47.95	796			
	48	796			
	50	830			
	59.94	995			
	100	1659			
	119.88	1991			

PRORES RAW (16:9) (DC クロップモード 切)

解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応ストレージ		
6K	23.98	2603	○	×	×
	24	2605			
	25	2714			
	29.97	3257			
4K	23.98	1061			
	24	1061			
	25	1106			
	29.97	1327			
	47.95	2121			
	48	2123			
	50	2211			
	59.94	2654			
2K	23.98	265			
	24	265			
	25	277			
	29.97	332			
	47.95	531			
	48	531			
	50	553			
	59.94	663			
	100	1106			
	119.88	1327			

L-LOG (16:9) (DC クロップモード 切)

解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応ストレージ		
6K	23.98	200	○	○	○
	24	200			
	25	200			
	29.97	200			
	48	300			
	50	300			
	59.94	300			
4K	23.98	150			
	24	150			
	25	150			
	29.97	150			
	48	200			
	50	200			
	59.94	200			
2K	23.98	100			
	24	100			
	25	100			
	29.97	100			
	48	100			
	50	100			
	59.94	100			
	100	150			
	119.88	150			

H.265 (16:9) (DC クロップモード 切)

解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応ストレージ		
					
6K	23.98	200	○	○	○
	24	200			
	25	200			
	29.97	200			
	48	300			
	50	300			
	59.94	300			
4K	23.98	150			
	24	150			
	25	150			
	29.97	150			
	48	200			
	50	200			
	59.94	200			
2K	23.98	100			
	24	100			
	25	100			
	29.97	100			
	48	100			
	50	100			
	59.94	100			
	100	150			
	119.88	150			

H.264 (16:9) (DC クロップモード 切)

解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	対応ストレージ		
					
4K	23.98	150	○	○	○
	24	150			
	25	150			
	29.97	150			
	50	200			
	59.94	200			
2K	23.98	100			
	24	100			
	25	100			
	29.97	100			
	50	100			
	59.94	100			
	100	150			
	119.88	150			

– SD カードでの動画撮影（L-Log、H.265、H.264）は、SDXC UHS-1 以上を推奨。
– 対応ストレージの最新情報につきましては、弊社 WEB サイトにてご確認ください。

ご注意 !!

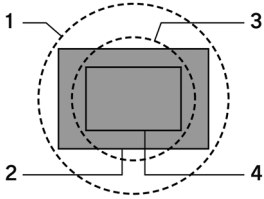
– すべてのストレージについて動作を保証するものではありません。

DC クロップ（SUPER35）モード

APS-C フォーマット用レンズを装着した際、撮像素子の記録範囲を自動的に切り換える DC クロップモードを備えています。また、手動で記録範囲を切り換えることもできます。

ご注意 !!

– レンズによっては、記録範囲を切り換えられないものもあります。



1. フルサイズ用レンズのイメージサークル
2. フルサイズの画像範囲
3. APS-C サイズ用レンズのイメージサークル
4. APS-C サイズの画像範囲

「📷 / 🎥 SHOOT」→「DC クロップモード※」より設定します。
※ CINE モード時は DC クロップ（Super35）モードと表示されます。

切	フルサイズの画像範囲が記録されます。
入	APS-C サイズの画像範囲が記録されます。
オート （初期設定）	装着するレンズにより切り換わります。

DC クロップモード時は、DC クロップモードアイコンが表示されます。



– フルサイズ用レンズ装着時に DC クロップモードを**「入」**にすると、画像の周辺部がカットされ、**「切」**時に対して約 1.57 倍の望遠効果が得られます。
– DC クロップモード時の静止画の画像サイズは、以下のようになります。

3,840 × 2,560　4K　(3:2 設定時)

– CINE モードでは、DC クロップモード時でも解像度（4K / 2K）は変わりません。
– CINE モードでは、解像度 6K は選択できません。

ご注意 !!

– APS-C サイズ用レンズ装着時に DC クロップモードを**「切」**にして撮影すると、画像周辺部が黒くケラレたり、充分に解像しない場合があります。

ディレクターズビューファインダー

(CINE)

登録されているシネマカメラの設定情報と、取り付けたレンズの焦点距離によって、画角がどう見えるかをシミュレートできます。（動画も記録できます。）



– 3 パターンの設定を保存、呼び出しができます。

ご注意 !!

– 以下の機能、および設定は併用できません。

電子式手ブレ補正

– **「DC クロップモード」**の設定を変更できないレンズでは使用できません。
– フォーカスモードはシングル AF、マニュアルフォーカスのみ使用できます。フォーカスフレームは 1 点（小）のみ使用できます。
– タイムコードは表示されません。
– フォーカスアシスト表示はできません。

1
「SHOOT」→「ディレクターズビューファインダー」で、設定したい番号**「#1 ～ #3」**を選びます。

2
シミュレートしたい条件**「ブランド」**、**「モデル」**、**「セッティング」**を設定します。（必要に応じて**「デスクイーズ」**を設定してください。）

3
サラウンドビューを設定します。

切	16:9 よりも横長の映像は横に、縦長の映像は縦にフィットされます。
黒	フィットされず、映像範囲外が黒くマスクされます。
半透明	フィットされず、映像範囲外が半透明でマスクされ、映像範囲外の状況も確認できます。

– 登録されているカメラとセッティングの情報は以下の通りです。

ブランド	モデル	セッティング
ARRI	ALEXA 35 Xtreme	4.6K 3:2 Open Gate 4.6K 16:9 4K 16:9 4K 2:1 3.3K 6:5 3K 1:1 2.7K 8:9 2K 16:9 S16
	ALEXA LF / ALEXA Mini LF	Open Gate LF 2.39:1 LF 16:9

ブランド	モデル	セッティング
ARRI	ALEXA Mini	ARRIRAW Open Gate 3.4K ARRIRAW 2.8K ARRIRAW 2.39:1 2K ARRIRAW 16:9 HD ProRes 4K UHD ProRes 3.2K ProRes 4:3 2.8K ProRes HD ProRes 2K ProRes S16 HD
	AMIRA	ARRIRAW 2.8K ProRes 4K UHD ProRes 3.2K ProRes HD ProRes 2K ProRes S16 HD MPEG-2 HD
	ARRICAM / ARRIFLEX	ANSI S35 4-Perf. ANSI S35 3-Perf.
SONY	VENICE 2 8K	8.6K 3:2 8.6K 17:9 8.2K 17:9 8.2K 2.39:1 8.1K 16:9 7.6K 16:9 5.8K 6:5 5.8K 4:3 5.8K 17:9 5.5K 2.39:1 5.4K 16:9
	VENICE / VENICE 2 6K	6K 3:2 6K 1.85:1 6K 17:9 6K 2.39:1 5.7K 16:9 4K 6:5 4K 4:3 4K 17:9 4K 2.39:1 3.8K 16:9

ブランド	モデル	セッティング
SONY	BURANO	FF 8.6K 16:9 FF 8.6K 17:9 FFc 6K 16:9 FFc 6K 17:9 FFc 3.8K 16:9 S35 5.8K 16:9 S35 5.8K 17:9 S35 1.9K 16:9 S35 4.3K 4:3 S35c 4K 17:9
RED	V-RAPTOR XL [X]	8K 16:9 8K 3:2 8K 4:3 8K 6:5 8K 1:1 7K 3:2 7K 4:3 7K 6:5 7K 1:1 6K 17:9 6K 2:1 6K 2.4:1 6K 16:9 6K 1:1 5K 17:9 5K 2:1 5K 2.4:1 5K 16:9 5K 1:1 4K 17:9 4K 2:1 4K 2.4:1 4K 16:9 4K 1:1
	MONSTRO 8K	7K FF 6K FF 4K FF
	HELIUM 8K	8K FF 8K 6:5

ブランド	モデル	セッティング
RED	DRAGON 6K	6K FF
	EPIC MX 5K	5K FF
	GEMINI 5K	5K Full Height 1.7:1 5K FF 5K Full Height 6:5
	KOMODO X	6K 17:9 6K 2:1 6K 2.4:1 6K 16:9 6K 3:2 6K 4:3 6K 6:5 6K 1:1 5K 17:9 5K 16:9 4K 17:9 4K 16:9

– 動画のフォーマットは、L-Log、H265 のみ設定できます。解像度 4K に固定されます。
– 使用後は**「ディレクターズビューファインダー」**→**「切」**にしてください。

ご注意 !!

– 本機で再生する場合のみ、撮影時に設定されたシミュレートの条件、サラウンドビューの情報が反映され、効果が確認できます。
– DC クロップモードが解除されるため、画面周辺が暗くなったり、解像しない場合があります。

再生する

再生方法は、通常の動画、静止画と同じです。動画の再生方法は、**「動画を再生する」**（P.216 ）を参照してください。

ディレクターズビューファインダーモードで記録された画像は、設定アイコンが表示されます。



– 動画からの写真の切り出しも可能です（P.218 ）。
– 記録時のシミュレートの条件やサラウンドビューの設定は、変更できません。

オーディオ記録の設定

(CINE)
動画に同時記録される音声の設定をします。

オーディオ記録設定
「SHOOT」→「オーディオ記録」

切	動画に音声を記録しません。
入（初期設定）	動画に音声を記録します。

– 初期設定では、内蔵マイクにより、Ch.1/Ch.2 にステレオ音声が記録されます。
– オーディオ記録設定は、QS メニュー（P.57）に割り当てできます。

ゲイン調整
入力中の音声をオーディオメーターで確認しながらレベル調整ができます。
「SHOOT」→「オーディオ記録」→「入」→「Ch.1/2」→「内蔵マイク」→「ゲイン調整」

オート（初期設定）	カメラが最適なレベルを調整します。
マニュアル	Ch.1 と / Ch.2 を独立して調整します。
マニュアル（Ch.1 / 2 連動）	Ch.1 の設定が Ch.2 にも反映されます。

Ch.1 : マイク（L）Ch.2 : マイク（R）

◇ ボタンでレベルを調整し、● ボタンで確定します。

– オートは、+2 ～ -12 の範囲で基準レベルを調整できます。
– マニュアルは 3dB ピッチ、+6dB ～ -36dB の範囲でレベル調整できます。
– ゲイン調整は、QS メニュー（P.57）、カスタムボタン（P.202）に割り当てることができます。
– ゲイン調整は、内蔵マイクと 3.5mm 端子に接続したマイクでのみ設定可能です。

風音キャンセラー

風によるノイズを減らすことができます。

「SHOOT」→「オーディオ記録」→「入」→「Ch.1/2」→「内蔵マイク」→「風音キャンセラー」

切（初期設定）	**入**

– 風音キャンセラーは、内蔵マイクと 3.5mm 端子に接続したマイクでのみ設定可能です。

記録品質

記録品質を設定できます。

「SHOOT」→「オーディオ記録」→「入」→「記録品質」

– 記録品質は、設定されるデバイスや、デバイスの組合せによって選択肢が変わります。グレーで表示されている記録品質は選択できません。
– このカメラは、32bit フロート録音に対応しています。対応デバイス接続時に**「32bit Float」**と表記のある記録品質を選択してください。

外部マイクによる録音

外部マイクによる録音、または外部マイクを追加し、4ch 録音することができます。**「Ch.1/Ch.2」**と**「Ch.3/Ch.4」**に、デバイスの割り当てをします。

「 SHOOT」→「オーディオ記録」→「入」→「Ch.1/2」と「Ch.3/4」

切（無効にする）	
内蔵マイク	**USB**
3.5mm 端子	**HU-21**

USB マイク

USB マイクのレベル調整は**「調整量」**で行います。0 ～ 15 の範囲で調整できます（初期設定 : 8）。

USB 接続のオーディオ機器について

USB マイクなど、USB 接続のオーディオ機器は、上下どちらの USB ポートにも接続できますが、同時に使用することはできません。

（例）

– USB マイク 2 本の同時使用。

– USB マイクと USB ヘッドホンの同時使用。

DMW-XLR2 / DMW-DMS1 について

このカメラは、以下のパナソニック社製品に対応しています。

- XLR マイクロホンアダプター DMW-XLR2
- デジタルガンマイクロホン DMW-DMS1

- カメラへの取り付けには、別売りのホットシューユニット HU-21 が必要です。
- ホットシューユニットの取り付けは、HU-21 の使用説明書をご覧ください。
- DMW-XLR2 / DMW-DMS1 の使用説明書に従い、HU-21 のホットシューに取り付けてください。

DMW-XLR2 の設定

– DMW-XLR2 の使用説明書も併せてお読みください。
– カメラ側のゲイン調整、風音キャンセラーは設定できません。XLR2 側で設定してください。

XLR2 に接続したマイクで 2CH 録音、もしくは他のデバイス併用で 4CH 録音したい場合

2ch 録音したい場合は**「Ch.1/2」**か**「Ch.3/4」**の割り当てを**「HU-21」**に設定し、もう一方チャンネルを**「切」**にしてください。

– マイクの接続状態により、XLR2 の使用説明書に従って、XLR2 の SELECT スイッチを設定してください。(**「Ch.3/ Ch.4」**に割り当てしている場合は Ch.1 → Ch.3、Ch.2 → Ch.4 に置き換えてください。)

他のデバイス併用で 4ch 録音したい場合は、**「HU-21」**に設定したもう一方のチャンネルに他のデバイスを割り当ててください。

XLR2 に接続したマイクで 4CH 録音したい場合

「Ch.1/2」と**「Ch.3/4」**の両方の割り当てを**「HU-21」**に設定してください。

– XLR2 のマイク端子と、カメラのチャンネル No. の関係は、XLR2 の使用説明書をご参照ください。
– **「🔧 SYSTEM」→「タイムコード」→「外部入力」**で、**「3.5mm 端子」**を選択しているときは、4ch 録音できません。

DMW-DMS1 の設定

– DMW-DMS1 の使用説明書も併せてお読みください。
– カメラ側のゲイン調整、風音キャンセラーは設定できません。DMS1 側で設定してください。
– DMW-DMS1 が装着されると、DMW-DMS1 設定メニューが追加されます。

「 SHOOT」→「オーディオ記録」→「入」→「Ch.1/2」/「Ch.3/4」→「HU-21」→「DMW-DMS1 設定」

– 追加される項目は、**「Ch.1/2」**/**「Ch.3/4」**のどちらから設定しても構いません。

DMS1 で 2CH 録音、もしくは他のデバイス併用で 4CH 録音したい場合

2ch 録音したい場合は**「Ch.1/2」**か**「Ch.3/4」**の割り当てを**「HU-21」**に設定し、もう一方チャンネルを**「切」**にしてください。
他のデバイス併用で 4ch 録音したい場合は、**「HU-21」**に設定したもう一方のチャンネルに他のデバイスを割り当ててください。

DMS1 のバックアップ機能を使用したい場合

「Ch.3/4」に**「Ch.1/2」**のバックアップ音声を記録できます。

「Ch.1/2」と**「Ch.3/4」**の両方の割り当てを**「HU-21」**に設定し、**「HU-21」**→**「DMW-DMS1 設定」**画面の**「バックアップモード (Ch.3/4)」**で希望のモードを選択します。

モード 1	Ch.3 は全範囲の指向性で、バックアップ音声として記録します。 Ch.4 は全範囲の指向性で、Ch.3 より 20dB 小さい音でバックアップ音声として記録します。
モード 2	Ch.3 は Ch.1 と同じ指向性で、Ch.1 より 20dB 小さい音でバックアップ音声として記録します。 Ch.4 は Ch.2 と同じ指向性で、Ch.2 より 20dB 小さい音でバックアップ音声として記録します。

ボタン輝度

DMS1 の指向性ボタンが点灯するときの明るさを設定できます。

H	明るめ
M（初期設定）	標準
L	暗め

ホワイトバランスの設定（WB）

通常、ホワイトバランスは自動調整されますが、思い通りの色にならない場合は、プリセットされたホワイトバランスから設定できます。



QS メニュー、または「 / SHOOT」→「ホワイトバランス」より設定します。

	モード	色温度	内　容
AWB	**オート**（初期設定）	—	自動で調整されます。通常はこのモードにセットしてください。
AWB	**オート（色残し）**	—	光源の色味を残し、その場の雰囲気を残した調整がされます。
	白熱電球	約 2870K	白熱電球の照明下
	蛍光灯	約 4170K	白色蛍光灯下
K	**マニュアル**	—	色温度を数値で設定します。
	晴れ	約 5620K	晴天の屋外
	曇り	約 6730K	曇天の屋外
WB	**フラッシュ**	約 6930K	対応フラッシュ使用時
	日陰	約 7500K	晴天の屋外の日陰
	カスタム	—	実際に取り込んだ画像を基準とし、ホワイトバランスが設定されます。

ホワイトバランスの微調整

各プリセットされたホワイトバランスに対し、微調整することができます。

1

「ホワイトバランス」画面で任意のホワイトバランスを選び、AELボタンで**「ホワイトバランス微調整」**画面を表示させます。
QS メニューからセットする場合は、ホワイトバランスを選び、AELボタンで**「ホワイトバランス微調整」**画面を表示させます。

2

<> ボタンか前後ダイヤルで色温度、◇ ボタンで色合い（M- マゼンタ、G- グリーン）を調整します。

3

⦿ ボタンか、シャッターボタンを半押しして確定します。

– 微調整されたホワイトバランスは、K （マニュアル）となり、ライブビュー画面には調整値で表示されます。



ご注意 !!

– K （マニュアル）は、複数個保存できません。常に最後に調整を行ったホワイトバランスで上書きされます。

メモ

–**「ホワイトバランス」**画面のプリセットホワイトバランスは、色温度順に並んでいます。K （マニュアル）は、調整値によって位置が変わります。

オートホワイトバランスの微調整

オート、オート（色残し）に対して微調整を行うと、カメラが適正と判断した値に、調整量を加味したホワイトバランスが設定されます。

1
「ホワイトバランス」画面で AWB か AWB を選び、AEL ボタンで**「ホワイトバランス微調整」**画面を表示させます。

2
◁▷ ボタンか前後ダイヤルで色温度（B- ブルー、A- アンバー）、△▽ ボタンで色合い（M- マゼンタ、G- グリーン）を調整します。
– ホワイトバランスアイコンの横に調整値が表示されます。



カスタムホワイトバランスの設定

取り込んだ画像を基準として、ホワイトバランスを設定できます。

1
「ホワイトバランス」画面で + を選びます。
QS メニューからは、 + を選び、AEL ボタンを押します。

2
実際に撮影を行いたい照明下で、基準にしたい白い被写体（白い紙や、白い壁など）を画面中央のフレームに入れ、⦿ ボタンを押します。

取得に成功すると、フレームが黄色に変わります。取得が失敗すると、フレームが赤で点滅します。再度 ⦿ ボタンを押してください。

3
AEL ボタンを押して登録を完了させ、撮影します。

- 取得したカスタムホワイトバランスは色温度・色合いの数値で表示され、ホワイトバランスの列に並びます。
- カスタムホワイトバランスは、10 個まで保存できます。制限を超えるとメッセージが表示されますので、不要なカスタムホワイトバランスを消去してから取得してください。
- カスタムホワイトバランスも微調整することができます。

カスタムホワイトバランスの消去

1
「ホワイトバランス」 画面で消去したいカスタムホワイトバランスを選び、MODE モードボタンを押します。

2
<> ボタンで **「消去」** を選び、⦿ ボタンを押して確定します。

ホワイトバランスロック

オート、オート（色残し）設定時、一時的にホワイトバランスを固定し、一定のホワイトバランスで撮影したいときに便利な機能です。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「カスタムボタンの機能」で AEL ボタン、もしくは ⦿ ボタンに**「WB ロック」**を割り当ててください。

ボタンを押すと、そのときのホワイトバランスが固定されます。

ホワイトバランスロック中は、ロック中のアイコンが表示されます。



– 再度ボタンを押すまで、ホワイトバランスロックは解除されません。

カラーモード

各撮影シーンに最適な色調、コントラストなどを調整したカラーモードを選択できます。また、モノクローム調の写真や動画を撮ることができます。



COLOR ボタンを押し、左端のカラーモードアイコンから ◇ ボタンで好みのカラーモードを選びます。
または「📷 / 🎥 SHOOT」→「カラーモード」より設定します。

STD. **スタンダード** （初期設定）	さまざまなシーンに対応する基本的なカラーモードです。
RICH **リッチ**	高い彩度と明るいブルーが特徴で、色彩豊かな仕上がりになります。
CALM **カーム**	コントラストが低く設定され、淡く落ち着いた雰囲気を演出します。
Pow B. **パウダーブルー**	爽やかなブルーが特徴的で、明るく透明感のある印象に表現します。
W.GLD **ウォームゴールド**	落ち着いたトーンと暖色系の色調で、深みのある雰囲気を表現します。
T&O **ティールアンドオレンジ**	肌色などのオレンジ系と、補色の青緑を強調し、印象的に表現します。
FOV B. **FOV クラシックブルー**	深みのある青色を表現し、印象的な青空を再現します。
FOV Y. **FOV クラシックイエロー**	黄色方向の色味が強調され、深みのある印象的な色調を再現します。
FOR G. **フォレストグリーン**	緑の色再現を強調し、草木などの緑をより印象的に表現します。
SUN R. **サンセットレッド**	赤の色再現を強調し、夕焼けなどのシーンをより印象的に表現します。
CINE. **シネマ**	彩度を抑え、シャドウを強調し、映画のようなイメージを再現します。

709 **709 ルック**	L-Log 撮影時の 709 ルックビューをカラーモードにしました。人間の視覚に近い色味を再現しています。
MONO. **モノクローム**	モノトーンの写真を撮ることができます。

メモ

– MONO.(モノクローム) で撮影された DNG データは、**SIGMA Photo Pro** ではモノクロームモードで開かれます。**SIGMA Photo Pro** でカラー画像に戻すこともできます。(JPEG データはカラー画像には戻せません。)

ご注意 !!

– DNG データをアドビシステムズ社製ソフトウエアで現像する際、ソフトウエアのバージョンによってはカラーモードの設定が反映されない場合があります。最新の情報をご確認ください。
– MONO.(モノクローム) は、ホワイトバランスの設定ができません。

カラーモード詳細設定

各カラーモードに対し、好みの画像に仕上がるように画像のパラメーター (効果量、ハイライト、シャドウ、フェード、ビネット) を調整することができます。

調整したいカラーモードで、◁▷ ボタンでパラメーターを選び、△▽ ボタンで調整量をセットします。

効果量（モノクローム除く）
それぞれのカラーモードの特徴をより強調したり、控えめにすることができます。プラスにすると効果が強く、マイナスにすると効果が弱まります。

ハイライト
画像の明るい部分（ハイライト）の調整ができます。プラスにすると明るく、マイナスにすると暗くなります。

シャドウ
画像の暗い部分（シャドー）の調整ができます。プラスにすると明るく、マイナスにすると暗くなります。

フェード
黒を持ち上げて、ソフトな印象の画像にします。プラスにするほど、よりソフトな印象になります。

ビネット
レンズの周辺減光を再現し、中央の被写体を際立たせます。プラスにするほど、周辺減光効果が強くなります。

調色（モノクロームのみ）
カラーモードをモノクロームにすると、**「効果量」**が**「調色」**に変わります。色味のついたモノクロ画像に仕上げることができます。

BW **白黒** （初期設定）	**R** **赤**	**WT** **温黒調**	**SEP** **セピア**	**G** **緑**
BG **青緑**	**B** **青**	**CT** **冷黒調**	**BP** **青紫**	**P** **紫**

– 効果量、調整量を調整すると、調整値が表示されます。



ご注意 !!
デスクイーズ設定時、電子式手ブレ補正設定時は、ビネットの調整は使用できません。

メモ
– DNG データは、**SIGMA Photo Pro** でもカラーモードの変更やパラメーターの調整ができます。

フィルター効果（モノクロームのみ）
モノクロ画像にコントラストの変化を与えることができます。フィルターの色に対して、同色系の色が明るく、補色系の色が暗く表現されます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「フィルター効果」

OFF 切（初期設定）	**R** 赤フィルター	**OR** オレンジフィルター
YE 黄色フィルター	**G** 緑フィルター	**B** 青フィルター

– 通常は OFF に設定してください。

レンズ光学補正

以下のレンズ収差の補正の有無を設定できます。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「レンズ光学補正」より設定します。

回折	ブリージング
周辺光量	カラーシェーディング※

※マニュアルレンズ装着時に有効になります（P168 ）。

– レンズによっては、補正を**「切」**に設定できません。

回折

絞りによって生じる画質低下を緩和します。

切（初期設定）	オート

– ProRes RAW / ProRes RAW HQ 設定時は補正が効きません

周辺光量

画面周辺が暗くなる現象を緩和します。

切	オート（初期設定）

– ProRes RAW / ProRes RAW HQ 設定時は補正が効きません

ブリージング

(CINE)

ピント位置を移動させた際の画角変化を抑えます。

切（初期設定）	オート

– 対応レンズ装着時のみ設定できます。

マニュアルレンズ設定

マウントアダプターを介したレンズや、補正情報を持たないレンズに、カラーシェーディング補正を効かせたり、レンズの焦点距離情報などを画像情報に記録することができます。

レンズ情報を入力する

1

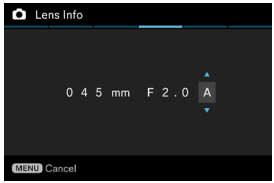
カメラとの通信情報を持たないレンズを装着すると、画面右上に**「No Lens」**と表示されます。

2

「📷 / 🎥 SHOOT」→「マニュアルレンズ設定」で設定画面を呼び出し、▶ ボタンで**「Lens+」**を選びます。

3

✣ ボタンや後ダイヤルで、レンズ情報を入力し（最後のケタに A ～ Z の記号が付けられます）、⦿ ボタンで確定します。



– この状態で撮影すると、入力した情報が画像情報に記録されます。カラーシェーディング補正をかけたい場合は、手順 4 に進みます。

– 登録済みレンズにカラーシェーディング補正をかけたい場合は、**「📷 / 🎥 SHOOT」→「マニュアルレンズ設定」**で該当レンズを選び、AEL ボタンを押して、手順 4 に進みます。

補正画面を取り込む

4

「カラーシェーディング補正」→「補正データ取得」で、白かグレーなどの色味の無い均一な面を画面いっぱいに収め、⦿ ボタンを押します。

– 補正が成功すると、レンズ名の横に ⛶ アイコンが表示されます。



– 次に L マウントレンズに交換するまで、同一データにて撮影・記録が継続されます。
– カメラは、通信情報を持たないレンズを識別できません。登録済のレンズで撮影したい場合は、**「マニュアルレンズ設定」**の設定画面で該当するレンズを選んでください。
– レンズ情報の修正、補正データの消去、補正データの再取得が行えます。該当するレンズを選び、AEL ボタンを押して、各操作を行ってください。
– 登録済みのレンズ情報を消去したい場合、該当するレンズを選び、MODE ボタンを押し、**「消去」**を選び、⦿ ボタンで確定します。

ご注意 !!

- **「補正データ取得」**時と違う光源下で撮影すると、カラーシェーディングがうまく補正されない場合があります。その場合は、再度**「補正データ取得」**を行ってください。
- 入力したレンズの焦点距離の情報は、電子式手ブレ補正の補正データに使用されます。電子式手振れ補正を使用する場合は、焦点距離情報を正しく入力してください。
- 入力したレンズ情報は、ジャイロ情報出力のレンズプロファイル（.JSON）に記録されます。レンズプロファイルを使用する場合は、レンズ情報を正しく入力してください。

ブラケット撮影

(STILL)
下記 3 項目で、自動で設定値をずらした撮影ができます。

露出 BKT
フォーカス BKT
ホワイトバランス BKT

ご注意 !!

- 露出 BKT とフォーカス BKT は、指定された枚数が連続撮影されます。セルフタイマー使用時は、タイマー作動後に指定枚数が連続撮影されます。
- ホワイトバランス BKT は 1 回の撮影データをもとに、設定枚数分の画像処理が行われるため、通常の撮影よりも書き込み時間が長くなります。
- ブラケット撮影は自動的に解除されません。撮影が終わったら各ブラケット撮影の項目から **「切」** を選択してください。

1

「 SHOOT」→「ブラケット撮影」 よりブラケット撮影したい項目を選択します。

2

〉ボタンを押して **「入」** を選び、さらに〉ボタンを押して詳細設定画面を開きます。（**「入」** で ⦿ ボタンを押すと、前回の設定値で撮影されます）

3

詳細設定画面で変更したいオプションを選び、⦿ ボタンまたは〉ボタンを押してサブメニューを開きます。

露出 BKT

カメラが判断した適正露出を基準として、露出をずらした写真を連続で撮ることができます。

枚数	撮影する枚数（3 枚か 5 枚）
ずらし量	1／3 段ステップで± 3 段まで
順序	**0 → - → +**　適正 → アンダー → オーバー **- → 0 → +**　アンダー → 適正 → オーバー **+ → 0 → -**　オーバー → 適正 → アンダー

– 以下の機能、および設定は併用できません。

インターバルタイマー撮影、フラッシュ撮影、フォーカス BKT

4

◇ ボタンで希望の値を選び、⊛ ボタンまたは › ボタンで確定します。

設定すると、設定アイコンと補正値が表示されます。



– 露出モードが M の場合、設定したシャッタースピードを中心としてシャッタースピードが変化します。（ISO オートのときは ISO が変化します。）

– 露出 BKT は露出補正と併用できます。露出補正で設定された補正値を基準としてブラケット撮影されます。

フォーカス BKT

（AF レンズ使用時のみ）
合焦位置を基準に、ピント位置をずらした写真を連続で撮ることができます。

枚数	撮影する枚数（3, 5, 7, 9, 11, 13, 15 枚）
ずらし量	1 ステップで± 10 まで
順序	**0 → - → +**　合焦位置 → 前ピン → 後ピン **0 → +**　合焦位置 → 後ピン **0 → -**　合焦位置 → 前ピン

– レンズの違いや撮影時の絞り値によって、1 ステップあたりのずれる距離が変わります。
– 以下の機能、および設定は併用できません。

インターバルタイマー撮影、フラッシュ撮影、 露出 BKT、ホワイトバランス BKT

4

◇ ボタンで希望の値を選び、⊛ ボタンまたは › ボタンで確定します。
設定すると、設定アイコンと補正値が表示されます。



– マニュアルフォーカス時もブラケット撮影が可能です。
– マウントコンバーター MC-21 を介したレンズでは、レンズのフォーカスモードスイッチを AF にセットしてください。
– 指定のずらし量がレンズの作動範囲を超える場合は、その位置の撮影は省略されます。

ホワイトバランス BKT

1 回の撮影で、ホワイトバランスを変更した画像を複数枚記録することができます。

ずらし方向	**B-A** / 色温度（ブルー ↔ アンバー） **G-M**（グリーン ↔ マゼンタ）
枚数	記録する枚数（3 枚か 5 枚）
ずらし量	2 ステップで ± 16 まで

現在設定中のホワイトバランスで撮影され、指定のずらし方向、ずらし量に従い、指定枚数の画像が記録されます。

– ホワイトバランス BKT 画面で AEL ボタンを押すと、ホワイトバランスの微調整に移り、基準のホワイトバランスを微調整することができます。
– 以下の機能、および設定は併用できません。

フォーカス BKT

4

△▽ ボタンで希望の値を選び、⊙ ボタンまたは ▷ ボタンで確定します。

設定すると、設定アイコンと補正値が表示されます。



メモ

– 露出 BKT とホワイトバランス BKT は併用できます。露出 BKT で撮影された画像それぞれに、ホワイトバランス BKT の設定が反映された画像が記録されます。

カスタムモード

好みの設定を登録し、モードボタンで簡単に呼び出すことができます。
（6 つのパターン登録することができます。）

「 / SHOOT」（青タブ）の項目すべてを登録できます。

カスタムモードの登録

1
「 / SHOOT」（青タブ）の項目を一通り好みの状態に設定します。

2
「 SYSTEM」→「カスタムモードの登録」より、◁▷ ボタンで **C1 ~ C6** のいずれかを選び、⦿ ボタンを押します。（確認メッセージが表示されます。）

3
◁▷ ボタンで**「実行」**を選び、⦿ ボタンで確定します。
中止したい場合は**「キャンセル」**を選び ⦿ ボタンで確定します。

ご注意 !!

– 保存を確定すると、以前に保存されていた設定は、新しい設定に上書きされます。

カスタムモードの呼出し

モードボタンを押して、**C1 ~ C6** のいずれかにセットします。

– **「📷 / 🎥 SHOOT」→「撮影モード」**からも設定できます。
– 撮影モード変更画面で AEL ボタンを押すと、カスタムモードの詳細設定に入り、カスタムモードのアイコン、名称、露出モードを変更することができます。

カスタムモード時に設定を変更すると、● マークが点灯します。



以下の操作により、変更した設定内容はクリアされます。

– 電源を OFF にする（オートパワーオフ機能で OFF になった場合も含む）
– モードボタンで他のモードに変更する

カスタムモードのアイコンや名称の変更

カスタムモード登録直後にAEL ボタンを押す、もしくは撮影モード変更画面で AEL ボタンを押します。

アイコンの変更

「アイコン」入力画面で、2 文字を指定します。

例えば、アイコンを**「S2」**としたい場合は、**S 2** と入力し、⦿ ボタンで確定します。

- 入力できる文字は、アルファベット（大文字のみ）、数字、記号（#-± +）です。
- アイコンを初期化したい場合は、MODE ボタンを押し、⦿ ボタンで確定します。

名称の変更

「名称」入力画面で、文字を入力します。文字の入力方法は、**「著作権情報」**の**「文字の入力方法」**（P.240 ）をご参照ください。

- 半角英数字・記号で 16 文字まで入力できます。
- 名称を初期化したい場合は、入力画面で全ての文字を消去してください。

設定の保存 / 読込

カメラの設定を QR コード画像として保存したり、QR コードから設定を読み込むことができます。QR コードを介して、カメラのおすすめの設定を他のユーザーと簡単に共有することができます。

「 / SHOOT」（青タブ）のすべての項目と、**「SYSTEM」**の一部の項目の、保存 / 読込ができます。

設定の保存

現在のカメラの設定を QR コードとして記録ストレージに保存します。

「SYSTEM」→「設定の管理」→「設定の保存」

アイコン入力する

「アイコン」入力画面で、2 文字を指定します。

名称を入力する

「名称」入力画面で、文字を入力します。文字の入力方法は、**「著作権情報」**の**「文字の入力方法」**（P.240）をご参照ください。

– 16 文字まで入力できます。

– 設定したアイコンと名称は、QR コードから設定を読み込むときにカスタムモードに反映されます。

– 現在の撮影モードがカスタムモードの場合、初期状態でカスタムモードのアイコンが入力されます。それ以外の場合は”#”に続けて現在の撮影モードが入力されます。

– 現在の撮影モードがカスタムモードの場合、初期状態でカスタムモードの名称が入力されます。名称の設定がない場合や現在の撮影モードが PASM の場合、”My Settings”と入力されます。

保存する設定項目を選択する

「保存する設定」入力画面で、保存したい設定項目を指定します。各設定にカーソルを合わせ、◀▶ ボタンで ✓（チェック）/ ✕（チェック解除）を切り替えます。

選択が完了したら ⦿ ボタンで確定します。

– ✓ の項目が保存され、✕ の項目は保存されません。
– 初期状態では青タブすべてに ✓ が入っています。
– MODE ボタンを押すたびに、表示中のタブの項目全チェック / 全チェック解除が切替わります。
– 現在のスイッチの位置によらず、STILL モードと CINE モードの両方の設定が保存されます。

QR コードの作成と保存

「設定の保存 品」画面の一番上にカーソルを合わせ、▶ ボタンか ⦿ ボタンを押すと、**「QR コードの保存」**画面が表示されます。⦿ ボタンを押すと QR コード画像が記録ストレージに保存されます。



– QR コード画像には、記録された設定のアイコン、名称、保存された設定のタブ、カメラモデル名、カメラ FW バージョン、設定の保存日時の情報が記載されます。記録された内容を区別するのにご活用ください。
– QR コード画像は、ファイル名や再生時の扱いが、スクリーンショット機能のキャプチャ画像と同じとなります。**「スクリーンショット機能」**（P.275 ）をご参照ください。

設定の読込

パソコンのディスプレイなどに表示された QR コードから、設定をカメラに読み込むことができます。

1

「🔧 SYSTEM」→「設定の読込 ▦」

カメラが QR コード読込モードで起動します。画面に表示された枠いっぱいに QR コードを映します。対応する QR コードをカメラが検出すると、自動的に**「登録先選択」**画面に移ります。

– ピントはマニュアルフォーカスで合わせてください。
– 前後ダイヤルでカメラの表示倍率を 1.0x / 2.0x / 4.0x / 8.0x に切り替えることができます。

記録ストレージの画像から読込む場合

QR コード読込モード中に ∨ ボタンを押すと、記録ストレージに保存された画像が表示されるので、設定を読込みたい QR コード画像を選びます。QR コードの読込が成功すると設定の名称が表示されます。⦿ ボタンで確定すると**「登録先選択」**画面に移ります。

– 画像から QR コードがうまく読み込めない場合は前ダイヤルと上下左右ボタンで、画面に表示される QR コードの大きさや位置を調整します。

2

「登録先選択」画面で登録先を選択し、⊛ ボタンを押します。確認メッセージが表示されますので、確定する場合は**「実行」**を選び、⊛ ボタンを押します。中止したい場合は**「キャンセル」**を選び ⊛ ボタンを押します。

– **「🔧 SYSTEM」**の項目が含まれる場合は、システム設定を上書きするか、確認メッセージが表示されます。**「キャンセル」**を選ぶとシステム設定を除いた設定が読み込まれます。

ご注意 !!

– 保存を確定すると、以前に保存されていた設定は、新しい設定に上書きされます。

ボタンロック機能

ボタン操作などをロックすることにより、誤操作を気にせず撮影に集中できる LOCK 機能を設けています。

– QS メニューにロックの ON/OFF 機能を割り当てる必要があります。QS カスタムより**「ボタンロック」**を割り当ててください（P.57 ）。

ロックする

QS メニューで**「**LOCK**」**を選び、AEL ボタンを押すとロックが実行されます。

ロック中は画面下側に LOCK アイコンが表示されます。

ロックを解除する

タッチパネルで左から右にスライドします。
または、QS ボタンを押し、AEL ボタンを押します。

LOCK 中でも操作を有効にするボタン等を指定できます。**「SYSTEM」→「ボタンロック中の動作」**より選択します。

+REC ボタン	シャッターボタン、**REC** ボタンが有効です。
+REC ボタン	シャッターボタン、**REC** ボタン、前後ダイヤルが有効です。

フラッシュ撮影について

(STILL)

別売のホットシューユニット HU-21 とフラッシュを装着すると、フラッシュ撮影が可能になります。カメラとフラッシュの通信に OM SYSTEM / LUMIX と共通の規格を採用しており、その規格に対応したフラッシュの使用で、TTL 自動調光撮影やワイヤレスフラッシュ撮影などが可能になります。

– フラッシュに関する各項目の説明は OM SYSTEM / LUMIX 用フラッシュの装着を前提にしています。
– フラッシュの使用説明書も併せてお読みください。

ご注意 !!

– 以下の機能、および設定は併用できません。

連続撮影 (20FPS)、低 ISO 感度拡張で追加された ISO 感度、インターバルタイマー撮影（ワイヤレスフラッシュ時）、露出 BKT、フォーカス BKT、高分解シャッター、フリッカー検出

– フラッシュ側の機能に対応していない場合があります。
– フラッシュの同調速度は 1/50 秒以下（DC クロップモード時は 1/60 秒以下）です。OM SYSTEM / LUMIX 用以外のフラッシュをご使用の場合、同調速度よりも速いシャッタースピードに設定しないでください。
– ケラレを防止するため、レンズフードは外してご使用ください。

– セットアップメニューのフラッシュに関する項目は、カメラにフラッシュを装着し、フラッシュの電源が ON のときに設定できます。

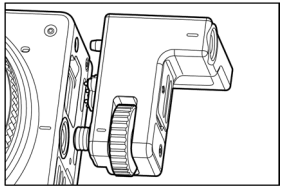
フラッシュ撮影時のご注意

ご注意 !!

– フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。視力障害の原因となります。特に乳幼児を撮影する場合は、1m 以上離れてください。
– フラッシュの発光部を手で覆ったまま発光しないでください。ヤケドの原因となります。
– 詳しくは、ご使用の外部フラッシュの使用説明書をお読みください。
– 以下のようなフラッシュを装着した場合、正常に動作しない、またはカメラが故障する恐れがあります。
  – OM SYSTEM / LUMIX 用以外の通信接点をもつもの。
  – シンクロ接点の極性が逆のもの。
  – シンクロ接点の電圧が高圧なもの。

フラッシュを取り付ける

1
ホットシューユニット HU-21（別売）の使用説明書に従い、カメラにホットシューユニットを取り付けます。



2
ご使用のフラッシュの使用説明書に従い、HU-21 のホットシューにフラッシュを取り付けてください。

TTL オート撮影

フラッシュの発光量をカメラが制御する自動調光撮影です。

1
ご使用のフラッシュの使用説明書に従い、フラッシュのモードを TTL（TTL AUTO）にします。

2
フラッシュの充電を確認し撮影します。
（充電中は、ϟ アイコンが点滅、充電完了すると点灯になります）。



ご注意 !!

– 充電が完了しないまま撮影すると、フラッシュが発光せず、適正露出にならない場合があります。

シャッタースピードと絞りについて

カメラの各露出モードにおけるシャッタースピードと絞りの関係は以下のようになります。

	シャッタースピード	絞り
P	1/50 秒（DC クロップモード時は 1/60 秒）に固定。	自動的に設定。
A		任意に設定可。
S	1/50 秒（DC クロップモード時は 1/60 秒）以下で任意に設定可。	自動的に設定。
M		任意に設定可。

– **M** モードでは、シャッタースピードを**「SYNC」**（フラッシュ同調速度）に設定すると 1/50 秒（DC クロップモード時は 1/60 秒）に設定されます。

調光補正

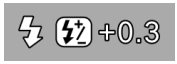
背景の露出には影響を与えずに、フラッシュの光量のみ補正することができます。

「SHOOT」→「フラッシュ」→「調光補正」

◇ ボタンで補正量をセットします。

– 補正量は 1 ／ 3 段ステップで、± 3 段までできます。

設定すると、設定アイコンと補正値が表示されます。



ご注意 !!

– 調光補正は自動的に解除されません。撮影が完了したら、上記手順にて補正量を± 0.0 に戻してください。

フラッシュモードの設定

フラッシュのいくつかの機能は、カメラ側から設定することができます。

「SHOOT」→「フラッシュ」

赤目緩和発光モード「赤目発光」



撮影される前にプリ発光を行い、赤目現象を緩和することができます。

切（初期設定）	**入**

– フラッシュ側のモードを TTL（TTL AUTO）に設定してください。
– 撮影条件や個人差により、完全に赤目現象を除去できない場合があります。

後幕シンクロモード「後幕シンクロ」



露光が終わる直前にフラッシュが発光します。動く被写体の後方に流れる光や軌跡が撮影できるため、自然な動きが表現できます。

切（初期設定）	**入**

スローシンクロモード「スローシンクロ」



P / A モード時、シャッタースピードが固定されず、30 秒までのスローシャッターで制御されます。夜景と人物の両方に露出の合った写真を撮ることができます。

切（初期設定）	**入**

AF 補助光

暗いシーンでより安定した AF となるように、レリーズ半押し時にフラッシュの補助光を照射するかどうかを設定することができます。

切	**入**（初期設定）

– フラッシュ側の AF 補助光の設定が**「OFF」**になっていると、カメラでは設定できません。

ワイヤレスフラッシュ撮影

ワイヤレスフラッシュに対応した複数台のフラッシュを使用ます。フラッシュの配置や発光量を調整して、本格的なライティングを簡単に楽しむことができます。

– OM SYSTEM / LUMIX の光通信ワイヤレスに対応しています。
– 本書では、カメラに取り付けるフラッシュを**「トランスミッター」**、カメラから離して置くフラッシュを**「レシーバー」**と表記します。

トランスミッターの設定

1

HU-21 のホットシューにフラッシュを取り付け、カメラとフラッシュの電源を ON にします。

2

「 SHOOT」→「フラッシュ」→「光通信ワイヤレス」→「入」にすると、ワイヤレス撮影が ON になります。(トランスミッターのモード表示が RC に変わります。)(この状態で撮影すると、前回の設定値で撮影されます。)

3

続けて**「入」**から、チャンネルの設定と、レシーバーの各グループ(A, B, C)の発光設定をします。

発光モード

切	設定したグループのレシーバーは発光しません。
オート	レシーバーのオート機能で発光量が決まります。（レシーバーにオート機能が無い場合、発光しません。）
マニュアル	手動で発光量を設定します。
TTL（初期設定）	カメラが自動で最適な発光量を設定します。

– トランスミッターは、グループ A の設定で動作します。トランスミッターを通信発光だけにしたい場合、グループ A の発光モードを**「切」**、レシーバーを A 以外のグループにして、発光モードを設定してください。

マニュアル発光量

発光モードを**「マニュアル」**にセットしたときに発光量を設定します。

– 発光量は 1/128 ～ 1/1（フル発光）の間で設定できます。

TTL 調光補正

TTL に設定したグループ間で、発光量に差をつけたいときなどに補正量を設定します。

– 発光モードが**「TTL」**のときに設定できます。

– 補正量は 1 ／ 3 段ステップで、± 3 段までできます。

チャンネル

他の人がワイヤレス撮影をしているとき、異なるチャンネルに設定することで誤作動を防げます。Ch.1（初期設定）～ Ch.4 から選択できます。

通信光量

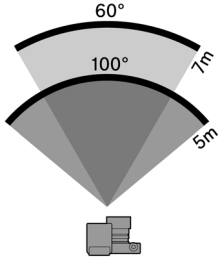
通信発光の強さを選択できます。

弱（初期設定）	**中**	**強**

レシーバーの設定

ご使用のフラッシュの使用説明書に従い、レシーバーの設定を行ってください。

– チャンネルは、カメラと同じチャンネルを設定してください。
– レシーバーはおおよそ以下の範囲内に、ワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。



ご注意 !!

– レシーバーの設置台数は、1 グループ最大 3 台程度にしてください。
– 通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。通信光量を弱に設定してください。それでも影響する場合は、ディフューザーなどで減光してください。

その他の設定変更

「 / SHOOT」の項目から設定できるその他の内容を説明します。

カラースペース

(STILL)
一般的な色空間である sRGB か、主に商用印刷など業務分野で使われている Adobe RGB を選択できます。

「 SHOOT」→「カラースペース」

sRGB（初期設定）	Adobe RGB

ご注意 !!

– 通常、カラースペースは sRGB に設定してください。Adobe RGB に設定された画像は、Adobe RGB に対応した環境下にてご使用ください。

レンズ機能設定

レンズに関する機能を設定できる項目を**「📷 / 🎥 SHOOT」→「レンズ機能設定」**にまとめています。

フォーカスモード（P.93）	**光学式手ブレ補正**（P.128）
フォーカスリミッター（P.114）	**AFL ボタンの機能**（P.119）
フォーカスリング制御（P.117）	

電子シャッター表示

(STILL)

シャッターボタンを押したタイミングで、画面に黒い画像を表示させるか、させないかを設定します。

「📷 SHOOT」→「電子シャッター表示」

切	**入**（初期設定）

デスクイーズ

アナモフィックレンズ使用時、アナモフィックレンズの倍率に合わせて、画像の垂直方向の倍率を調整し、正常な縦横比のライブビュー画像を表示します。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「デスクイーズ」

– 装着するレンズの倍率と一致させます。

切	1.3x	1.5x	1.65x	2.0x
1.25x	1.33x	1.6x	1.8x	

設定すると、デスクイーズアイコンと倍率が表示されます。



動画撮影の場合

– デスクイーズを ON にして撮影した場合、記録される動画データ自体はデスクイーズ処理されず、映像記録設定で設定された条件で保存されます。

– デスクイーズを ON にして撮影した動画は、カメラで再生すると、デスクイーズ処理され再生されます。

静止画撮影の場合

ライブビューでは、アスペクト比 21:9 の範囲内に、アスペクト比 3:2 を基準として、垂直方向の倍率が調整された画像が表示されます。

- 1.25x ～ 1.5x では、撮影範囲の上下がカットされて表示されます。1.6x ～ 2x では、余白部分に黒帯が追加されます。
- 撮影される静止画は、JPEG データの場合、アスペクト比 21:9（6,016 × 2,540）（DC クロップモード入時 : 3,840 × 1,620）のライブビューと同じ状態の画像が保存されます。DNG データの場合、アスペクト比 3:2 のデスクイーズ処理されない画像が保存されます。
- 静止画のアスペクト比は変更できません。

フレームガイド

(CINE)

異なるアスペクト比などを考慮した撮影を行う際、構図決定に便利なフレームガイドを表示することができます。

「SHOOT」→「フレームガイド」



– フレームガイドの表示の有無は、|□|（ディスプレイ）モード設定（P.245）の**「フレームガイド」**から設定できます。

1.33:1 (4:3) (□ / ▯ / □ + □) ※	**2.39:1** (□ / ▯ / □ + □)
1.78:1 (16:9) (□ / ▯ / □ + □)	**カスタムフレーム 1**
1.85:1 (□ / ▯ / □ + □)	**カスタムフレーム 2**

※ □ : 横フレーム ▯ : 縦フレーム

– ディレクターズビューファインダー使用時も表示できます。

– 複数のフレームを同時に表示できます。

– それぞれ表示スタイルを設定できます。さらに ❯ ボタンをして設定してください。

スタイル	**表示色**
線幅	**シェーディング**

スタイル

実線	**上下**
コーナー	**左右**

線幅

1 ピクセルから 10 ピクセルの範囲で指定できます。

ご注意 !!

– 他の設定条件によって、線幅が指定通りに表示されない場合があります。

表示色

白	**黄色**	**青**
黒	**緑**	**マゼンタ**
赤	**シアン**	

シェーディング
フレーム外を半透明で暗くマスクします。

切（初期設定）	**入**

カスタムフレーム
任意のアスペクト比、もしくは撮像素子上の絶対寸法を数値入力して表示することができます。

「カスタムフレーム 1」もしくは**「カスタムフレーム 2」**→**「入」**から設定してください。
– **「FORMAT」**タブの**「入力」**から入力方法を選びます。

センサーエリア	撮像素子上の寸法を指定して、フレームガイドを表示します。
アスペクト比	任意のアスペクト比を指定して、フレームガイドを表示します。

「センサーエリア」での入力
「幅 / 高さ」入力画面で、幅と高さを指定します。
例えば、幅 20mm、高さ 10mm で表示させたい場合は、**20.00 x 10.00 mm** と入力し、⦿ ボタンで確定します。設定画面上に、その際のアスペクト比 **2 : 1** と表示されます。
– 動画撮影時の撮像素子の最大値は、幅 35.70、高さ 23.81 mm です。

– 入力した数値のアスペクト比を保ったまま、サイズを変更することができます。**「アスペクト比 / スケーリング」**入力画面でパーセンテージを（100~1%）指定します。例えば 20.00 x 10.00 mm を 10.00 x 5.00 mm にしたい場合は 50%と入力し、⦿ ボタンで確定します。
– **「アスペクト比 / スケーリング」**入力画面で、アスペクト比を再調整できます。
– **「アスペクト比 / スケーリング」**入力画面で調整した値は、再度**「幅 / 高さ」**から変更が入るとリセットされます。
– ディレクターズビューファインダーでフレームガイドの表示範囲が変化します。

「アスペクト比」での入力

「アスペクト比」入力画面で、アスペクト比を指定します。
動画の基本のアスペクト比は、16.00 : 9 です。
16.00:9 よりも横長のフレームガイドは横に、縦長のフレームガイドは縦にフィットされます。

メモ

– カスタムフレームのフレームガイドは、中心をずらすことができます。**「OFFSET」**タブの**「オフセット」**入力画面で、ずらす方向、数値を指定してください。
– カスタムフレームのフレームガイドも、表示スタイルを設定することができます。**「STYLE」**タブの各オプションから設定してください。

ダイヤル設定

ダイヤルの機能の割り当てや、操作方向の反転が可能です。

「📷 / 🎥 SHOOT」→「ダイヤル設定」

ダイヤル機能	操作方向の反転
ダイヤル操作の禁止 (CINE)	

ダイヤル機能

各露出モードでの、前後ダイヤルの機能の割り当てを変更できます。

1

変更したい露出モードとダイヤルを選び、⦿ ボタンで確定します。

2

<> ボタンか後ダイヤルで、割り当てたい機能を選び、⦿ ボタンで確定します。

- 初期状態に戻したいときは、初期状態に戻したい個所を選び⦿ ボタンを押し、MODE ボタンでリセット、⦿ ボタンで確定ます。
- 前後ダイヤルに割り当てられた機能の前後を入れ替えることができます。入れ替えたい露出モードの ▲▼ を選び ⦿ ボタンを押し、◇ ボタンで入れ替え、⦿ ボタンで確定ます。

操作方向の反転

撮影時のダイヤルの操作方向を反転できます。

絞り / シャッタースピード
露出補正

変更したい項目を選び、**〈〉**ボタンで**「しない」「反転する」**を選んだあと、⦿ボタンで確定します。

– **「ダイヤル機能」**で割り当てられた他の機能は、操作方向の反転ができません。

ダイヤル操作の禁止
(CINE)

CINE モード時に、前後のダイヤル操作を禁止したい場合は、**「入」**に設定してください。

切（初期設定）	**入**

カスタムボタンの機能

以下のボタンは、カスタムボタンとして任意の機能を割り当てることができます。

AEL（P.83）	COLOR
⦿	MODE
∧ ∨ 〈 〉	

– **「∧ ∨ 〈 〉」** 内の **「ダイレクトフォーカスエリア移動」** は、◇ ボタンで直接フォーカスフレーム（多点オート時は多点測距エリアフレーム）を移動できる機能です。使用したい場合は **「入」** にしてください。

– 方向ボタンに割り当てられる機能で、**「ダイレクト…」** とついているものは、〈〉ボタン、もしくは ◇ ボタンで、直接オプションを選択できます。

ご注意 !!

– STILL モード専用の機能を割り当てたボタンは CINE モードで、CINE モード専用の機能を割り当てたボタンは STILL モードで使用できなくなります。

シャッターボタンの設定

シャッターボタンの機能や、半押し時の動作を変更できます。

シャッターボタンの機能 (CINE)
半押し AEL (STILL)
半押し AF-ON

シャッターボタンの機能 (CINE)

CINE モード時のシャッターボタンの機能を変更できます。

切	REC（初期設定）

半押し AEL (STILL)

シャッターボタンを半押ししたときに、露出を固定するか、しないかを選べます。

切	全押しした時点の露出で撮影されます。
入	シャッターボタンを半押しした時点の露出が固定されます。
AF S のみ（初期設定）	オートフォーカスのモードがAF S時のみ、半押しした時点の露出が固定されます。

半押し AF-ON

シャッターボタンを半押ししたときに、オートフォーカスを作動させるか、させないかを選べます。

切	**入**（初期設定）

REC ボタンの機能

(STILL)

STILL モード時に REC ボタンを機能させないようにできます。

切（初期設定）	**REC**

画像の再生、消去

ライブビュー中に ▶ ボタンを押すと再生モードになります。

– 直近の撮影で画像が保存された記録ストレージ、または直近に行われた DNG 現像や、動画から切り出した写真が保存されたストレージの画像が優先して表示されます。

再生したいストレージを変更するには：

1

▶ ボタンを押して再生モードにします。

2

前ダイヤルを左に数回回して再生ストレージ切替画面を表示させます。

3

後ダイヤルを回す、または ◀▶ ボタンを押して希望のストレージを選択します。



4

前ダイヤルを右に回して再生モードに戻ります。

– 再生ストレージの変更は、記録ストレージの切替えでも行えます。

「SYSTEM」→「記録ストレージ」

静止画を再生する

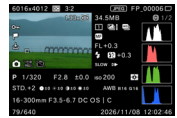
1 画像再生

[▶] ボタンを押すと画像が再生されます。
– 動画ファイルは、最初のコマが表示されます。

1 画像再生中は：
– 後ダイヤルを回す、<> ボタンを押す、もしくはタッチパネルで左右にフリック（ドラッグ）で前後の画像を表示します。
– [□] ボタンを押すたびに、表示モードが切り替わります。


画像のみ表示


情報付き表示


画像情報表示

– 情報付き表示のとき、◇ボタンを押すたびに、下段の**「撮影日時表示」**と**「撮影データ表示」**が切り替わります。

1/2 撮影日時表示



1. 記録画素数
2. クロップモード
3. アスペクト比／デスクイーズ
4. 画質
5. ファイル番号
6. 再生ストレージ

2/2 撮影データ表示



7. ファイル順／ファイル数
8. 撮影日時
9. シャッタースピード
10. 絞り値
11. 露出補正値
12. ISO 感度

メモ

- ❮❯ ボタンを押したままにすると、より速く画像を切り替えることができます。画像の切替えは、ボタンを離すまで自動的に行われます。
- 最初と最後の画像はリンクしています。最初の画像で ❮ ボタンを押すと最後の画像が表示されます。また、最後の画像で ❯ ボタンを押すと最初の画像が表示されます。
- 再生ストレージに画像がない場合は、**「画像がありません」**と警告表示されます。
- 画像の再生中でも、[▶] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影を始めることができます。
- 現在設定されているタイムゾーンと異なるタイムゾーンで撮影された画像は、🌐アイコンと、現地での撮影時刻が表示されます。

ご注意 !!

- 他のカメラで撮影した画像や、ファイル名を変更したり、元のフォルダから移動した画像は、表示できない場合があります。

拡大表示する

（静止画のみ）

1 画像再生中に前ダイヤルを右に回す、またはタッチパネルでピンチアウトします。

– ダイヤルを回すたびに拡大率が上がります。

等倍 → 1.3x → 1.6x → 2.0x → 2.5x → 3.2x → 4.0x → 5.0x → 6.3x → 8.0x → 10x

– ⊙ ボタンを押す、またはタッチパネルでダブルタップするたびに拡大表示／等倍表示が繰り返されます。

拡大表示中は：

– 前ダイヤルを左に回す、またはタッチパネルでピンチインすると縮小されます。

– ‹^› ボタンを押す、またはタッチパネルでフリック（ドラッグ）で再生部分を移動できます。

– 後ダイヤルを回すと、前後の画像を表示します。

メモ

– 拡大表示は、撮影時のフォーカスフレームの位置を基準に拡大表示されます。

9 画像表示（コンタクトシート表示）

「コンタクトシート」では、9 画像を一度に表示することができます。



1 画像再生中に前ダイヤルを左側に 1 回回します。

コンタクトシート表示では：

- ‹^› ボタン、または後ダイヤルを回して、他のサムネイル画像を選択します。
- 前ダイヤルを右に回すと、選択されているサムネイルの画像が再生されます。
- タッチパネルで任意のサムネイルをタップすると、その画像が 1 画像再生されます。
- タッチパネルでフリック（ドラッグ）すると、前後のページが表示されます。

メモ

- 最初のページと最後のページはリンクしています。最初のページの前は最後のページ、最後のページの次は最初のページが表示されます。

日付別表示

その日に撮影した画像が、一覧でサムネイル表示されます。



1 画像再生中に前ダイヤルを左側に 2 回回します。

– その日に撮影した画像の、最初から 42 枚までのサムネイルが表示されます。日付表示の横にその日に撮影したトータル枚数が表示されます。

日付別表示中は：

– 後ダイヤルを回す、**<>** ボタンを押す、もしくはタッチパネルで左右にフリック（ドラッグ）で前後の日付のサムネイル画像が一覧表示されます。

メモ

– 最初のページと最後のページはリンクしています。最初のページの前は最後のページ、最後のページの次は最初のページが表示されます。

– 現在設定されているタイムゾーンと異なるタイムゾーンで撮影された画像のページには、🌐アイコンと、協定世界時（UTC）との時差が表示されます。

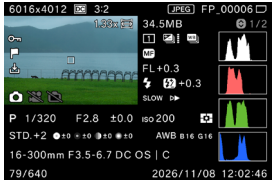
画像情報を見る

撮影時の詳細な情報を見ることができます。

1 画像再生中に |□| ボタンを 2 回押します。

– 画像情報表示は 2 ページあります。◇ ボタンで切り替えます。

1/2





2/2





1. **「情報付き表示」**の**「撮影日時表示」**と同じ
2. ロック／マーク ※
3. カメラ内 DNG 現像
4. フォーカスフレーム
5. 再生表示フィルター ※
6. ファイルサイズ
7. 撮影情報
8. レンズ名
9. ヒストグラム（輝度）
10. ヒストグラム（赤）
11. ヒストグラム（緑）
12. ヒストグラム（青）
13. レンズ光学補正情報
14. 著作権情報

※設定時のみ表示されます。

– 動画は**「ファイルサイズ」**の下に記録時間が表示されます。

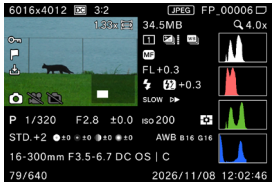
画像情報表示では：

– 後ダイヤルを回す、〈◇〉ボタンを押す、もしくはタッチパネルで左右にフリックで前後の画像を表示します。
– |□| ボタンを押すと、表示モードが切り替わります。
– 動画は ⊛ ボタンを押す、またはタッチパネルで ▶ アイコンをタップすると1画像再生画面に移り、動画が再生されます。

画像情報表示での拡大表示

（静止画のみ）

画像情報表示中に前ダイヤルを右に回す、またはタッチパネルでピンチアウトすると画像が拡大され、特定領域の詳細なヒストグラムを見ることができます。



– ⦿ ボタンを押すたびに、拡大表示／等倍表示が繰り返されます。
– ヒストグラムについての詳細は次の項目をご覧ください。

画像情報表示での拡大表示中は：

– ◇ ボタンを押す、またはタッチパネルでフリック（ドラッグ）で再生部分を移動できます。前ダイヤルを右に回すとより拡大、左に回すと縮小されます。
– 後ダイヤルを回すと、前後のページを表示します。

ご注意 !!

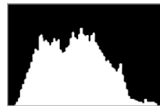
– 拡大表示中は、画像情報表示の他のページには移動できません。

ヒストグラム

ヒストグラムは、画像の明るさの分布をグラフ表示にしたものです。水平軸は明るさのレベルを示し、左方向ほど暗く、右方向ほど明るくなります。垂直軸は各明るさの画素の登場回数を表しています。グラフの分布状態を見ることにより、露出の判断の参考にすることができます。



露出アンダー傾向



適正



露出オーバー傾向

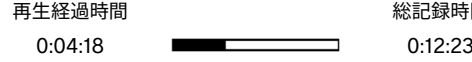
本機のヒストグラム表示は、輝度（RGB を合わせた値）R（赤）G（緑）B（青）それぞれのレベルを同時に表示するしくみになっています。（撮影モード時に表示されるヒストグラムは輝度のみです。）

– 拡大表示でのヒストグラムを見ることにより、任意の部分の露出を判断することもできます。

動画を再生する

動画ファイルの表示中に ⦿ ボタンを押す、またはタッチパネルで ▶アイコンをタップすると、動画が再生されます。





ご注意 !!
ご使用のカードによっては、再生が開始されるまでに時間がかかったり、再生が一時中断される場合があります。

動画再生中は…

ボタン / ダイヤル	動作
⦿	一時停止
〉	早送り再生
〈	逆早送り再生
∧	再生音量上げる
∨	再生音量下げる
後ダイヤル	逆早送り再生 ↔ 早送り再生

〉ボタンを押すごとに、またはダイヤルを時計方向に回すごとに再生速度が速くなります。(〈 ボタンを押すごとに、またはダイヤルを反時計方向に回すごとに減速します。)

再生速度 :
X1→X1.2→X1.5→X2→X4→X8→X16→X32→X64→X128→X256 → X512

– X1~X2 は音声付で再生されます。
– 逆再生での速度は X1.2 ～ X512 です（音声は再生されません）。

一時停止中は…

ボタン / ダイヤル	動作
⦿	再生
>	コマ送り再生
<	逆コマ送り再生
∧	再生音量上げる
∨	再生音量下げる
後ダイヤル	逆コマ送り再生 ↔ コマ送り再生

– 動画の再生を終了するには、MENU ボタンを押します。
– 再生音量は、再生設定メニューからも変更できます。
「▶ PLAY」→「動画再生音設定」→「再生音量」

動画から写真を切り出す

動画ファイルから任意のフレームの写真を作成できます。

1

動画を再生し、写真にしたいフレームで一時停止させます。

– 希望のフレームで止められなかった場合は一時停止中に〈〉ボタンか前後ダイヤルでコマ送り再生してください。

2

AEL ボタンを押すと、そのコマの JPEG 画像が保存されます。

– 画像のサイズは、動画ファイルの**「解像度」「アスペクト比」**の設定によります。（ディレクターズビューファインダーで記録された画像は、セッティングによります。）
– JPEG 画像は、動画ファイルの保存されているストレージの DCIM フォルダに保存されます。
– 作成された JPEG 画像のファイル番号は、**「C__」**で始まり、フォルダ内の最後のファイルの次の番号が割り当てられます。

ご注意 !!

– ストレージに十分な容量が無い場合、警告メッセージが表示され、JPEG 保存を実行できません。メッセージに従い、空き容量を確保してください。

ファイルの消去

消去ボタンで消去する

🗑（消去）ボタンでは、画面に表示されている画像を消去できます。

1

消去したい画像を表示し、🗑 ボタンを押します。

– 日付別表示画面で🗑 ボタンを押すと、再生ストレージ内のその日のすべての画像が消去されます。サムネイルに表示されていない画像も消去されますのでご注意ください。

2

<> ボタンで**「消去」**を選び、⦿ ボタンを押して確定します。
中止したい場合は**「キャンセル」**を選び、⦿ ボタンを押します。

ご注意 !!

– ロックされた画像は消去できません。消去したい場合は、はじめにロックを解除してください。（P.223 ）

– DNG+JPG で記録された画像は、DNG 画像、JPEG 画像共に消去されます。

消去メニューから画像を消去する

ひとつの画像、あるいは複数画像をまとめて消去することができます。

1

「▶ PLAY」→「消去」より希望の方法を選択します。

画像選択

複数の画像を選択して消去します。

<> ボタンで消去したい画像を表示させ、⊛ ボタンを押して🗑アイコンを表示させます。

- 選択を取り消したい場合は、再度 ⊛ ボタンを押して🗑アイコンを消灯させます。
- 日付別表示画面を選択すると、再生ストレージ内のその日のすべての画像が選択されます。

この操作を繰り返して消去したい画像を選択し、AEL ボタンを押して実行します。

現在の画像 🗑

表示中の画像のみ消去します。

- コンタクトシートの表示中は、選択されている画像が消去されます。
- 日付別表示画面の表示中は、**「現在の画像 🗑 」**の代わりに**「選択中の日付 🗑 」**と表示されます。再生ストレージ内のその日のすべての画像が消去されます。

マーク画像 🗑 再生ストレージ内のすべてのマークされた画像（P.225 ）を消去します。
全画像 🗑 再生ストレージ内のすべての画像を消去します。

2

〈〉ボタンで**「消去」**を選び、⦿ボタンを押して確定します。
中止したい場合は**「キャンセル」**を選び、⦿ボタンを押します。

ご注意 !!

- 日付別表示画面を選択すると、サムネイルに表示されていない画像も消去されます。
- ロックされた画像は消去できません。消去したい場合は、はじめにロックを解除してください。（P.223 ）
- **「画像選択」「マーク画像」「全画像」**の消去は、ストレージ内の画像数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

再生表示フィルター

画像の種類を限定して表示、再生することができます。



「▶ PLAY」→「再生表示フィルター」

OFF	**すべて表示**（初期設定）
📷	**静止画のみ表示**
🎥	**動画のみ表示**
📱	**スクリーンショットのみ表示**

– 再生フィルターを設定していても、その後、表示が禁止されている種類の画像が撮影された場合、フィルターは解除されます。
– 画像の消去、ロック、マークも、再生フィルターで指定された種類のファイルが対象になります。

動画再生音設定

動画の再生音に関する項目を**「▶ PLAY」→「動画再生音設定」**にまとめています。

再生音量
マルチチャンネル出力設定（P.252）

ロック

ロックは、誤って画像を消去することを防ぎます。

警告 !!

– 以下の操作を行うと、ロックされている画像も消去されます。十分注意してください。
  – **「記録ストレージの初期化」**
  – **「設定の管理」**→**「設定のリセット」**→**「初期化」**

メモ

ロックされた画像は、パソコンでは**「読み取り専用」**と表示されます。

「▶ PLAY」→**「ロック」**より希望の方法を選択します。

画像選択

複数の画像を選択してロックします。

◁▷ ボタンでロックしたい画像を表示させ、⊛ ボタンを押して 🔑 アイコンを表示させます。

– 選択を取り消したい場合は、再度 ⊛ ボタンを押して 🔑 アイコンを消灯させます。
– 日付別表示画面を選択すると、再生ストレージ内のその日のすべての画像が選択されます。

この操作を繰り返してロックしたい画像を選択し、AEL ボタンを押して実行します。

現在の画像 O- 表示中の画像のみロックします。 – コンタクトシートの表示中は、選択されている画像がロックされます。 – 日付別表示画面の表示中は、再生ストレージ内のその日のすべての画像がロックされます。
マーク画像 O- 再生ストレージ内のすべてのマークされた画像（P.225）をロックします。
全画像 O- 再生ストレージ内のすべての画像をロックします。

– ロックされた画像に O- マークが表示されます。



– ロックを解除するには、前記要領で**「画像選択」**→ O- アイコン消灯 → AEL ボタンで実行します。もしくは、ロックされた画像を表示させ**「現在の画像 O-」**を選択します。
–**「マーク画像 O-」**は、再生ストレージ内のすべてのマークされた画像（P.225）のロックを解除します。
–**「全画像 O-」**は、再生ストレージ内のすべての画像のロックを解除します。

ご注意 !!

–**「画像選択」「マーク画像 O-」**および**「マーク画像 O-」**は、ストレージ内の画像数によって、かなりの時間が掛かることがあります。

マーク

お気に入りの画像の区分けや、画像の消去、ロックの選別等に便利です。

メモ

– カメラでマークした画像は、**SIGMA Photo Pro** 上でもマーク状態と表示されます。

「▶ PLAY」→「**マーク**」より希望の方法を選択します。

画像選択

複数の画像を選択してマークします。

〈〉ボタンでマークしたい画像を表示させ、⊙ ボタンを押して ⚑ アイコンを表示させます。

– 選択を取り消したい場合は、再度 ⊙ ボタンを押して ⚑ アイコンを消灯させます。
– 日付別表示画面を選択すると、再生ストレージ内のその日のすべての画像が選択されます。

この操作を繰り返してマークしたい画像を選択し、AEL ボタンを押して実行します。

現在の画像 ⚑

表示中の画像のみマークします。

– コンタクトシートの表示中は、選択されている画像がマークされます。
– 日付別表示画面の表示中は、再生ストレージ内のその日のすべての画像がマークされます。

全画像
再生ストレージ内のすべての画像をマークします。

– マークされた画像に マークが表示されます。



– マークを解除するには、前記要領で**「画像選択」**→ アイコン消灯 → AEL ボタンで実行します。もしくは、マークされた画像を表示させ**「現在の画像 」**を選択します。
–**「全画像 」**は、再生ストレージ内のすべての画像のマークを解除します。

ご注意 !!

–**「画像選択」「全画像 」**および**「全画像 」**は、ストレージ内の画像数によって、かなりの時間が掛かることがあります。
– ロックされた画像のマーク / マーク解除はできません。マーク / マーク解除したい場合は、はじめにロックを解除してください。（P.223 ）

回転

(静止画のみ)
画像の表示方向を回転できます。

1
「▶ PLAY」→「回転」を選択します。

2
<> ボタンで回転したい画像を表示させ、⦿ ボタンを押します（画像が回転し、↻ アイコンが表示されます）。
この操作を繰り返して回転させたい画像を指定します。
– ⦿ ボタンを押すたびに、時計回りに 90˚ 回転します。

3
AEL ボタンを押して実行します。

– カメラで回転させた画像は、SIGMA Photo Pro でも同じ向きで表示されます。

ご注意 !!
– オプションメニューの「横位置揃え」が「ON」になっていると、回転は選べません。

DNG 現像

パソコンを使わずに、DNG 形式で記録された画像から、JPEG 形式の画像を作成することができます。



1 露出補正
2 Fill Light
3 アスペクト比
4 水平補正
5 カラーモード
6 ホワイトバランス
7 カラースペース
8 回折
9 周辺光量
10 現像実行アイコン
11 選択されている項目

1

現像したい DNG 画像を表示させ、**「▶ PLAY」→「DNG 現像」→「現在の画像」**を選択、もしくは **「▶ PLAY」→「DNG 現像」→「画像選択」**で、◁▷ ボタンで現像したい画像を表示、⦿ ボタンで確定します。

2

DNG 現像設定画面で、△▽◁▷ ボタンで変更したい項目を選び、⦿ ボタンを押して確定します。

– 項目、オプションによっては、詳細な設定が可能です。AEL ボタンを押して詳細設定画面を表示させてください。詳しくは各項目のページを参照してください。

3
画像を確認しながら、後ダイヤル、もしくは ❮❯ ボタンで調整値（またはオプション）を変更し、⦿ ボタンを押して確定します。

4
調整したい項目が複数ある場合は、手順 **2**、**3** を繰り返します。

5
一通り調整が完了したら、🡻（現像実行アイコン）を選び ⦿ ボタンを押します。

6
❮❯ ボタンで**「現像」**を選び、⦿ ボタンを押して確定します。
中止したい場合は**「キャンセル」**を選び、⦿ ボタンを押します。

- 作成された JPEG 画像は、もとの DNG 画像が保存されているフォルダに保存されます。
- 作成された JPEG 画像は、🡻 マークが表示されます。
- 作成された JPEG 画像のファイル番号は、**「R___」**で始まり、フォルダ内の最後のファイルの次の番号が割り当てられます。（カラースペースを AdobeRGB に設定した場合は、ファイル番号が**「_R_」**で始まります。）

ご注意 !!

– ストレージに十分な容量が無い場合、警告メッセージが表示され、DNG 現像を実行できません。
– より細かな調整が必要な場合は **SIGMA Photo Pro** での現像をおすすめします。

メモ

– Fill Light : 画像の明るい部分の露出を変えずに、暗い部分にライトを追加するような明るさの調整ができます。
– 水平補正の **「オート」** : 撮影時の水準器情報をもとに水平を自動補正します（補正量は左右 5°まで）。

露出警告

露出オーバーで、画像が白く飛んでしまっているハイライト部分を、赤色で警告表示することができます。

「▶ PLAY」→「露出警告」

切（初期設定）	**入**

– 露出警告は、撮影画像確認画面では表示されません。

横位置揃え

画像の表示方向を指定できます。

「▶ PLAY」→「横位置揃え」

切（初期設定）	撮影時の向きで表示します。
入	すべての画像を横向きで表示します。

– 縦位置で撮影した動画も、**「切」**にすると正位置（縦位置）で再生されます。

AEL ボタンの機能

AEL ボタンに再生メニューの機能を割り当てることができます。よく使う機能を割り当てて、1アクションで簡単に行うことができます。

「▶ PLAY」→「AEL ボタンの機能」

切	再生時は機能しません。
ロック / ロック解除	ロックしていない画像上で AEL ボタンを押すとロックされます。既にロックされている画像上で AEL ボタンを押すとロックが解除されます。
マーク / マーク解除	マークしていない画像上で AEL ボタンを押すとマークされます。既にマークされている画像上で AEL ボタンを押すとマークが解除されます。
回転 ↻	AEL ボタンを押すたびに、画像を右回り（時計方向）に 90 度回転します。
回転 ↺	AEL ボタンを押すたびに、画像を左回り（反時計方向）に 90 度回転します。
露出警告	AEL ボタンを押すたびに露出警告表示の ON/OFF が繰り返されます。
拡大表示	AEL ボタンを押すたびに拡大表示／等倍表示が繰り返されます。
再生表示フィルター切替（初期設定）	AEL ボタンを押すたびに、再生表示フィルターの切り替えができます。

「 SYSTEM」の項目で、カメラの基本状態を設定します。

記録ストレージの初期化

画像ファイルをすべて消したいときや、画像以外の不要なファイルを消したいときは、記録ストレージの初期化をしてください。

内蔵ストレージ
SD カード ※ 1
USB ストレージ ※ 2

※ 1 カメラにカードが挿入されていないとき、カードにロックが掛かっているときは選択できません。
※ 2 USB ストレージが接続されていないときは選択できません。

– 各初期化画面で、ストレージの使用量が確認できます。



初期化したいストレージを選択し、**<>** ボタンで**「初期化」**を選び、⦿ ボタンを押して確定します。
中止したい場合は**「キャンセル」**を選び、⦿ ボタンを押します。

警告 !!

– 初期化はロックされた画像とそれ以外のファイルもすべて消去します。

記録ストレージ

撮影された画像を記録するストレージを選択します。

	内蔵ストレージ
	SD カード（初期設定）※ 1
	USB ストレージ ※ 2

画面右上に、設定中の記録ストレージのアイコンが表示されます。



※ 1 カメラにカードが挿入されていないとき、カードにロックが掛かっているときはメッセージが表示され、記録できません。
※ 2 USB ストレージが接続されていないときはメッセージが表示され、記録できません。

ストレージフル時の動作

SD カードまたは USB ストレージの容量がいっぱいになった際、自動的に記録先が内蔵ストレージに切り替わります。（P.60 ）

切（初期設定）	**入**

ファイル名 / 番号

記録されたデータは、静止画と動画でそれぞれ専用のファイル名、ファイル番号が付けられ、専用のフォルダに保管されます。

静止画データ (JPEG, DNG)
(STILL)
静止画ファイルは、DCIM フォルダ内の、撮影した年月日の名前の付いたサブフォルダに保管されます。

–（例）2026 年 12 月 5 日に大量に撮影した場合…

フォルダ	サブフォルダ	ファイル番号
DCIM	261205_**0**	FP_**0**0001 ～ FP_**0**9999
	261205_**1**	FP_**1**0001 ～ FP_**1**9999
	:	:
	261205_**9**	FP_**9**0001 ～ FP_**9**9999
	261205A**0**	FP_**0**0001 ～ FP_**0**9999
	:	:

– ファイル番号下 4 桁が 9999 を超えると、末尾番号の繰り上がった新しいサブフォルダが作成され、そちらに保管が継続されます。

– サブフォルダの末尾番号と、ファイル番号の頭の数字が同じ数字になります。
– サブフォルダの末尾番号が 9 を超えると、アンダーバーがアルファベット（A ～）になり、末尾番号が 0 から再開されます。（ファイル番号は、FP_00001 から再開されます。）
– タイムゾーンを変更して撮影された画像は、異なるサブフォルダに保存されます。
– ファイル番号のあとに、JPEG データの場合**「.JPG」**、DNG データの場合、**「.DNG」**の拡張子がつきます。
– **「📷 SHOOT」→「カラースペース」**で**「Adobe RGB」**が選択されていると、ファイル名の**「FP」**は**「_F」**となります。

ファイル番号

ファイル番号 5 桁の付き方を変更できます。

通し番号 （初期設定）	ストレージの初期化、記録ストレージの切替え、サブフォルダの変更にかかわらず、5 桁の番号は一貫して継続されます。
オートリセット	ストレージの初期化、撮影日の変更などで、サブフォルダが新しくできた際に、5 桁の番号が 00001 から始まります。

（例）2026 年 12 月 6 日と 7 日に 150 枚ずつ撮影した場合…

通し番号

フォルダ	サブフォルダ	ファイル番号
DCIM	261206_**0**	FP_**0**0001 ～ FP_**0**0150
	261207_**0**	FP_**0**0151 ～ FP_**0**0300

オートリセット

フォルダ	サブフォルダ	ファイル番号
DCIM	261206_**0**	FP_**0**0001 ～ FP_**0**0150
	261207_**0**	FP_**0**0001 ～ FP_**0**0150

番号リセット

「番号リセット」を実行すると、ファイル番号の頭の数字が繰り上がり、下 4 桁の番号が 0001 から再開します。

– 末尾番号の繰り上がった新しいサブフォルダが作成され、そちらにデータが保管されます。

ご注意 !!

– サブフォルダの末尾番号が Z9、ファイル番号が FP_99999 に達した場合、ストレージに空き容量があってもそれ以上撮影ができなくなります。必要な画像をパソコンや外部ストレージに転送してから、記録ストレージを初期化する、もしくはパソコンから最後のフォルダを消去してください。

動画データ (MOV)
(CINE)

動画ファイルは、CINEMA フォルダに保管されます。
ファイル番号は、頭のカメラ ID・リール番号を任意に設定できます。中間のクリップ番号（3 桁）が撮影するごとに繰り上がり、後ろに撮影年月日が付きます。

フォルダ	ファイル番号 カメラ ID・リール番号 _ クリップ番号 _ 撮影日
CINEMA	A001_001_20261205.MOV ⋮ A001_999_20261205.MOV

– 動画ファイルは、いずれのフォーマットも**「.MOV」**の拡張子がつきます。

カメラ ID

カメラ ID**「A」**（初期設定）～**「Z」**を付けられます。

リール番号

リール番号**「001」**（初期設定）～**「999」**を付けられます。

クリップ番号

撮影するごとに、番号が繰り上がります。
クリップ番号の付き方を変更できます。

通し番号 （初期設定）	ストレージの初期化、記録ストレージの切替えにかかわらず、下 3 桁の番号は一貫して継続されます。
オートリセット	ストレージの初期化などでフォルダに動画が存在しない場合、番号は001から始まります。フォルダに動画が存在する場合、最後の動画の次の番号が付けられます。

– 通し番号、オートリセット、いずれの場合もカメラ ID・リール番号を変更すると、クリップ番号は 001 から始まります。

ご注意 !!

– クリップ番号が **“999”** に達した場合、カード、ストレージに空き容量があっても、**「動画のファイル番号割り当てができません。」** とメッセージが表示され、それ以上撮影ができなくなります。その場合は、カメラ ID、リール番号を変更してください。

著作権情報

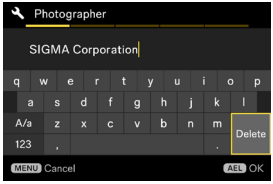
撮影時に**「撮影者」**、**「著作権者」**の情報と**「メモ」**を Exif 情報に記録できます。

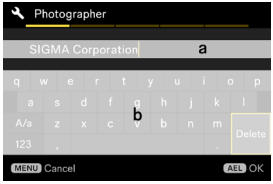
– それぞれ半角英数字・記号で 48 文字まで入力できます。

1
「著作権情報」→**「著作権情報の記録」**→**「入」**にします。

2
「撮影者名」、**「著作権者」**、**「メモ」**のいずれかを選び、以下の**「文字の入力方法」**の手順に従い、文字を入力します。

文字の入力方法





a. 入力文字表示エリア
入力した文字が表示されます。入力文字表示エリアのカーソルは前後ダイヤルで移動できます。

b. キーボードエリア
タッチパネル、もしくは ◇ ボタンでカーソルを移動して、⦿ ボタンで入力します。

A/a	キーボードをアルファベットに切り替えます。 アルファベットの表示中は、押すごとに大文字 / 小文字を切り替えます。
123	キーボードを数字、記号に切り替えます。
Delete	カーソルの左側の文字を消します。

3

一通り文字を入力したら、AEL ボタンを押して入力を確定します。

– MENU ボタンを押すと入力がキャンセルされ、**「著作権情報」**メニューに戻ります。
– 著作権情報を記録しない場合は、**「著作権情報」**→**「著作権情報の記録」**→**「切」**にします。
– 入力した情報を消去したい場合は、**「Delete」**キーですべての文字を消去し、AEL ボタンを押して確定します。

メモ

– 記録された情報は、**SIGMA Photo Pro** の**「撮影情報ウインドウ」**や Exif 対応ソフトで確認することができます。

ご注意 !!

– カメラを貸したり譲渡するときなどは、**「著作権情報の記録」**を**「切」**にしてください。また各入力項目は空欄にしてください。
– 著作権情報記録によるトラブルや損害が生じた場合、当社では一切責任を負いません。

タイムコード

(CINE)
動画撮影時、自動的にタイムコードが記録されます。記録されるタイムコードの設定をします。

– 撮影時、モニターへのタイムコードの表示の有無は、|□| （ディスプレイ）モード設定（P.245 ）の**「クリップ情報」**から設定できます。

ご注意 !!
– このカメラは、外部機器との同期機能は備えていません。

タイムコード
タイムコードのスタート時間を設定します。

00 : 00 : 00 : 00	**時 : 分 : 秒 : フレーム**

タイムコード表示エリアを選択し、 ボタンで設定、◉ ボタンで確定します。
– リセットしたい場合は MODE ボタンを押してください。
– カウントモードを**「DF」**（ドロップフレーム）にした場合、秒とフレームの間の**「:」**が**「;」**に変わります。
– 指定できるフレームの数値はフレームレートによって変わります。

23.98fps	24fps	25fps	29.97fps	47.95fps
0~20	0~20	0~24	0~29	0~20

48fps	50fps	59.94fps	100fps	119.88fps
0~20	0~24	0~29	0~24	0~29

– フレームレートが 23.98fps、24fps、47.95fps、48fps のとき、フレームは 4 の倍数でのみ指定できます。

RUN モード
タイムコードのカウント方法を選択します。

REC RUN	レックラン 動画の記録時間のみカウントします。
FREE RUN （初期設定）	フリーラン 記録しない時間（電源 OFF 中も含む）も含めカウントします。

カウントモード
タイムコードのカウント方法を選択します。

DF	ドロップフレーム ドロップフレームによる誤差を補正して記録します。
NDF （初期設定）	ノンドロップフレーム ドロップフレームによる誤差を補正せずに記録します。

外部入力 (TC-IN)
他社製タイムコードジェネレーターを接続するときに、機器のジャック形状によって選択してください。

切（初期設定）
3.5mm 端子
USB

– ジェネレーターが正常に接続されると、タイムコード表示部に EX アイコンが表示され、ジェネレーターで設定されたタイムコードが表示されます。接続されていない状態、もしくは接続に何らかの異常はある場合は、赤い EX アイコンが点滅表示されます。
– 映像記録設定のフレームレートとジェネレーターのフレームレートの設定を一致させてください。詳しくはジェネレーターの使用説明書をご参照ください。

ご注意 !!

– **「外部入力 (TC-IN)」**が**「3.5mm 端子」**のとき、マイク / ケーブルレリーズ端子に接続するマイクは使用できません。
– **「外部入力 (TC-IN)」**が**「USB」**のとき、USB マイクや USB ヘッドホンなどの USB 接続のオーディオ機器は使用できません。

HDMI 出力

HDMI ケーブルで接続する機器に、タイムコードを出力するか、しないかを設定します。

切	**入**（初期設定）

カスタムモードの登録

– **「カスタムモード」**（P.176 ）を参照してください。

QS カスタム

(CINE/STILL)

– **「QS メニュー」**（P.55 ）を参照してください。

|□| （ディスプレイ）モード設定

(CINE/STILL)

撮影時に表示される情報量を増減したり、撮影に便利な機能を追加することができます。

– **「|□| モード設定」**画面で、|□| アイコンが表示されているモードが、現在ライブビューに適用されています。

カスタム

カスタマイズしたいモード（カスタム 1 ～ 4）を **「入」**にし、> ボタンを押すとオプションが表示されます。

– 表示させたくないモードは **「切」**にしてください。

情報表示

撮影情報表示の量を選べます。

切	最小	標準

– どの設定でも警告に関するアイコンは表示されます。

フォーカスエリア

切	入

レンズ情報

装着中のレンズの情報を表示できます。

切	撮影距離※
焦点距離	焦点距離 + 撮影距離※

※撮影距離の単位を選択できます。❯ ボタンを押して**「撮影距離の単位」**画面で選択します。

– 対応レンズでのみ、焦点距離 / 撮影距離が表示されます。
– マウントコンバーター MC-21 を介したレンズでは、撮影距離が表示されません。

日付 / 時刻

日付や時刻を表示できます。

切	時刻
日付	日付 + 時刻

クリップ情報
(CINE)

動画撮影に関する情報を表示できます。

切	TC
ファイル名	ファイル名 +TC

グリッド線

構図の決定に便利なグリッド線を表示できます。

切	4 × 4 (黒)	3 × 3 (白)
2 × 2 (黒)	対角線 (黒)	4 × 4 (白)
3 × 3 (黒)	2 × 2 (白)	対角線 (白)

フレームガイド
(CINE)

切	入

– **「フレームガイド」**（P.196 ）を参照してください。

センターマーク
(CINE)
画面の中心を示すセンターマークを表示できます。

切	ドット	クロス

水準器
カメラの水平方向と垂直方向の傾きを表示します。

切	入



1. 水平方向指標
2. 垂直方向指標

– カメラが水平、垂直になると、指標が緑色に変わります。

ご注意 !!
– 水準器は± 1°程度の誤差があります。傾きが大きい状態では誤差が大きくなり、正しく働かない場合があります。
– カメラを真下に構えた場合、水準器は正しく働きません。

輝度レベルモニター

切	入

– **「輝度レベルモニター」**（P.85 ）を参照してください。

露出確認ツール

切	ゼブラパターン	フォルスカラー

– **「露出確認ツール」**（P.86 ）を参照してください。

オーディオメーター
(CINE)

切	入※

※単位標記の無い簡易版のメーターが表示されます。

LCD オフモード
撮影中やカメラを操作していないときに、液晶モニターを消灯するモードです。天体撮影などに便利です。

「LCD オフモード」で**「入」**にすると、表示モードに追加されます。
– 消灯中に、各ボタン、ダイヤルを操作すると、約 3 秒間液晶モニターが点灯します。
– カスタムモード同様、表示時の内容をカスタマイズできます。前記手順で表示内容を設定してください。
– 再生モード、拡大表示、セットアップメニュー、QS メニュー表示時は消灯しません。

タッチ操作

タッチパネルでの操作を禁止したり、タッチパネルで操作できる機能を変更することができます。

切	入（初期設定）

– タッチパネルでの操作を禁止する場合は**「切」**にします。
– タッチパネルのみで操作する以下の操作は**「切」**でもタッチ操作がききます。

「ボタンロック」のスライドによる解除操作

– タッチパネルで操作できる機能を変更したい場合は**「入」**より設定してください。
– 各タッチの仕方に対して機能を変更できます。**「タップ」「ダブルタップ」**など、タッチ操作の言葉の意味は**「タッチ操作について」**（P.42 ）をご参照ください。

/ （撮影時の設定）

タップ	ダブルタップ

タップ

切	タッチ AF
フォーカスエリア移動（初期設定）	自動追尾 AF

ダブルタップ

切（初期設定）	フォーカスアシスト表示

▶ （再生時の設定）

すべての操作

切	入（初期設定）

– エレクトロニックビューファインダー EVF-21 使用時、ファインダーを覗きながらタッチパネルの操作が可能です。EVF-21 を装着すると、下記オプションが表示されます。

EVF（EVF-21 使用時の設定）

タップ	ダブルタップ

– **「入」**で操作できる機能は、📷 / 🎥（撮影時の設定）に準じます。
– 再生時に操作できる機能は、▶ （再生時の設定）に準じます。

REC 中の設定

赤枠強調表示

(CINE)

撮影中であることを判りやすくするために、撮影中は画面外周に赤枠を表示させます。

切（初期設定）	入

タリーランプ設定

– **「タリーランプ設定」**（P.253 ）を参照してください。

ボタンロック中の動作

– **「ボタンロック機能」**（P.183 ）を参照してください。

音声設定

各音量の設定をします。

– 各音量は、後ダイヤル、もしくは ❮❯ ボタンで設定、⦿ ボタンで確定します。

スピーカー音量

各電子音の基本の音量を設定します。

– 音量は 0 ～ 5 の 6 段階で設定できます（3 が初期設定です）。

– 0 は音を鳴らさない設定です。

各音量の設定

「スピーカー音量」でさらに ❯ ボタンを押すと、各種音量の調整ができます。

シャッター音調整 (STILL)	**AF 合焦音調整**
REC 音調整 (CINE)	**タイマー音調整 (STILL)**

– スピーカー音量の設定値に対して、0 ～ 100% の 5 段階で設定できます。

– 0% は音を鳴らさない設定です。

– スピーカー音量が 0 になっていると、すべての音が鳴りません。

モニタリング音量

動画撮影時のヘッドホンの音量を設定します。

– ヘッドホン接続時のみ設定できます。

– 音量は 0 ～ 5 の 6 段階で設定できます（3 が初期設定です）。

– 0 は音を鳴らさない設定です。

マルチチャンネル出力設定

カメラでの動画再生時（2 チャンネル）における、4 チャンネル録音音源の割り振りを設定できます。

L / R 割り当て

Ch.1+3 / 2+4（初期設定）		
Ch.1 / 2	**Ch.1 / 1**	**Ch.3 / 3**
Ch.3 / 4	**Ch.2 / 2**	**Ch.4 / 4**

タリーランプ設定

REC 通知
(CINE)
動画撮影中に点灯し、動画撮影中であることを知らせます。

切	**入**（初期設定）

セルフタイマー通知
(STILL)
セルフタイマーの作動中に点滅します。撮影 2 秒前になると点滅が速くなり、撮影のタイミングを知らせます。

切	**入**（初期設定）

インターバルタイマー通知
(STILL)
インターバルタイマーの作動中に約1秒間隔で点滅します。

切	**入**（初期設定）

水準器調整

水準器の角度のずれを調整できます。

カメラを水平な場所に置いて、⦿ ボタンを押します。
（新しい調整値が記録されます。）

– リセットしたい場合は、MODE ボタンを押します。（工場出荷時の調整値に戻ります。）

センサーリフレッシュ

画像に輝点が記録される場合、センサーリフレッシュを行ってください。撮像素子と画像処理の最適化が行われます。

キャップを閉め、**「実行」**を選び、⦿ ボタンで確定します。

LCD 設定

液晶モニターの明るさと色合いを調整できます。

明るさ（LCD の明るさ）

後ダイヤル、もしくは ◀▶ ボタンで設定、⊛ ボタンで確定します。

– 明るさは 7 段階で設定できます（中央が初期設定です）。

屋外明るさアシスト

晴天時など、著しく明るい環境下で、自動的に液晶モニターの明るさを最大にします。

「屋外明るさアシスト」→「晴天検出」

切	**入**（初期設定）

LCD の色合い

画面下部のチャートを見ながら **「赤み」「青み」** を調整してください。

後ダイヤル、もしくは ▲▼ ボタンで設定、⊛ ボタンで確定します。

– それぞれ、± 5 の 11 段階で調整できます（± 0 が初期設定です）。

電源設定

スリープタイマー

一定時間操作しない状態が続くと、自動的に液晶モニターのバックライトを OFF にします。▶ ボタン、REC ボタン、シャッターボタンを押すと、スリープが解除されます。

– スリープに移行するまでの時間を設定できます。

切	**1 分**（初期設定）
10 秒	**5 分**
30 秒	**10 分**

–**「切」**はスリープに移行しない設定です。

パワーオフタイマー

スリープ中も操作しない状態が続くと、自動的にカメラの電源を OFF にします。▶ ボタン、REC ボタン、シャッターボタンを押すと、パワーオフが解除されます。

– パワーオフに移行するまでの時間を設定できます。

切	**5 分**（初期設定）
30 秒	**10 分**
1 分	

–**「切」**はパワーオフに移行しない設定です。

ご注意 !!

–**「スリープタイマー」**は、**「パワーオフタイマー」**より長い時間には設定できません。

高温時の動作

カメラの電源が、自動的に切れる温度を設定します。

「高温時の動作」→「シャットダウン温度」

標準 （初期設定）	カメラを手持ちで使用する場合は**「標準」**に設定してください。
高	**「標準」**より撮影可能時間が長くなりますが、カメラが高温になります。三脚等を使用してください。

ご注意 !!

– **「高」**に設定して長時間手持ちで使用すると、低温やけどのおそれがあります。

– **「高」**に設定しても、使用環境や撮影条件によっては撮影可能時間が変わらない場合があります。

HDMI 出力

(STILL)

HDMI ケーブル（別売）で接続したテレビやディスプレイで映像をモニターする際、アイコン等の情報を映像と一緒に出力するか、しないかを選択できます。

情報表示あり	情報表示なし

– HDMI 端子（Type A）を備えた市販の HDMI ケーブル（Ver.2.1）をご用意ください。

HDMI 出力

(CINE)

CINE モードでの**「HDMI 出力」**の設定は、まず目的によって**「モニタリング出力」**か**「記録映像出力」**を選択します。選択後、さらに〉ボタンを押してオプションを選択します。

モニタリング出力

情報表示

HDMI ケーブル（別売）で接続したテレビやディスプレイで映像をモニターする際、アイコン等の情報を映像と一緒に出力するか、しないかを選択できます。

あり	なし

マルチチャンネル出力設定

–**「音声設定」**（P.251）を参照してください。

記録映像出力

HDMI ケーブル（別売）で接続した外部レコーダーなどで映像を記録する際は、こちらの項目から映像出力の設定をします。

出力信号

動画の出力信号形式を設定します。

RAW	4:2:2 10bit（初期設定）

解像度

動画の解像度（サイズ）を設定します。

6K	16:9	6016 × 3384
4K	17:9 (DCI 4K)	4096 × 2160
	16:9 (UHD)（初期設定）	3840 × 2160
2K	16:9 (FHD)	1920 × 1080

– 4K | 17:9 と 4K | 16:9 は、◇ ボタンで選びます。

フレームレート

フレームレート（1 秒あたりのコマ数）を設定します。

23.98 fps	29.97 fps	50 fps	119.88 fps
24 fps	47.95 fps	59.94 fps	
25 fps	48 fps	100 fps	

ご注意 !!

– フレームレートは、外部レコーダーのフレームレートの設定と一致していることをご確認ください。
– 出力信号、解像度、フレームレートの組合せにより、選択肢に制限が生じる場合があります。

USB モード

– **「パソコンと接続する」**（P.271 ）を参照してください。

ケーブルレリーズ設定

(STILL)

ケーブルレリーズスイッチ CR-51（別売）操作時の動作を設定します。

シャッター（初期設定）	カメラのシャッターボタンと同じ動作をします。
REC	カメラの **REC** ボタンと同じ動作をします。

– ケーブルレリーズスイッチ CR-41（別売）も使用できます。

EVF 設定

エレクトロニックビューファインダー EVF-21 の各種設定をします。

– EVF-21 装着時のみ設定できます。

明るさ
タッチ操作
ファームウェアの更新

明るさ

ファインダーを覗きながら、後ダイヤル、もしくは ◁▷ ボタンで見やすい明るさに調整し、⊛ ボタンで確定します。

– 明るさは 7 段階で設定できます。

– AUTO は露出の情報をもとに、見やすい明るさに自動調整されます（AUTO が初期設定です）。

タッチ操作

–**「タッチ操作」**は**「🔧 SYSTEM」→「タッチ操作」→「入」**のときのみ設定できます。

–**「タッチ操作」**（P.249 ）を参照してください。

ファームウェアの更新

–**「ファームウェアの更新」**（P.265 ）を参照してください。

日付 / 時刻 / エリア

長期間使用していなかった場合や、海外で使用する場合など、日付、時刻、エリア（地域）を設定してください。

– 画像ファイルに撮影日時の情報が記録されますので、正しく設定してください。

1

「日付／時刻／エリア」を選びます。

2

「タイムゾーン」で、ご使用になるエリアを選びます。

– 該当するエリアがないときは、協定世界時（UTC）との時差を参照し、同じ時差のエリアを選んでください。

3

必要に応じてサマータイムを設定します。**「サマータイム」**で**「切」**か**「入」**を選びます。

4

日付時刻表示エリアで ＞ ボタンか ⦿ ボタンを押すと、日付 ／ 時刻が設定できます。



5

＜＞ ボタンで各項目を選び、◇ ボタンかダイヤルで設定します。



6

⦿ ボタンを押して確定します。変更しない場合は、ボタンを押します。

ご注意 !!

- カメラの内蔵時計は、カメラ動作用バッテリーから内蔵の充電池に充電された電気で動いています。長期間カメラにバッテリーが入っていない状態で、充電がされていない場合は、内蔵時計を再設定する必要があります。
- 時刻を設定した後に**「サマータイム」**を変更すると、設定された時間が 1 時間シフトします。

年月日の順序を変えるには

日付表示は、年 / 月 / 日、月 / 日 / 年、日 / 月 / 年の 3 種類から選べます。

「日付フォーマット」で、希望の表示順序を選びます。

24 時間表示 / 12 時間表示 (AM/PM) を切り替えるには

「24 時間表示」で、**「入」**（24 時間表示）、**「切」**（12 時間表示）を選びます。

LANGUAGE / 単位

言語 / LANGUAGE

メニュー画面等に表示される言語を設定できます。
言語は 17 種から選べます。

English	英語
日本語	日本語
Deutsch	ドイツ語
Français	フランス語
Español	スペイン語
Italiano	イタリア語
简体中文	中国語 (簡体字)
繁體中文	中国語 (繁体字)
한국어	韓国語

Русский	ロシア語
Nederlands	オランダ語
Polski	ポーランド語
Português	ポルトガル語
Dansk	デンマーク語
Svenska	スウェーデン語
Norsk	ノルウェー語
Suomi	フィンランド語

単位

撮影情報に表示される撮影距離の単位を選べます。

M (メートル)	**FEET (フィート)**

情報

カメラ	レンズ	EVF ※

※装着時のみ表示されます。

カメラの以下の情報が確認できます。

モデル名、シリアル番号、
ファームウェアバージョン、センサー温度

〈〉ボタンで、各種認証情報、認証マークが確認できます。

– 情報画面に表示されないその他の認証情報、認証マークは、液晶モニター裏面、化粧箱、使用説明書等に表示されています。

装着されているレンズの以下の情報が確認できます。

レンズ名、シリアル番号、
ファームウェアバージョン

電子ビューファインダーの以下の情報が確認できます。

モデル名、シリアル番号、
ファームウェアバージョン

ファームウェアの更新

カメラや、装着されているレンズ、電子ビューファインダーのファームウェアの更新ができます。ファームウェアの更新状況、更新方法は、弊社 WEB サイトにてご確認ください。

sigma-global.com/jp/support/

セキュリティ設定

セキュリティロックを設定し、特定機能へのアクセスを禁止することができます。

– セキュリティロックを解除した後、電源を OFF にする、もしくはパワーオフタイマーによるパワーオフまで、ロックを解除した状態が保持されます。

ご注意 !!

– 複数回、セキュリティロックの解除を失敗すると、一定時間解除ができなくなります。時間をおいてから再度行ってください。

ロック / アクセス設定

ロック解除方法の再設定や、ロックする対象を設定します。

– セキュリティロックが設定されている場合、この項目へのアクセスはロック解除が必要です。

ロック解除方法の再設定
ファームウェア更新のロック
再生画面のロック

ロック解除方法の再設定

初期設定時にセキュリティロックを設定しなかった場合、ロックの解除方法を変更したい場合は、こちらから再設定します。

設定方法は**「初期設定をする」**（P.39 ）の**「セキュリティロックを設定する」**を参照してください。

ファームウェア更新のロック
不用意なファームウェアの更新を防ぎます。

切	**入**（初期設定）

再生画面のロック
カメラでの画像の再生をロックします。

切（初期設定）	**入**

セキュリティ資産の初期化

セキュリティの設定が初期化され、セキュリティロックの設定が解除されます。

「初期化」を選び、⊙ ボタンで確定します。
中止したい場合は**「キャンセル」**を選び、⊙ ボタンを押します。

設定の管理

設定の保存

– **「設定の保存 / 読込 」**（P.179 ）を参照してください。

設定の読込

– **「設定の保存 / 読込 」**（P.179 ）を参照してください。

設定のリセット

カメラの設定を初期の状態に戻すことができます。

1

「設定のリセット」より希望のリセット方法を選択します。

撮影設定	**「 / SHOOT」**のすべての設定がリセットされます。
再生設定	**「 PLAY」**のすべての設定がリセットされます。
システム設定	**「日付 / 時刻 / エリア」**、**「言語 /Language」**を除く、**「 SYSTEM」**のすべての設定がリセットされます。
初期化	内蔵ストレージがフォーマットされ、すべてのデータが消去されます。また、カメラの内蔵時計を含む、すべての設定がリセットされます。

2

「リセット」（初期化）を選び、⦿ ボタンで確定します。
中止したい場合は**「キャンセル」**を選び、⦿ ボタンを押します。

警告 !!

– **「初期化」**は内蔵ストレージに保存された画像ファイルも消去されます。実行前に必要なデータが残っていないか、十分ご確認ください。

USB 接続について

このカメラは、ふたつの USB ポートを備えています。
ポート 1（上）: USB 2.0 Type-C
ポート 2（下）: USB 3.2 Type-C
それぞれのポートに接続できる機器、用途、USB ケーブルの仕様は、以下のようになります。

ポート 1（上）	ポート 2（下）	
○	○	**充電、給電** USB PD 27W 以上に対応した USB AC アダプターおよび USB Type-C to Type-C ケーブルを使用してください。 ※両端が USB Type-C のケーブル以外を使用した場合、給電はできません。
×	○	**高速データ通信** パソコン、スマートフォン、SSD 等 データ転送の際は、USB3.2（10Gbps）以上に対応した USB Type-C to Type-C ケーブルを使用してください。 ※ USB2.0 規格のケーブルでも通信はできますがデータ転送に要する時間が長くなります。
○	○	**オーディオ機器** USB Audio Class (UAC) 音声の入出力に対応しています。 対応規格は UAC1.0 および UAC2.0 です。 ※ USB 接続のオーディオ機器の同時使用はできません。
×	○	**ウェブカメラ（本機）等** USB Video Class (UVC) 映像の出力に対応しています。 ※その他の映像出力機能には対応していません。
○	○	**ケーブルレリーズスイッチ CR-51**

パソコンと接続する

USB ケーブルでパソコンと接続し、画像の転送や本体の充電、Web カメラとしての利用が可能です。

USB 接続の設定

USB ケーブル接続時の通信方式を設定します。

「🔧 SYSTEM」→「USB モード」

接続時に選択 （初期設定）	機器と接続したときに選択できます。 〈〉ボタンで選択し、⊛ ボタンで確定します。
マスストレージ（内蔵ストレージ）	内蔵ストレージの画像をパソコンに転送する際に設定します。
マスストレージ（SD カード）	SD カードの画像をパソコンに転送する際に設定します。
ビデオクラス（UVC）	本機をウェブカメラ等に使用する際に設定します。
充電のみ	パソコンで充電、電源供給のみを行う際に設定します。

ご注意 !!

– パソコンとカメラの接続中は、USB モードの変更ができません。接続する前に希望の**「USB モード」**を設定してください。

パソコンに画像を転送する

内蔵ストレージやカードに記録された画像をパソコンに転送、保存します。

1

USB Type-C ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。カメラ側は USB ポート 2（下）に接続してください。

– **「USB モード」**（P.271）が **「接続時に選択」**（初期設定）に設定されていると、USB モード選択画面が表示されます。
– セットアップメニューの表示中は、USB モード選択画面に移行しません。

2

<> ボタンで、転送したい画像のあるストレージ **「マスストレージ（）」**か **「マスストレージ（）」**を選び、⊛ ボタンで確定します。

– カメラが USB ドライブとしてパソコンに認識されます。
– MENU ボタンを押して **「キャンセル」**すると、元の画面に戻り、充電、給電のみ行われます。
– **「USB モード」**で先にマスストレージを指定する場合は、パソコンとの接続前に行ってください。
– カメラに SD カードが入っていない状態で **「マスストレージ（SD カード）」**を指定していた場合、USB モード選択画面が表示されます。

3

パソコンから、静止画は DCIM フォルダ内のファイル、動画は CINEMA フォルダ内のファイルをコピー、もしくは移動します。

– 接続を解除するには、パソコン側からハードウェアの取り出しを行ってください。

メモ

– **SIGMA Photo Pro** 上で画像の転送ができます。詳細は **SIGMA Photo Pro** のヘルプをご覧ください。

警告 !!

– パソコンがスリープ状態になると、転送中のデータが壊れるおそれがあります。パソコンがスリープ状態に入らない設定にしてください。
– USB 接続中は、カメラのパワーオフタイマーの機能が働きません。

ウェブカメラとして使用する

本機をウェブカメラとして活用することができます。

1

USB Type-C ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。カメラ側は USB ポート 2（下）に接続してください。

– **「USB モード」**（P.271）が **「接続時に選択」**（初期設定）に設定されていると、USB モード選択画面が表示されます。

2

<> ボタンで、**「ビデオクラス (UVC)」**を選び、⦿ ボタンで確定します。

– **「USB モード」**で先に**「ビデオクラス (UVC)」**を指定する場合は、パソコンとの接続前に行ってください。

– 必要に応じて、各モードを切り替えてご使用ください。
– 設定できない項目は、濃いグレーで表示されます。
– 拡大表示はできません。
– カメラ、マイクの設定は、お使いのソフトウェアのヘルプ等をご参照ください。
– お使いのソフトウェアによっては、カメラ側で解像度等の設定を行う場合があります。その場合は接続前に設定を行ってください。

ご注意 !!

– 以下のボタンは操作できません。

REC ボタン、シャッターボタン、▶ ボタン

参考資料

その他の便利機能、別売アクセサリー、カメラのスペックなどを説明します。

スクリーンショット機能

液晶モニターの画面を静止画像ファイルとして保存することができます。セットアップメニューの画面をキャプチャしてメモ代わりにするなど、様々な使い方が可能です。

キャプチャしたい画面で、|□| ボタンを押しながら、⦿ ボタンを押します。（キャプチャしたタイミングで、一瞬白い画像が表示されます。）

– |□| ボタンを押しながら、以下のボタンを押してもキャプチャできます。

▶ ボタン、COLOR ボタン、MODE ボタン

– カスタムボタン（P.202 ）に割り当てると、1 アクションでキャプチャできます。
– エレクトロニックビューファインダー **EVF-21** のファインダー画像もキャプチャできます。
– キャプチャ画像は、再生時、**「SCREENSHOOT」** アイコンが表示されます。
– キャプチャ画像は、画像サイズ 1024 x 682、JPEG 形式で保存されます。
– キャプチャ画像のファイル名は **「SS_XXXXX.JPG」** となります。

ご注意 !!

– 設定の状態や画像処理中など、キャプチャできる回数に制限が生じたり、キャプチャできない場合があります。
– 動画の撮影中など、連続してキャプチャできない場合があります。
– 以下の画面は、カスタムボタンでのキャプチャはできません。

AEL（押す間）、AFL（押す間）、AEL+AFL（押す間）

– 以下の画面は、キャプチャできません。

インターバルタイマー作動中、セルフタイマー作動中、 マスストレージ接続中

別売アクセサリー

エレクトロニックビューファインダー EVF-21
高精細 576 万ドット有機 EL（OLED）ディスプレイを搭載した、高性能な電子ビューファインダーです。外付けながら一体感のあるデザインが特徴で、90 度可動するチルト機構により、撮影アングルの自由度が広がります。外光の影響を受けにくい、大型アイカップが付属されています。

LCD ビューファインダー LVF-21
液晶モニターを 2.5 倍に拡大して見ることができる FP2 専用のビューファインダーです。外光をカットし、屋外でも容易にピントや構図の確認が可能です。（ベースプレート BPL-21 付属）

ハンドグリップ HG-11
ホールディング性を高めるための専用グリップです。FP シリーズとのデザイン的なマッチングも考慮されています。

バッテリーチャージャー BC-91
Li-ion バッテリーパック BP-91 専用の充電器です。USB PD（USB Power Delivery）に対応しています。（充電時間 : 約 175 分）。

※バッテリーチャージャー BC-91 で充電するには、以下のものをご用意ください。
a: USB PD（USB Power Delivery） 出力 27W またはそれ以上に対応した、USB AC アダプター等の市販の外部電源、パソコン。
b: USB PD 27W 以上に対応した市販の USB Type-C ケーブル

※詳細はバッテリーチャージャー BC-91 の使用説明書をご確認ください。

DC コネクター CN-91
USB ポートを使わず、カメラを外部電源で駆動させる際に使用するアダプターです。
※ DC コネクター CN-91 を介して電源を供給するには、別途外部電源、USB ケーブルが必要です。詳細は DC コネクター CN-91 の使用説明書をご確認ください。

ケーブルレリーズスイッチ CR-51
USB ポートに接続し、カメラに触れずにレリーズ操作することができます。（ケーブルの長さ：約 1m）

ホットシューユニット HU-21
クリップオン式フラッシュが装着できるホットシューアダプターです。OM SYSTEM / LUMIX 用フラッシュの通信接点を備えており、対応フラッシュを装着するとTTL 自動調光撮影やワイヤレスフラッシュ撮影などが可能になります。また、一部のパナソニック製オーディオデバイスの装着が可能です。

ベースプレート BPL-21
FP2 専用のベースプレートです。LCD ビューファインダー LVF-21 の取り付けに使用するほか、3/8 インチネジを使用することで一般的な映像撮影用アクセサリーを接続することができます。（LCD ビューファインダー LVF-21 に付属）

困ったときは

カメラの調子が悪かったり写真がうまく写らなかった場合、故障と思われる前に次の点を確認してください。

液晶モニターになんの表示も出ない。

バッテリーが消耗している。

＞ 充電されたバッテリーと交換してください。（P.31 ）

スリープタイマーが働いている。（P.256 ）

＞ シャッターボタンを半押しする、もしくはいずれかのボタンを押してください。

オートフォーカスが動かない。

レンズのフォーカスモードスイッチが MF になっている。

＞ レンズのフォーカスモードスイッチを AF にしてください。（P.92 ）

レンズがきちんと取り付けられていない。

＞ 正しくレンズを取り付けてください。（P.37 ）

「半押し AF-ON」の設定が**「切」**になっている。

＞**「半押し AF-ON」**の設定を**「入」**にしてください。（P.203 ）

ご使用のレンズがオートフォーカスに対応していない。

＞ 弊社 WEB サイトにて、対応レンズかご確認ください。（P.18 ）

電源が勝手に切れる。

パワーオフタイマーが働いている。

＞ バッテリーの消耗を抑えるためにパワーオフタイマー機能が働いています。不都合がある場合は、セットアップメニューでパワーオフタイマーの設定を**「切」**に設定してください。（P.256）

撮影・記録ができない。

記録ストレージの使用容量がいっぱいになっている。

＞ いらない画像を消去して容量を空けてください。（P.219）

指定した記録ストレージが装着されていない。

＞ 装着されている記録ストレージと記録先の指定を一致させてください。（P.60）

画像がボケて写っている。

ピントが合わないまま撮影している。

＞ シャッターを半押しして、フォーカスフレームが緑色になったのを確認して撮影してください。（P.94）

レンズのフォーカスモードスイッチが **MF** になっている。

＞ レンズのフォーカスモードスイッチを **AF** にしてください。（P.92）

手ブレをおこしている。

＞ ISO 感度を上げるか、三脚等に固定して撮影してください。（P.88）

画像を消去できない。
画像にロックがかかっている。
　＞ ロックを解除してください。（P.223 ）

撮影年月日・時間が正しく表示されない。
日付・時間が正しく設定されていない。
　＞ 日付・時間を正しく設定してください。（P.262 ）

エラーコードが表示される
内部にエラーが発生したため撮影を続行できません。
　＞ 弊社カスタマーサポートにご相談ください。

主な仕様

Model: C5X1 / C5X3

機種名		Sigma FP2
型式	型式	レンズ交換式デジタルカメラ
	記録メディア	内蔵メモリー（約 70GB）、SDXC メモリーカード（UHS- II 対応）、ポータブル SSD（USB3.2 接続、バスパワー対応）
	レンズマウント	L マウント
撮像素子	型式	35mm フルサイズ（35.9 × 23.9mm）部分積層型 CMOS センサー
	カメラ有効画素数／総画素数	約 2,450 万画素／約 2,679 万画素
	アスペクト比	3：2
	静止画ファイル形式	ロスレス圧縮 RAW（DNG）14bit ／ JPEG（Exif3.0） RAW（DNG）+JPEG 同時記録可能
	画像縦横比	[21：9]、[16：9]、[3：2]、[A SIZE]、[4：3]、[6x7]、[1：1]
記録画素数	RAW	6,016 × 4,012
	JPEG	6,016 × 4,012
クロップ		3,840 × 2,560（レンズ表記の約 1.5 倍の焦点距離に相当）

動画記録形式	動画フォーマット	ProRes RAW HQ、ProRes RAW（12bit）／ MOV：H.264、H.265、L-Log
	音声フォーマット	リニア PCM（4ch 96kHz、2ch 192kHz ／ 24bit）、フロート（4ch 96kHz、2ch 192kHz ／ 32bit）
	記録サイズ／フレームレート	6K ／ 23.98、24、25、29.97、47.95、48、50、59.94p 4K ／ 23.98、24、25、29.97、47.95、48、50、59.94p（DC クロップ時は 100、119.88p も対応） 2K ／ 23.98、24、25、29.97、47.95、48、50、59.94、100、119.88p ※ 47.95fps は ProRes RAW HQ および Pro Res RAW のみ適用、48fps は H.264 では適用不可 ※ ProRes RAW HQ および Pro Res RAW では 6K 29.97fps 以下で対応
	動画縦横比	[3：2]、[16：9]、[17：9]、[4：3] ※ 2K は 16：9 のみ
	連続記録時間	最長 2 時間
フォーカス	AF 形式／フォーカスモード	位相差検出方式＋コントラスト検出方式／シングル AF、コンティニュアス AF、追尾 AF、マニュアルフォーカス
	AF 測距検出範囲 / AF 測距エリア	-5 ～ 18EV（F1.4：ISO100）／ 6 段階
	その他のフォーカス機能	被写体検出モード（人物／犬＋猫＋鳥、瞳認識あり）、AF ＋ MF、MF 拡大、フォーカスピーキング、レリーズ／フォーカス優先機能、フォーカスリング制御（リニア、ノンリニア）

露出制御	測光方式	評価測光、スポット測光
	測光範囲	-5 ～ 18EV（50mm F1.4：ISO100）
	静止画撮影	(P) プログラム AE、(S) シャッター優先 AE、(A) 絞り優先 AE、(M) マニュアル
	動画撮影	(P) プログラム AE、(S) シャッター優先 AE、(A) 絞り優先 AE、(M) マニュアル
	ISO 感度（推奨露光指数）	ベース感度 ［静止画撮影］ISO320 ／ 2500 ［動画撮影］MOV：ISO320 ／ 2500、Log ／ RAW 撮影時：ISO1250 ／ 10000 設定可能範囲 ［静止画撮影］ISO100-102400 ／拡張感度 ISO6、12、25、50 ［MOV］ISO100-102400 ［Log ／ RAW］ISO1250-102400 ／拡張感度 ISO320、640
	露出補正	± 5EV（1 ／ 3 ステップ）
	AE ロック	シャッターボタン半押し、AEL ボタン
	露出ブラケット	3 コマ、5 コマ段階露出、± 3EV (1 ／ 3 ステップ、適正→アンダー→オーバー）（順序変更可）
	露出確認ツール	輝度レベルモニター（波形、ヒストグラム）、ゼブラパターン、フォルスカラー
手ブレ補正方式		動画のみ電子式（EIS）※ 6K 動画を除く
ホワイトバランス		9 種、オート、オート（色残し）、白熱電球、蛍光灯、晴れ、曇り、フラッシュ、日陰、マニュアル（50K ステップ）、カスタム 1~10 の追加が可能

シャッター	型式	電子シャッター
	シャッター速度	1／25600 ～ 30 秒、Bulb（最長 5 分）
	セルフタイマー	2 秒、10 秒
ドライブ	ドライブモード	1 コマ撮影、連続撮影、セルフタイマー、インターバル撮影（動画出力可）、露出ブラケット、フォーカスブラケット、ホワイトバランスブラケット
	連続撮影速度	20fps、8fps、5fps、3fps
	連続撮影可能枚数	20fps：JPEG 200 枚、DNG 180 枚 8fps：JPEG 3000 枚、DNG 630 枚
モニター	形式／視野率	チルト式 TFT カラー液晶、アスペクト比 3:2、3.15 型、約 210 万ドット、静電容量方式タッチパネル／約 100%
	角度調整範囲	+90 ～ -45 度
カラーモード		13 種 スタンダード、リッチ、カーム、パウダーブルー、ウォームゴールド、ティールアンドオレンジ、FOV クラシックブルー、FOV クラシックイエロー、フォレストグリーン、サンセットレッド、シネマ、709 ルック、モノクローム
フラッシュ	発光モード	TTL 自動調光、マニュアル発光、ワイヤレス発光、マルチ発光
	フラッシュモード	赤目緩和発光、スローシンクロ、後幕シンクロ
	調光補正	1／3EV ステップ　最大± 3EV
	フラッシュ同調速度	1／50 秒以下（DC クロップ時は 1／60 秒以下）
	外部フラッシュ対応	ホットシューユニット HU-21 装着時に使用可能（OM System／Lumix　共通仕様）

ディレクターズビューファインダー	対応カメラ	ARRI : ARRICAM ／ ARRIFLEX、ALEXA LF ／ ALEXA Mini LF、ALEXA Mini、AMIRA、ALEXA 35 Xtreme SONY : VENICE ／ VENICE 2 6K、VENICE 2 8K、BURANO RED : MONSTRO 8K、HELIUM 8K、DRAGON 6K、EPIC MX 5K、GEMINI 5K、V-RAPTOR XL［X］、KOMODO X
	デスクイーズ	1.25x、1.3x、1.33x、1.5x、1.6x、1.65x、1.8x、2.0x
その他の機能		設定の保存／読込（QR コード）、スクリーンショット、ウェブカメラ、カメラ内 RAW 現像、動画からの静止画切り出し、Fill Light（RAW 現像時）、Gyroflow 対応
内蔵マイク／スピーカー		ステレオマイク／モノラルスピーカー
表示言語		英語、日本語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、簡体中文、繁体中文、韓国語、ロシア語、オランダ語、ポーランド語、ポルトガル語、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語

インターフェイス	USB	ポート 1：USB 2.0 Type-C（オーディオクラス、専用レリーズ、専用 EVF、充電／給電） ポート 2：USB 3.2 Type-C（マスストレージ、ビデオクラス、オーディオクラス、専用レリーズ、充電／給電）
	HDMI	Type A（Ver.2.1）
	REMOTE	ケーブルレリーズ（USB 経由）
	タイムコード入力	外部マイク端子と兼用
	外部マイク	Φ 3.5mm ステレオミニジャック（プラグインパワー対応）、USB（UAC2.0 対応）
	ヘッドホン出力	USB 経由
	フラッシュシンクロ	専用端子を使用（専用ホットシューユニット HU-21 を装着する）
防塵防滴構造※		あり ※防塵・防滴に配慮した構造となっており、小雨などでの使用は可能ですが、防水構造ではありません。
電源	電源	専用リチウムイオン電池（Li-ion バッテリーパック BP-91）、USB PD ※ 、専用 DC コネクター CN-91 ※ ※ 27W 以上対応の USB AC アダプター推奨
	静止画撮影可能枚数	約 370 枚
	連続動画撮影可能時間	約 130 分
外形寸法・質量	外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約 112.8 × 69.9 × 41.8mm
	質量	約 460g（SD カード、バッテリーを含む）、約 376g（本体のみ）
動作環境	使用可能温度	0 ～ +40℃
	使用可能湿度	85% 以下（結露無きこと）

※仕様は予告なく変更することがあります。

SIGMA DIGITAL CAMERA
モデル名 : FP2
モデル No.: C5X1 / C5X3
入力 : 9.0 V / 7.2 V ⎓
入力 (USB): 9 V / 5 V ⎓

Made in Japan

Li-ion バッテリーパック BP-91
リチウムイオン充電池
モデル No.: BP-91
公称電圧 : 7.4V
公称容量 : 2200mAh　16.0Wh
使用温度 : 0° C ～ +40° C

Made in China

著作権、商標、ライセンスについて

あなたが本カメラで記録した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。尚、実演や興行、展示会などのなかには、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

- L-Mount、L-Log および L-Log ロゴは、Leica Camera AG の商標または登録商標です。
- SD ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。
- DNG は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Apple は、米国およびその他の国と地域で登録された Apple Inc. の商標です。Apple ProRes および Apple ProRes RAW は Apple Inc. の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- OM SYSTEM は、ＯＭデジタルソリューションズ株式会社の商標または登録商標です。
- LUMIX は、パナソニックホールディングス株式会社の商標または登録商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- HEVC Advance™ は、Access Advance LLC の商標または登録商標です。
- その他本冊子中の社名や商品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。



– この製品は AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に関わるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  – 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
  – 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

オープンソースソフトウェアの詳細については弊社ウェブサイトにてご確認ください。

sigma-global.com/en/support/open-source-software.html

妨害電波自主規制について



本カメラは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準にもとづくクラス B 情報技術装置です。本カメラは、家庭環境で使用することを目的としていますが、本カメラをラジオやテレビジョン受信機に近接して使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

製品のお問い合わせは…
シグマ カスタマーサポート部
フリーコール : **0120-9977-88**
（携帯電話をご利用の方は 044-989-7436 に
ご連絡ください）
〒 215-8530
神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 4 番 16 号
サポート・インターネットページアドレス
sigma-global.com/jp/support/
サポート・メールアドレス
info@sigma-photo.co.jp

株式会社シグマ
本 社：〒 215-0033
神奈川県川崎市麻生区栗木 2 丁目 8 番 15 号
インターネットホームページアドレス **sigma-global.com/jp/**